2-671-547-**01** (2)

DVD プレーヤー / ビデオカセットレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

G-CODE®

SLV-D393P

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2~5 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。9 ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

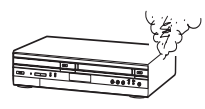
定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

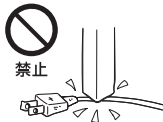
プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。

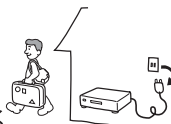
幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

本体端子キャップや結束帯は乳幼児の手の届かない所に置く

乳幼児が本体端子キャップや結束帯を誤飲しないようにご注意ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

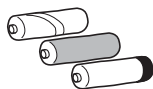
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

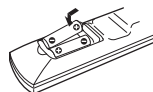
⚠警告

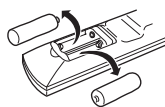
指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡ マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

目次

接続と準備

DVDのためのよりすすんだ接続

VHSの操作

ビデオの再生

ビデオの録画・予約

DVDの操作

ディスクの再生

設定と調整

次のページにつづく

その他

故障かな？と思ったら

使用上のご注意

本機は、コンセントの近くで使用してください。本機をご使用中、変な音やにおい、煙が出たときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。

設置場所について

本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用したりしないでください。水がかかると故障の原因になります。
次のような場所には置かないでください。

- 異常に高温な場所
- 熱器具の近く
- 振動の多い所
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所
- 極端に寒い所
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキと一緒に使用時、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいため、屋外アンテナの使用をお勧めします。）

本機の設置のしかた

本機の底面を下にして、安定した平らな場所に設置してください。
底面以外の面を下にしないでください。また、本機の上に直接テレビをのせて設置しないでください。

設置場所を変えるときは

ディスクを取り出してください。
ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

再生を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露（露つき）について

部屋の暖房を入れた直後など、本機内部のドラムやレンズに水滴がつくことがあります。これを結露（露つき）といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、テープやディスク、本機の部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、テープやディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、テープやディスクを取り出し、結露がなくなるまで（約2時間）放置し、乾燥させてからお使いください。
もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

結露が起きやすいのは下記のような場合です

- 本機を設置した直後
- 暖房した直後
- エアコンの冷風が直接本機にあたっているとき
- 寒いところから暖かいところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多いとき
- 梅雨の時期

次のページにつづく

結露が起きそうなときは

本機が部屋の温度になじむまで、電源を入れたまま約2時間放置してください。

本体のお手入れのしかた

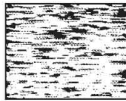
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。また、キャビネットを傷めないために、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

クリーニングディスク、ディスククリーナーについて

レンズ用のクリーニングディスクやディスククリーナー（湿式またはスプレー式含む）は、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ヘッドのお手入れ
ーきれいな画像にするために

次のような症状が出たら、ヘッドが汚れています。すぐに別売りの乾式クリーニングカセット（T-25CLD、T-25CLDRなど）で、ヘッドを連続1分間クリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。

汚れはじめたとき → 汚れがひどいとき

ヘッドを良い状態で維持するには

- レンタルテープをお使いになったときは、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。
- 約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

ちょっと一言

- 画像が出るクリーニングカセットをお使いになると、10数秒で終了のメッセージが出ることがあります。連続1分間クリーニングするには、停止せずに、そのままクリーニングを続けてください。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、繰り返しヘッドをクリーニングします。ただし、3回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても、正常な画像が出ないときは、ヘッドの交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）は、定期的なクリーニングでのご使用をおすすめします。お使いになるときは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ビデオテープについて

- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

著作権について

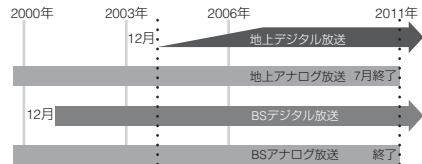
- あなたが本機で録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面やDVDのメニューなどの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特に、プラズマディスプレイテレビや液晶テレビなどは、残像現象が起こりやすいため、ご注意ください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で２００３年１２月から開始され、その他の地域でも、２００６年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は２０１１年７月に、BSアナログ放送は２０１１年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、本機を接続することにより、デジタル放送を録画いただけます。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。
デジタルハイビジョン画質の録画はできません。

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じマークや同じなまえの本体ボタンも同じように使えます。
- DVDビデオ、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+Rを総称してDVDと表現することもあります。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVDVideo	DVDビデオ、DVD-RW/DVD-R（ビデオモード）、DVD+RW/DVD+Rで使える機能
DVDVR	DVD-RW/DVD-R（VRモード）で使える機能
VCD	ビデオCD、スーパー VCD、ビデオCDフォーマットまたはスーパー VCDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
CD	音楽用CD、音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
DATA-CD	CD-ROM/CD-R/CD-RWのMP3*音声またはJPEG画像で使える機能
DATA-DVD	DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-RのMP3*音声またはJPEG画像で使える機能
VHS	VHS方式で使える機能

* MPEG 1 Audio Layer 3：MPEGによって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
DVD ビデオ	DVD VIDEO
DVD-RW/-R	DVD RW / DVD R R4.7
DVD+RW/+R	RW DVD+ReWritable / RW DVD+R / RW DVD+R DL
ビデオ CD/音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R/CD-RW（音楽データ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-R/CD-RW（MP3 ファイル、JPEG ファイル）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc ReWritable / COMPACT disc Recordable

“DVD+RW”、“DVD-RW”、“DVD+R”、“DVD+R DL”、“DVD-R”、“DVD VIDEO”、“CD”のロゴは商標です。

再生できるCD、DVDについて

本機では次のディスクを再生できます。

- 以下のフォーマットで記録されたCD-ROM/CD-R/CD-RW
  - 音楽用フォーマット
  - ビデオCDフォーマット
  - ISO9660*レベル1/レベル2/Joliet準拠のMP3またはJPEGファイル
  - コダックピクチャー CDフォーマット

- 以下のフォーマットで記録されたDVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R
  – UDF（Universal Disk Format）準拠のMP3またはJPEGファイル
- 8cmのDVD-RW/DVD-R/DVD+RW

* 国際標準化機構（ISO）が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。DVDビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- 「再生できるCD、DVDについて」に記載されているフォーマット以外で記録されたCD-ROM/CD-R/CD-RW
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- DVD-RAM

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

CD-R/CD-RW、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+R再生時のご注意

CD-R/CD-RW、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+Rドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態が原因で再生できないものがあります。全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をご覧下さい。また、正しくファイナライズ処理されたDVD+RW/DVD+Rでも、機能しない再生機能がある場合があります。その場合は通常の再生を行ってください。
また、パケットライト方式で作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

次のページにつづく

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ラベル印刷したディスクは印刷面が乾いてからお使いください。

使えるテープと再生・録画方式について

本機はVHS方式です。VHSテープも、S-VHSテープも使えますが、S-VHS方式で録画することはできません。

再生について

録画済みテープの記録方式（S-VHS/VHS）と録画モード（標準/3倍）を自動判別して再生します。S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません（簡易再生）。

ご注意

- 日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープをスローなど特殊再生すると画像が乱れることがあります。
- 本機の3倍モードで録画したテープは、標準モード専用のVHSビデオデッキでは再生できません。
- 3倍モード付きのVHSビデオデッキでも、他機では再生時にノイズが出ることがあります。
- 3倍モードで録画されたS-VHSテープの再生は保証できません。

録画について

VHSテープもS-VHSテープもVHS方式で録画されます。

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

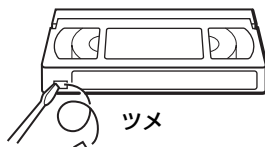
録画内容の補償はできません

万一、本機やテープの不都合または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画の補償やそれに付随する損害については当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

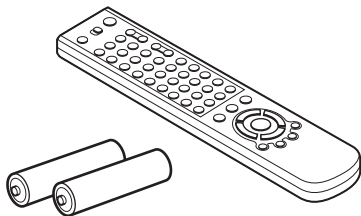
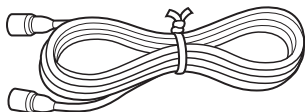
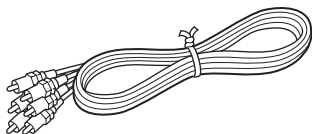
録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

ちょっと一言

- 録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。

手順1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっていることを確認してください。

リモコン（1個）と単3形（R6）乾電池（2個）

F型コネクター付き同軸ケーブル（1本）

映像・音声コード（1本）

取扱説明書（1部）

ソニーご相談窓口のご案内（1部）

保証書（1部）

ご注意

- 付属のリモコンは、本機の専用リモコンです。

手順2: アンテナをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

本機とテレビの両方にアンテナからの電波を送るために、壁のアンテナ線を先に本機につないだあと、必ず本機とテレビを同軸ケーブル（付属）で接続してください。
テレビやお手持ちのビデオデッキにアンテナ線がつながっている場合は、はずして本機につなぎ直します。
該当する接続がないときは、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ご注意

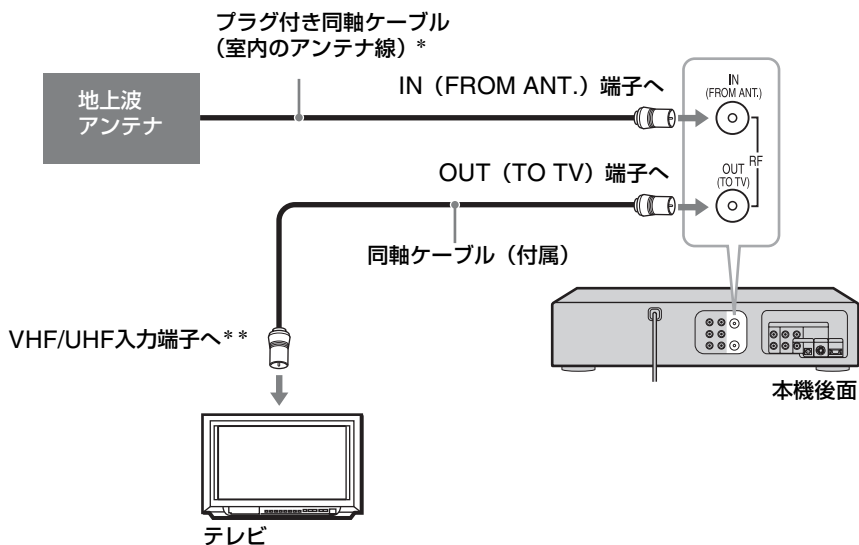
- 本機の上にテレビや重いものを直接置かないでください。画面にノイズが出たり、正常に再生できない場合があります。また、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- 画像の乱れを防ぐために、アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、できる限り本機から離してください。

ちょっと一言

- 本機はBSチューナーを内蔵していません。テレビがBSチューナーを内蔵しているときは、BSアンテナとテレビを直接つないでください。
- 次のときは、本機とアンテナの間に別売りのアンテナブースターをつないでください。
  –電波が弱く画面にチラつき、斜めじまが入るとき
  –2台以上のビデオデッキにアンテナをつなぐとき

次のページにつづく

A VHF/UHF混合、またはVHF、UHFのとき

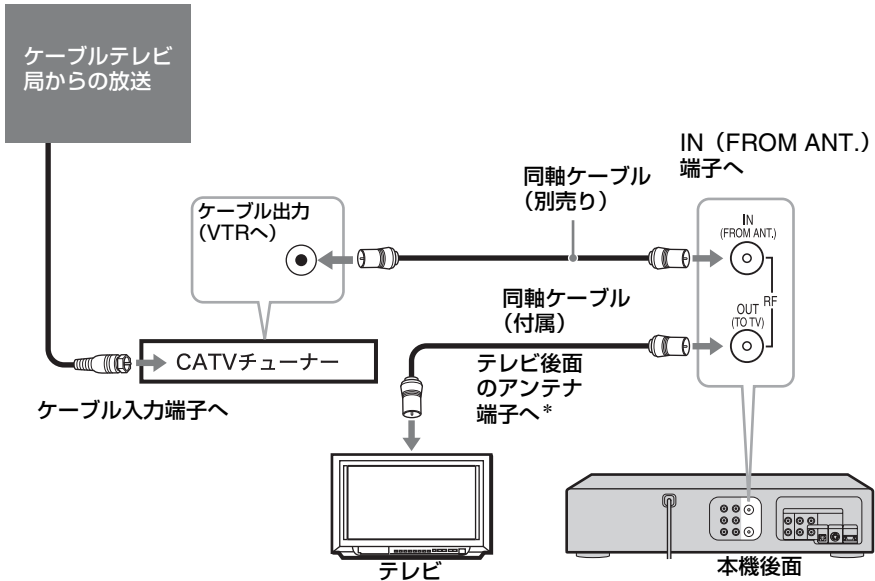
マンションなどの共同受信システムなどで、壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のときはC（20ページ）をご覧ください。

＊ 壁のアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルではないときは、別売りの部品や加工が必要です。裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

＊＊付属の同軸ケーブルでテレビのVHF/UHF入力端子へつなげないときは、別売りの部品や加工が必要です。裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- マンションなどの共同受信システムなどで壁のアンテナ線がCATV放送を受信しているときは、「かんたん設定をする」（33ページ）の手順4で「CATV」を選んでください。CATVのVHF/UHF放送を本機で受信します。

B CATVチューナーとつなぐとき

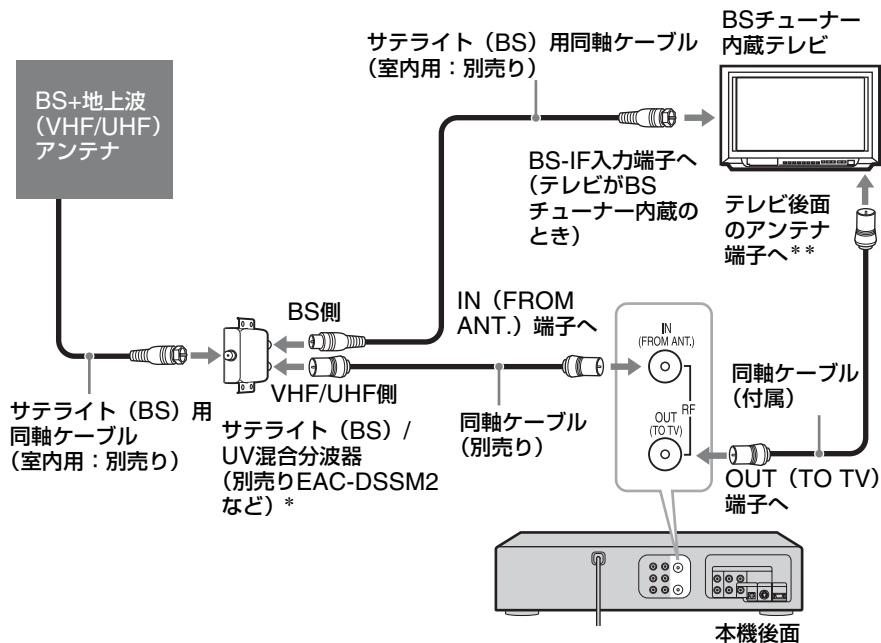
CATVの番組を録画するには、「手順4:別売りのチューナーなどをつなぐ」（23ページ）の接続も行ってください。

＊ 付属の同軸ケーブルでテレビのVHF/UHF入力端子へつなげないときは、別売りの部品や加工が必要です。裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- 「かんたん設定をする」（33ページ）の手順3で「CATV」を選んでください。CATVのVHF/UHF放送を本機で受信します。
- ケーブルテレビの方式によって接続や準備のしかたが異なる場合があります。CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

次のページにつづく

C VHF/UHF/BS混合のとき（マンションなどの共同受信システムなど）

BS 放送と地上波放送を分波して接続してください。

* サテライト（BS）/UV混合分波器の代わりにテレビアンテナ用のコネクターや分波器、分配器を使わないでください。きれいに受信できません。

**付属の同軸ケーブルでテレビのアンテナ端子へつなげないときは、別売りの部品や加工が必要です。裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

⚠警告

BS チューナー内蔵テレビのBS-IF 入力端子には専用のケーブルをつないでください。

サテライト（BS）用同軸ケーブル以外のケーブルをBS-IF 入力端子に絶対につながないでください。BS-IF 入力端子からはBS コンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

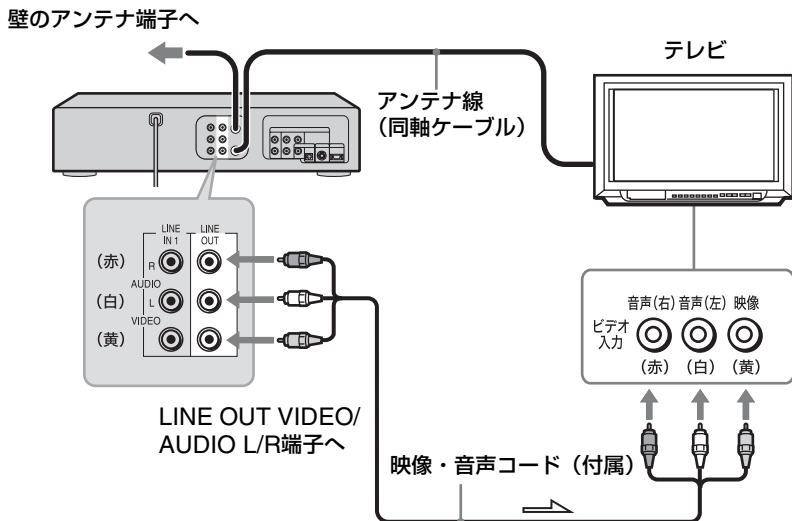
推奨ケーブル

室内用：EAC-DS15SS/DS30SS/DS50SSなど

手順3：テレビやモニターをつなぐ

テレビに映像・音声入力端子があるときは、必ず映像・音声コード（付属）を接続してください。（21ページ）
テレビに映像・音声入力端子がないときは、本機の信号を入力するテレビのチャンネルを設定します。（「アンテナ切り換えを合わせる（テレビに映像・音声入力端子がないとき）」（22ページ））

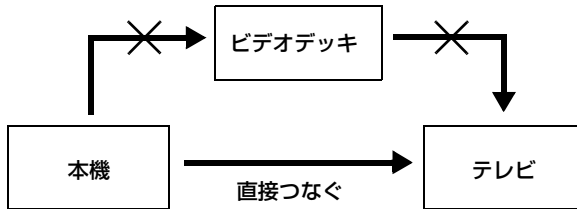
映像・音声コードをつなぐ（テレビに映像・音声入力端子があるとき）

本機の出力（LINE OUT）端子とテレビの入力端子を付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続より、きれいな画像とステレオ音声が楽しめます。

：映像・音声信号の流れ

ちょっと一言

- テレビの音声入力端子が1個しかない場合は、別売りの映像・音声コードVMC-910MSなどでつないでください。
- ここではテレビのスピーカーで音声を聞く接続を説明しています。アンプにつなぐ場合は、LINE OUT AUDIO L（白）/R（赤）端子から別売りのステレオ音声コードなどでアンプの音声入力端子につないでください。

次のページにつづく

- テレビにS映像入力端子や、コンポーネント映像、D映像入力端子があるときは、DVDの映像をより高画質で楽しむことができます。「S映像/コンポーネント映像/D映像端子のある機器とつなぐ」（64ページ）をご覧ください。
- 本機はテレビに直接つないでください。信号を本機からビデオデッキなどを経由してテレビに出力すると、画像が乱れる場合があります。テレビに映像音声入力端子がひとつしかない場合は、本機をテレビの映像音声入力端子につなぎます。

アンテナ切り換えを合わせる（テレビに映像・音声入力端子がないとき）

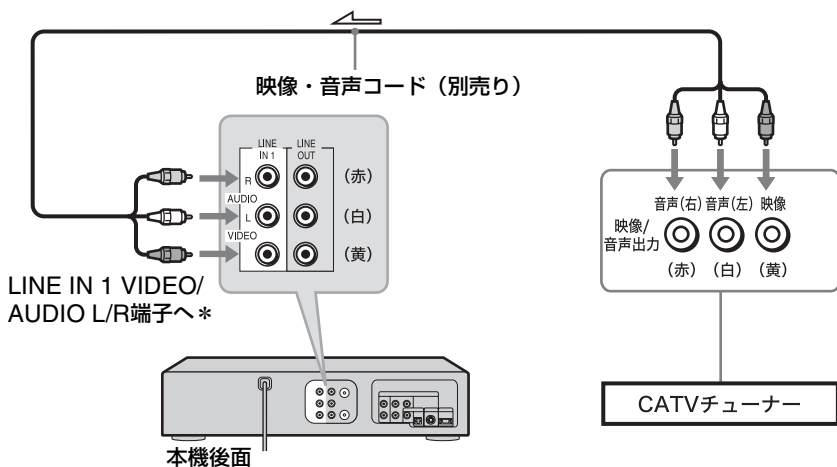
本機とテレビをアンテナ線（同軸ケーブル）だけでつなぎます。その上で、テレビのチャンネルを放送のないチャンネル（1chまたは2ch）に設定します。本機のアンテナ出力チャンネルの初期設定は2chになっています。全ての接続が終わったあと、必要に応じて設定を変えてください。「初期設定を変える」（62ページ）

ご注意
- UHF放送だけの地域でも、テレビのVHF端子と本機のOUT（TO TV）端子をつないでください（17ページ）。つながないと、ビデオまたはDVDを見ることができません。
- 音声は常にモノラルになります。

手順4: 別売りのチューナーなどをつなぐ

ケーブルテレビ（CATV）、デジタルテレビ、BS/CSチューナーなどを本機の映像・音声入力端子に接続すると、それらの機器からの映像も受信できます。
接続のしかたがわからないときは、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。
接続しない場合は「手順5:電源コードをつなぐ」へすすんでください（27ページ）。

ケーブルテレビ（CATV）をつなぐ

CATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。CATVの受信には、CATV局との受信契約が必要です。なお、CATVを受信できない地域もあります。詳しくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。
CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

：映像・音声信号の流れ

＊ 本機前面の入力2端子につなぐこともできます。

次のページにつづく

CATVを録画するには

1 CATVチューナーで、録画したいチャンネルを選ぶ

2 入力切換ボタンまたはチャンネル+/–ボタンを押して、本機の表示窓に「L1」または「L2」を表示させる

CATVチューナーをLINE IN 1（入力1）端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を表示させます。

3 本機で録画の操作をする。

録画中はチューナーの電源を切らないでください。

CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

1 F型コネクター付き同軸ケーブル（別売り）で本機のIN（FROM ANT.）端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ

2 かんたん設定（33ページ）をし、チャンネルを合わせる

受信する放送で「CATV」を選びます。手動でCATVのチャンネルを設定したいときは「手動でチャンネルを合わせる」（47ページ）をご覧ください。

デジタルテレビ、BS/CSチューナーなどをつなぐ

本機はBSチューナーなどを内蔵していませんが、デジタルテレビ、BS/CSチューナー、BSチューナー内蔵テレビなどとつなぐと、本機でもテレビやチューナーで受信する番組を録画できます。BS・CSの有料放送の受信には、専門放送局との受信契約が必要です。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

＊ 本機前面の入力2端子につなぐこともできます。

デジタル放送、BS/CS放送を録画するには

1 接続したテレビやチューナーで、録画したいチャンネルを選ぶ

2 入力切換ボタンまたはチャンネル+/–ボタンを押して、本機の表示窓に「L1」または「L2」を表示させる

テレビのBS出力を本機のLINE IN 1（入力1）端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を表示させます。

3 本機で録画の操作をする。

録画中はチューナーの電源を切らないでください。

次のページにつづく

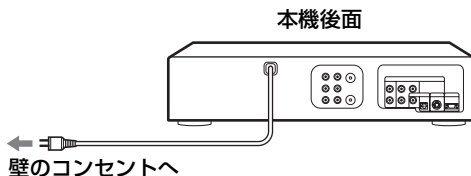
BS/CS放送の映像が乱れるときは

本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。デジタルBSやCSチューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては視聴のみでも画面が乱れることがあります。この場合、チューナーを直接テレビにつないでください。

ご注意

- CSチューナーおよびテレビなど同梱のAVマウスからのコントロールは本機で対応できない場合があります。詳しくはAVマウスの取扱説明書をご確認ください。
- 本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。コピーガードされた番組は、正しく録画できません。
- BSチューナー内蔵テレビなどの種類によっては、テレビの電源を切ると録画できないことがあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

手順5: 電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

ちょっと一言

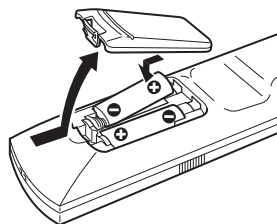
本機にはDVD専用の映像・音声出力端子があります。

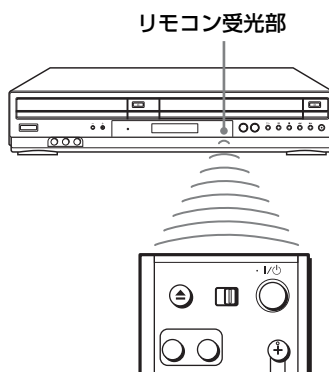
–「S映像/コンポーネント映像/D映像端子のある機器とつなぐ」（64ページ）
–「アンプ・スピーカーの接続」（68ページ）

お手持ちの機器に応じて接続したあと、電源コードをつないでください。

手順6：リモコンの準備・基本操作

リモコンを準備する

付属のリモコンに乾電池を入れます。
裏面のフタを開け、単3 形（R6）の乾電池2 個を、＋と－の向きをリモコンの表示に合わせて入れてください。
必ずイラストのように－極側から電池を入れてください。
電池を入れたらフタを元どおり閉めます。

リモコンを使う

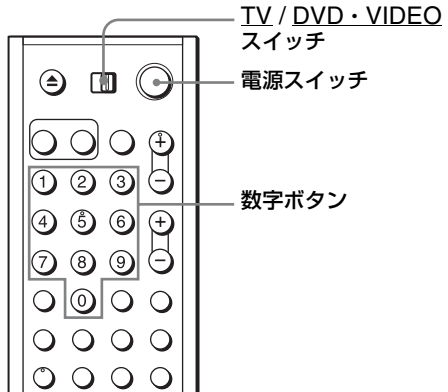
リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部 R に向けて操作します。
本機のリモコンを使って各社のテレビを操作することもできます（29ページ）。
その場合もリモコンをテレビのリモコン受光部に向けて操作します。

ちょっと一言

- 他の機器を誤って操作してしまうときはできるだけ本機と離して設置してお使いください。本機のリモコンモードは固定されています。

ご注意

- リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 付属品の乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

リモコンで各社のテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビに合わせると本機のリモコンでテレビの音量や電源などを操作できます。

1 **リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチを「TV」に切り換える**

2 **電源スイッチを押したまま、テレビのメーカー番号（2 桁）を数字ボタンで入力する**

3 **入力した後、電源スイッチをはなす**

TV / DVD・VIDEOスイッチを「TV」にしたときに、リモコン上に(•)の目印がついている以下のボタンを使って、テレビの操作ができるようになります。

テレビを操作できるボタン

押すボタン	できること
電源スイッチ	テレビの電源を入/切する。
音量+/–	テレビの音量を調整する。
チャンネル+/–	テレビのチャンネルを切り換える。
消音*	テレビの音を消す。
入力切換	テレビの入力を切り換える。

* ソニー製消音機能付きテレビのみ。

次のページにつづく

テレビメーカーコード番号

お手持ちのテレビメーカーのコード番号が2つある場合は、1つずつテレビを操作できるかどうかお試しください。

テレビメーカー	コード	テレビメーカー	コード	テレビメーカー	コード
ソニー (Ⓡマーク付き)	01*	三洋電機	07	松下電器	13
松下電器	02	シャープ	08	フナイ (PRECIOUS)	14
東芝	03	NEC	09	三洋電機	15
日立製作所	04	パイオニア	10	シャープ	16
三菱電機	05	富士通ゼネラル	11	アイワ	01、17
日本ビクター	06	ソニー (Ⓡマーク無し)	12	三星 (SAMSUNG)	18

* お買い上げ時の設定です。

ご注意

- テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。その場合は、メーカー番号をもう一度入力し直してください。
- 数字ボタンでチャンネルを変えることはできません。

リモコンを使って本機・テレビの操作モードを切り換える

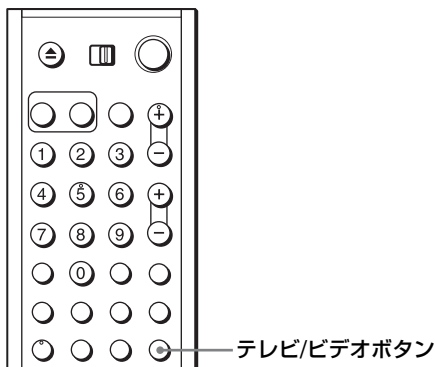
操作したい機器が反応するようにリモコンの操作モードを切り換えます。

操作したい機器	リモコンの操作モード切り換え／表示窓の表示
本機	**DVD操作モードにする** TV / DVD・VIDEOスイッチを「DVD・VIDEO」に切り換える。次にセレクトDVDボタンを押す。表示窓にDVD表示が点灯し、DVDプレーヤーが操作できます。 DVD **VIDEO操作モードにする** TV / DVD・VIDEOスイッチを「DVD・VIDEO」に切り換える。次にセレクトVIDEOボタンを押す。表示窓にVIDEO表示が点灯し、ビデオデッキの操作ができます。 VIDEO
テレビ	TV / DVD・VIDEOスイッチを「TV」に切り換える。 リモコン上にオレンジ色の目印・がついているボタンでテレビが操作できます。

ご注意

- TV / DVD・VIDEOスイッチを「TV」に切り換えている場合でも、テレビ操作に関係しないボタンを押すと、本機が動作します。その場合は、停止■ボタンを押して本機を止めてください。

手順7: テレビで本機の映像を見る

本機の映像を見るためにテレビと本機の入力または出力を切り換えます。

本機とテレビを映像・音声コードで接続しているとき（21ページ）

1 **本機とテレビの電源を入れる**

2 **テレビの入力をビデオに切り換える**
本機に接続している入力（ビデオなど）を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機とテレビをアンテナ線のみで接続しているとき（22ページ）

1 **本機とテレビの電源を入れる**

2 **テレビ/ビデオボタンを押して本機の表示窓に「VIDEO」を表示させる**

3 **テレビのチャンネルをアンテナ切り換えで合わせたチャンネル（1chまたは2ch）にする**

ちょっと一言

- テレビ/ビデオボタンを押して本機の表示窓に「TV」を表示させると、録画中などでもテレビを見ることができます。（82ページ）

手順8：かんたん設定をする

Gコード*設定および自動チャンネル合わせ、時計合わせをまとめてできます。
予約する（85ページ）には、本機の時計、チャンネルを正しく合わせておく必要があります。

＊ Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

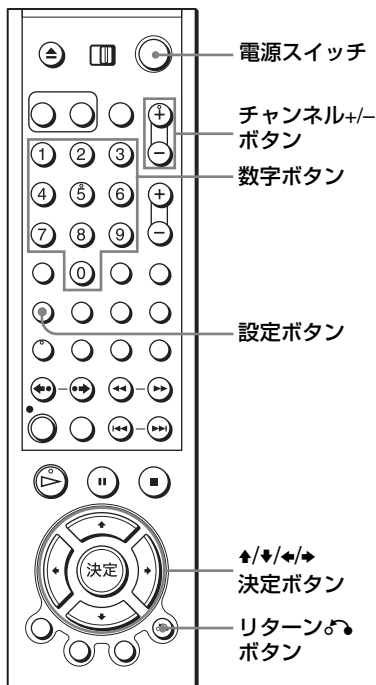
ご注意

- 本機とアンテナ線がつながっていないと、「かんたん設定」をすることができません。「手順2:アンテナをつなぐ」（17ページ）と「手順3:テレビやモニターをつなぐ」（21ページ）の接続を行ってから「かんたん設定」を行ってください。
- S-VIDEO OUT（S映像出力）端子、COMPONENT VIDEO OUT（コンポーネント映像出力）端子、D2 OUT（D2映像出力）端子を用いた接続はDVDからの出力のみに対応しています。「かんたん設定」を行うときは、「映像・音声コードをつなぐ（テレビに映像・音声入力端子がある とき)」（21ページ）で接続したテレビの入力に切り換えてください。

次のページにつづく

Gコード設定・自動チャンネル合わせ・時計合わせをする

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ビデオ再生中またはディスク再生中に「かんたん設定」を行うことはできません。再生を停止してください。

1

電源スイッチを押す

本機の電源が入ります。

2

本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換える

「かんたん設定」メニューが表示されます。

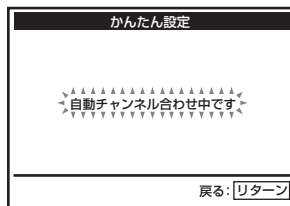
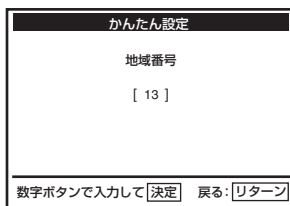
自動的に表示されないときは、設定ボタンを押し、↑/↓で（初期設定）を選び、決定ボタンを押して「初期設定」メニューで表示させます。

↑/↓で「一般放送」または「CATV」を選び、決定ボタンを押す

「一般放送」を選んだときは、地域番号入力画面が表示されます。
数字ボタンで「Gコード地域番号・放送局表」（38〜45ページ）から選んだ地域番号を入力して、決定ボタンを押す

「自動チャンネル合わせ」が行われます。

「CATV」を選んだときは、選択後ただちに「自動チャンネル合わせ」が行われます。

CATVのチャンネルで映るVHF/UHF放送をGコードで予約するには、ガイドチャンネルを手動で設定する必要があります。（51ページ）

「自動チャンネル合わせ」が終わると「時刻合わせ」の画面に移ります。

4

←/→で項目を選び、↑/↓で合わせる

年、月、日、時、分を順に合わせていきます。

接続と準備

次のページにつづく

5

時報と同時に決定ボタンを押す

リターン↶ボタンを押し、設定ボタンを押すとメニューが消えます。

チャンネル合わせと時計合わせが終わりました。

ちょっと一言

- チャンネル合わせや時計合わせは「初期設定」メニューのそれぞれのメニューでも設定できます。
- ほとんどのチャンネルが受信できないときは、本機のIN（FROM ANT.）端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線でつないでください（17ページ）。接続後に、もう一度手順1からやり直します。
- かんたん設定で設定されたチャンネルの変更が必要なときは、手動でチャンネルを合わせます。（「手動でチャンネルを合わせる」（47ページ））
- チャンネル+/–ボタンを押しても本機の表示窓に「L1」（LINE IN 1（入力1）端子に接続した場合）または「L 2」（入力2端子に接続した場合）しか表示されないときは、本機のIN（FROM ANT.）端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線でつないでください（17ページ）。接続後に、もう一度手順1からやり直します。
- CATVを受信している場合は、かんたん設定を行ってもガイドチャンネルが設定されません。Gコード予約できる放送局があるときは、「ガイドチャンネルを追加する」（50ページ）にしたがって、ガイドチャンネルを追加してください。

地域番号を選ぶ

お住まいの地域の地域番号を「Gコード地域番号・放送局表」（38〜45ページ）から選んでください。そのあと、「Gコード設定・自動チャンネル合わせ・時計合わせをする」（34ページ）にしたがって、選んだ地域番号を入れてください。

接続と準備

選ぶ地域番号を迷ったときは

お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選びます。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。
次のようなときは、「Gコード設定・自動チャンネル合わせ・時計合わせをする」（34ページ）で地域番号を入れたあとに、手動で変更することができます。

- 表の中の放送局以外に映る放送局がある。「ガイドチャンネルを追加する」（50ページ）
- 表の中の表示チャンネルがテレビのチャンネルと違う。「チャンネルの番号をテレビに合わせる」（48ページ）
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどをご利用の場合で、表の中の表示チャンネルが違う。「チャンネルの番号をテレビに合わせる」（48ページ）

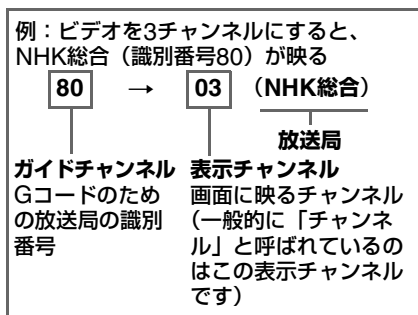
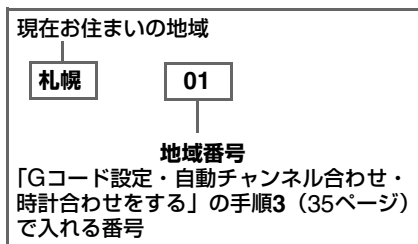
地上デジタル放送への移行によるチャンネルの変更に対応するには

アナログ放送からデジタル放送への移行にともない、本機では受信できないチャンネル、もしくは受信できなくなるチャンネルが生じる場合があります。その場合は、「受信できる放送局を追加する」（52ページ）の操作手順に従って受信チャンネルを変更してください。また、設定していたガイドチャンネルが変更された場合も、「ガイドチャンネルを追加する」（50ページ）の操作手順に従ってガイドチャンネルを変更してください。

次のページにつづく

Gコード地域番号・放送局表

お住まいの地域の地域番号と、その地域番号でGコード予約できる放送局を一覧表にしています。

表の中の文字の見かた

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
北海道	札幌	01	80→03（NHK総合） 90→12（NHK教育） 01→01（HBC） 05→05（STV） 35→35（HTB） 27→27（UHB） 17→17（TVh）
	旭川	48	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 01→11（HBC） 05→07（STV） 35→39（HTB） 27→37（UHB） 17→33（TVh）
	北見	49	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 01→53（HBC） 05→07（STV） 35→61（HTB） 27→59（UHB）

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
北海道	帯広	50	80→04（NHK総合） 90→12（NHK教育） 01→06（HBC） 05→10（STV） 35→34（HTB） 27→32（UHB）
	釧路	51	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 01→11（HBC） 05→07（STV） 35→39（HTB） 27→41（UHB）
	函館	52	80→04（NHK総合） 90→10（NHK教育） 01→06（HBC） 05→12（STV） 35→35（HTB） 27→27（UHB） 17→21（TVh）
	室蘭	66	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 01→11（HBC） 05→07（STV） 35→39（HTB） 27→37（UHB） 17→29（TVh）
青森	青森	02	80→03（NHK総合） 90→05（NHK教育） 01→01（青森放送） 38→38（青森テレビ） 34→34（青森朝日） 27→27（UHB） 35→35（HTB） 05→12（STV）
	八戸	53	80→09（NHK総合） 90→07（NHK教育） 01→11（青森放送） 38→33（青森テレビ） 34→31（青森朝日） 33→29（めんこい） 06→02（IBC） 35→37（テレビ岩手）
岩手	盛岡	03	80→04（NHK総合） 90→08（NHK教育） 06→06（IBC） 35→35（テレビ岩手） 33→33（めんこい） 01→01（TBC） 34→34（宮城テレビ） 12→12（仙台放送） 32→32（東日本放送） 20→31（IAT）
宮城	仙台	04	80→03（NHK総合） 90→05（NHK教育） 01→01（TBC） 12→12（仙台放送） 34→34（宮城テレビ） 32→32（東日本放送） 06→06（IBC）

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
秋田	秋田	05	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 11→11（秋田放送） 37→37（秋田テレビ） 31→31（秋田朝日） 34→34（青森朝日）
	大館	54	80→04（NHK総合） 90→08（NHK教育） 11→06（秋田放送） 37→57（秋田テレビ） 31→59（秋田朝日） 38→38（青森テレビ） 01→01（TBC）
山形	山形	06	80→08（NHK総合） 90→04（NHK教育） 10→10（山形放送） 38→38（山形テレビ） 36→36（TUY） 30→30（SAY）
	鶴岡	55	80→03（NHK総合） 90→06（NHK教育） 10→01（山形放送） 38→39（山形テレビ） 36→22（TUY） 30→24（SAY）
福島	福島	07	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 11→11（福島テレビ） 33→33（福島中央テレビ） 35→35（福島放送） 31→31（TUF） 01→01（TBC） 34→34（宮城テレビ） 12→12（仙台放送） 32→32（東日本放送）
	会津若松	56	80→01（NHK総合） 90→03（NHK教育） 11→06（福島テレビ） 33→37（福島中央テレビ） 35→41（福島放送） 31→47（TUF） 34→34（宮城テレビ） 12→12（仙台放送） 32→32（東日本放送）
	いわき	57	80→04（NHK総合） 90→10（NHK教育） 11→08（福島テレビ） 33→58（福島中央テレビ） 35→60（福島放送） 31→62（TUF） 34→34（宮城テレビ） 12→12（仙台放送） 32→32（東日本放送） 01→01（TBC）

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
茨城	水戸	08	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 04→42（日本テレビ） 06→40（TBS） 08→38（フジテレビ） 10→36（テレビ朝日） 12→32（テレビ東京） 16→16（放送大学） 23→31（とちぎテレビ）
	日立	67	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 04→54（日本テレビ） 06→56（TBS） 08→58（フジテレビ） 10→60（テレビ朝日） 12→62（テレビ東京） 38→38（テレビ埼玉） 46→46（ちばテレビ） 16→16（放送大学）
栃木	宇都宮	09	80→29（NHK総合） 90→27（NHK教育） 04→25（日本テレビ） 06→23（TBS） 08→21（フジテレビ） 10→19（テレビ朝日） 12→17（テレビ東京） 48→48（群馬テレビ） 16→16（放送大学） 38→38（テレビ埼玉） 23→31（とちぎテレビ）
	矢板	68	80→51（NHK総合） 90→49（NHK教育） 04→53（日本テレビ） 06→55（TBS） 08→57（フジテレビ） 10→59（テレビ朝日） 12→61（テレビ東京） 48→48（群馬テレビ） 38→38（テレビ埼玉） 16→16（放送大学） 23→31（とちぎテレビ）
群馬	前橋	10	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 04→54（日本テレビ） 06→56（TBS） 08→58（フジテレビ） 10→60（テレビ朝日） 12→62（テレビ東京） 48→48（群馬テレビ） 38→38（テレビ埼玉） 16→40（放送大学） 23→31（とちぎテレビ）

次のページにつづく

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)
埼玉	さいたま	11	80→01(NHK総合) 90→03(NHK教育) 04→04(日本テレビ) 06→06(TBS) 08→08(フジテレビ) 10→10(テレビ朝日) 12→12(テレビ東京) 38→38(テレビ埼玉) 46→46(ちばテレビ) 48→48(群馬テレビ) 14→14(MXテレビ) 16→16(放送大学) 23→31(とちぎテレビ)
	児玉	69	80→33(NHK総合) 90→35(NHK教育) 04→25(日本テレビ) 06→23(TBS) 08→21(フジテレビ) 10→19(テレビ朝日) 12→17(テレビ東京) 38→28(テレビ埼玉) 46→46(ちばテレビ) 48→48(群馬テレビ) 16→16(放送大学)
千葉	千葉	12	80→01(NHK総合) 90→03(NHK教育) 04→04(日本テレビ) 06→06(TBS) 08→08(フジテレビ) 10→10(テレビ朝日) 12→12(テレビ東京) 46→46(ちばテレビ) 42→42(tvk) 38→38(テレビ埼玉) 14→14(MXテレビ) 16→16(放送大学)
東京	東京	13	80→01(NHK総合) 90→03(NHK教育) 04→04(日本テレビ) 06→06(TBS) 08→08(フジテレビ) 10→10(テレビ朝日) 12→12(テレビ東京) 46→46(ちばテレビ) 42→42(tvk) 38→38(テレビ埼玉) 14→14(MXテレビ) 16→16(放送大学)
	八王子	70	80→51(NHK総合) 90→49(NHK教育) 04→53(日本テレビ) 06→55(TBS) 08→57(フジテレビ) 10→59(テレビ朝日) 12→61(テレビ東京) 46→46(ちばテレビ) 42→42(tvk) 38→38(テレビ埼玉) 14→47(MXテレビ) 16→16(放送大学)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)
東京	多摩	71	80→30(NHK総合) 90→32(NHK教育) 04→26(日本テレビ) 06→24(TBS) 08→22(フジテレビ) 10→20(テレビ朝日) 12→18(テレビ東京) 46→46(ちばテレビ) 42→42(tvk) 38→38(テレビ埼玉) 14→28(MXテレビ) 16→16(放送大学)
神奈川	横浜	14	80→01(NHK総合) 90→03(NHK教育) 04→04(日本テレビ) 06→06(TBS) 08→08(フジテレビ) 10→10(テレビ朝日) 12→12(テレビ東京) 42→42(tvk) 46→46(ちばテレビ) 38→38(テレビ埼玉) 14→14(MXテレビ) 16→16(放送大学)
	平塚	72	80→33(NHK総合) 90→29(NHK教育) 04→35(日本テレビ) 06→37(TBS) 08→39(フジテレビ) 10→41(テレビ朝日) 12→43(テレビ東京) 42→31(tvk) 16→16(放送大学)
	小田原	73	80→52(NHK総合) 90→50(NHK教育) 04→54(日本テレビ) 06→56(TBS) 08→58(フジテレビ) 10→60(テレビ朝日) 12→62(テレビ東京) 42→46(tvk) 16→16(放送大学)
新潟	新潟	15	80→08(NHK総合) 90→12(NHK教育) 05→05(BSN) 35→35(新潟総合テレビ) 29→29(テレビ新潟) 21→21(テレビ21)
山梨	甲府	19	80→01(NHK総合) 90→03(NHK教育) 05→05(山梨放送) 37→37(UTY) 04→04(日本テレビ) 08→08(フジテレビ) 10→10(テレビ朝日) 12→12(テレビ東京) 06→06(TBS) 11→11(SBC) 31→31(静岡第一) 35→35(テレビ静岡) 33→33(静岡朝日テレビ)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
長野	長野	20	80→02（NHK総合） 90→09（NHK教育） 11→11（SBC） 38→38（長野放送） 30→30（テレビ信州） 20→20（長野朝日） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 35→35（中京テレビ）
	飯田	58	80→04（NHK総合） 90→03（NHK教育） 11→06（SBC） 38→40（長野放送） 30→42（テレビ信州） 20→44（長野朝日） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 35→35（中京テレビ）
	松本	74	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 30→48（テレビ信州） 11→40（SBC） 38→42（長野放送） 20→50（長野朝日） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 35→35（中京テレビ）
	善光寺平	75	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 30→40（テレビ信州） 11→48（SBC） 38→42（長野放送） 20→50（長野朝日） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 35→35（中京テレビ）
富山	富山	16	80→03（NHK総合） 90→10（NHK教育） 01→01（北日本放送） 34→34（富山テレビ） 32→32（チューリップ） 25→25（北陸朝日） 06→06（北陸放送） 37→37（石川テレビ）
石川	金沢	17	80→04（NHK総合） 90→08（NHK教育） 06→06（北陸放送） 37→37（石川テレビ） 33→33（テレビ金沢） 25→25（北陸朝日） 01→01（北日本放送） 34→34（富山テレビ） 32→32（チューリップ） 11→11（福井放送） 39→39（福井テレビ）
福井	福井	18	80→09（NHK総合） 90→03（NHK教育） 11→11（福井放送） 39→39（福井テレビ） 06→06（北陸放送） 37→37（石川テレビ） 33→33（テレビ金沢） 25→25（北陸朝日） 34→34（京都テレビ）
岐阜	岐阜	21	80→39（NHK総合） 90→09（NHK教育） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 11→11（メ～テレ） 35→35（中京テレビ） 37→37（岐阜放送） 25→25（テレビ愛知） 33→33（三重テレビ）
	長良	76	80→53（NHK総合） 90→49（NHK教育） 05→55（CBC） 01→57（東海テレビ） 11→59（メ～テレ） 35→47（中京テレビ） 37→61（岐阜放送） 25→25（テレビ愛知） 33→33（三重テレビ）
静岡	静岡	22	80→09（NHK総合） 90→02（NHK教育） 11→11（静岡放送） 35→35（テレビ静岡） 33→33（静岡朝日テレビ） 31→31（静岡第一）
	浜松	59	80→04（NHK総合） 90→08（NHK教育） 11→06（静岡放送） 35→34（テレビ静岡） 33→28（静岡朝日テレビ） 31→30（静岡第一） 25→25（テレビ愛知） 01→01（東海テレビ） 05→05（CBC）
	富士宮	77	80→52（NHK総合） 90→54（NHK教育） 11→41（静岡放送） 35→39（テレビ静岡） 33→29（静岡朝日テレビ） 31→27（静岡第一）
	三島	78	80→53（NHK総合） 90→51（NHK教育） 11→55（静岡放送） 35→59（テレビ静岡） 33→57（静岡朝日テレビ） 31→61（静岡第一）
	島田	79	80→01（NHK総合） 90→03（NHK教育） 11→05（静岡放送） 35→58（テレビ静岡） 33→50（静岡朝日テレビ） 31→48（静岡第一）
愛知	名古屋	23	80→03（NHK総合） 90→09（NHK教育） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 11→11（メ～テレ） 35→35（中京テレビ） 25→25（テレビ愛知） 33→33（三重テレビ） 37→37（岐阜放送）
	豊橋	80	80→54（NHK総合） 90→50（NHK教育） 05→62（CBC） 01→56（東海テレビ） 11→60（メ～テレ） 35→58（中京テレビ） 25→52（テレビ愛知）

次のページにつづく

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局の ガイドチャンネルと表示チャンネル （放送局名は略称を使用しています）
愛知	豊田	81	80→53（NHK総合） 90→51（NHK教育） 05→55（CBC） 01→57（東海テレビ） 11→61（メ～テレ） 35→59（中京テレビ） 25→49（テレビ愛知）
三重	津	24	80→31（NHK総合） 90→09（NHK教育） 05→05（CBC） 01→01（東海テレビ） 11→11（メ～テレ） 35→35（中京テレビ） 33→33（三重テレビ） 25→25（テレビ愛知） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送）
	伊勢	82	80→53（NHK総合） 90→49（NHK教育） 05→55（CBC） 01→57（東海テレビ） 11→61（メ～テレ） 35→47（中京テレビ） 33→59（三重テレビ） 25→25（テレビ愛知） 30→30（テレビ和歌山）
滋賀	大津	25	80→28（NHK総合） 90→46（NHK教育） 04→36（毎日放送） 06→38（朝日放送） 08→40（関西テレビ） 10→42（読売テレビ） 30→30（びわ湖放送） 34→34（京都テレビ）
	彦根	83	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 04→54（毎日放送） 06→58（朝日放送） 08→60（関西テレビ） 10→62（読売テレビ） 30→56（びわ湖放送）
京都	京都	26	80→32（NHK総合） 90→12（NHK教育） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ） 34→34（京都テレビ） 19→19（テレビ大阪） 36→36（サンテレビ） 55→26（奈良テレビ）
	山科	84	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 04→54（毎日放送） 06→56（朝日放送） 08→58（関西テレビ） 10→60（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪） 34→62（京都テレビ）

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局の ガイドチャンネルと表示チャンネル （放送局名は略称を使用しています）
大阪	大阪	27	80→02（NHK総合） 90→12（NHK教育） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪） 34→34（京都テレビ） 36→36（サンテレビ） 30→30（びわ湖放送）
兵庫	神戸	28	80→28（NHK総合） 90→26（NHK教育） 04→18（毎日放送） 06→20（朝日放送） 08→22（関西テレビ） 10→24（読売テレビ） 36→36（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）
	姫路	85	80→50（NHK総合） 90→52（NHK教育） 04→54（毎日放送） 06→58（朝日放送） 08→60（関西テレビ） 10→62（読売テレビ） 36→56（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）
	北淡垂水	86	80→51（NHK総合） 90→49（NHK教育） 04→53（毎日放送） 06→57（朝日放送） 08→59（関西テレビ） 10→61（読売テレビ） 36→55（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）
	三木	87	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 04→34（毎日放送） 06→38（朝日放送） 08→40（関西テレビ） 10→42（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪） 36→55（サンテレビ）
	長田	88	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 04→38（毎日放送） 06→40（朝日放送） 08→42（関西テレビ） 10→48（読売テレビ） 36→34（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）
	神戸灘	89	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 04→54（毎日放送） 06→56（朝日放送） 08→58（関西テレビ） 10→60（読売テレビ） 36→62（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
奈良	奈良	29	80→51（NHK総合） 90→48（NHK教育） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ） 55→55（奈良テレビ） 36→36（サンテレビ） 34→34（京都テレビ） 19→19（テレビ大阪）
	生駒 奈良北	90	80→24（NHK総合） 90→22（NHK教育） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ） 55→26（奈良テレビ） 19→19（テレビ大阪）
和歌山	和歌山	30	80→32（NHK総合） 90→26（NHK教育） 04→42（毎日放送） 06→44（朝日放送） 08→46（関西テレビ） 10→48（読売テレビ） 30→30（テレビ和歌山） 36→36（サンテレビ）
	海南	91	80→50（NHK総合） 90→52（NHK教育） 04→54（毎日放送） 06→58（朝日放送） 08→60（関西テレビ） 10→62（読売テレビ） 30→56（テレビ和歌山）
鳥取	鳥取	31	80→03（NHK総合） 90→04（NHK教育） 01→01（日本海テレビ） 10→22（BSS） 34→24（山陰中央）
島根	松江	32	80→06（NHK総合） 90→12（NHK教育） 10→10（BSS） 34→34（山陰中央） 01→30（日本海テレビ）
	浜田	61	80→02（NHK総合） 90→09（NHK教育） 10→05（BSS） 34→58（山陰中央） 01→54（日本海テレビ）
岡山	岡山	33	80→05（NHK総合） 90→03（NHK教育） 11→11（RSK） 35→35（OHK） 23→23（テレビせとうち） 09→09（西日本放送） 33→25（KSB）
広島	広島	34	80→03（NHK総合） 90→07（NHK教育） 04→04（RCC） 12→12（広島テレビ） 35→35（広島ホームテレビ） 31→31（TSS） 10→10（南海放送） 29→29（あいテレビ） 37→37（テレビ愛媛）

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
広島	福山	60	80→05（NHK総合） 90→03（NHK教育） 04→07（RCC） 12→11（広島テレビ） 35→57（広島ホームテレビ） 31→54（TSS） 09→09（西日本放送） 10→10（南海放送） 29→29（あいテレビ） 37→37（テレビ愛媛）
山口	山口	35	80→09（NHK総合） 90→01（NHK教育） 11→11（山口放送） 38→38（テレビ山口） 28→28（山口朝日） 09→10（TNC） 19→23（TVQ） 04→08（RKB毎日） 37→35（FBS） 01→02（KBC）
	下関	92	80→39（NHK総合） 90→41（NHK教育） 11→04（山口放送） 38→33（テレビ山口） 28→21（山口朝日） 09→10（TNC） 19→23（TVQ） 04→08（RKB毎日） 37→35（FBS） 01→02（KBC）
徳島	徳島	36	80→03（NHK総合） 90→38（NHK教育） 01→01（四国放送） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ） 36→36（サンテレビ） 30→55（テレビ和歌山） 19→19（テレビ大阪）
香川	高松	37	80→37（NHK総合） 90→39（NHK教育） 33→33（KSB） 09→41（西日本放送） 11→29（RSK） 35→31（OHK） 23→19（テレビせとうち） 04→04（毎日放送） 06→06（朝日放送） 08→08（関西テレビ） 10→10（読売テレビ）
	西讃岐	93	80→44（NHK総合） 90→40（NHK教育） 33→42（KSB） 09→20（西日本放送） 11→18（RSK） 35→22（OHK） 23→16（テレビせとうち） 12→12（広島テレビ）

次のページにつづく

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)
愛媛	松山	38	80→06(NHK総合) 90→02(NHK教育) 10→10(南海放送) 37→37(テレビ愛媛) 29→29(あいテレビ) 35→35(広島ホームテレビ) 25→25(愛媛朝日) 31→31(TSS) 04→04(RCC) 12→12(広島テレビ)
	新居浜	62	80→02(NHK総合) 90→04(NHK教育) 10→06(南海放送) 37→36(テレビ愛媛) 29→27(あいテレビ) 35→35(広島ホームテレビ) 25→14(愛媛朝日) 31→31(TSS) 12→12(広島テレビ)
高知	高知	39	80→04(NHK総合) 90→06(NHK教育) 08→08(高知放送) 38→38(KUTV) 01→01(四国放送) 09→41(西日本放送) 40→40(KSS)
福岡	福岡	40	80→03(NHK総合) 90→06(NHK教育) 04→04(RKB毎日) 01→01(KBC) 09→09(TNC) 37→37(FBS) 19→19(TVQ) 36→36(STS)
	北九州	63	80→06(NHK総合) 90→12(NHK教育) 04→08(RKB毎日) 01→02(KBC) 09→10(TNC) 37→35(FBS) 19→23(TVQ) 28→21(山口朝日) 11→04(山口放送) 38→33(テレビ山口)
	久留米	94	80→46(NHK総合) 90→54(NHK教育) 04→48(RKB毎日) 01→57(KBC) 09→60(TNC) 37→52(FBS) 19→14(TVQ) 36→36(STS)
	大牟田	95	80→53(NHK総合) 90→50(NHK教育) 04→61(RKB毎日) 01→58(KBC) 09→55(TNC) 37→43(FBS) 19→19(TVQ) 11→11(熊本放送) 22→22(KKT) 16→16(熊本朝日) 34→34(TKU)
福岡	行橋	96	80→49(NHK総合) 90→46(NHK教育) 04→60(RKB毎日) 01→57(KBC) 09→54(TNC) 37→43(FBS) 19→19(TVQ) 36→37(TOS) 05→51(OBS)
佐賀	佐賀	41	80→38(NHK総合) 90→40(NHK教育) 36→36(STS) 11→11(熊本放送) 09→60(TNC) 37→52(FBS) 19→14(TVQ) 04→48(RKB毎日) 01→57(KBC)
長崎	長崎	42	80→03(NHK総合) 90→01(NHK教育) 05→05(NBC) 37→37(テレビ長崎) 27→27(長崎文化) 25→25(長崎国際) 19→19(TVQ) 34→34(TKU) 22→22(KKT) 16→16(熊本朝日) 11→11(熊本放送)
	佐世保	97	80→08(NHK総合) 90→02(NHK教育) 05→10(NBC) 37→35(テレビ長崎) 27→31(長崎文化) 25→17(長崎国際) 36→41(STS)
	諫早	98	80→47(NHK総合) 90→45(NHK教育) 05→49(NBC) 37→42(テレビ長崎) 27→24(長崎文化) 25→20(長崎国際) 22→22(KKT) 16→16(熊本朝日) 34→34(TKU) 11→11(熊本放送)
熊本	熊本	43	80→09(NHK総合) 90→02(NHK教育) 11→11(熊本放送) 34→34(TKU) 22→22(KKT) 16→16(熊本朝日) 19→19(TVQ) 01→01(KBC) 04→04(RKB毎日) 05→05(NBC) 37→37(FBS) 36→36(STS)
大分	大分	44	80→03(NHK総合) 90→12(NHK教育) 05→05(OBS) 36→36(TOS) 24→24(OAB) 19→19(TVQ) 10→06(宮崎放送)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
宮崎	宮崎	45	80→08（NHK総合） 90→12（NHK教育） 10→10（宮崎放送） 35→35（テレビ宮崎） 32→48（鹿児島放送） 30→42（鹿児島読売） 38→52（KTS） 01→62（MBC）
	延岡	64	80→04（NHK総合） 90→02（NHK教育） 10→06（宮崎放送） 35→39（テレビ宮崎）
鹿児島	鹿児島	46	80→03（NHK総合） 90→05（NHK教育） 01→01（MBC） 38→38（KTS） 32→32（鹿児島放送） 30→30（鹿児島読売） 22→40（KKT） 16→36（熊本朝日） 34→42（TKU）
	阿久根	65	80→08（NHK総合） 90→12（NHK教育） 01→10（MBC） 38→35（KTS） 32→23（鹿児島放送） 30→17（鹿児島読売） 22→36（KKT） 16→32（熊本朝日） 11→06（熊本放送） 34→38（TKU）
	鹿屋	99	80→04（NHK総合） 90→02（NHK教育） 01→06（MBC） 38→33（KTS） 32→31（鹿児島放送） 30→25（鹿児島読売） 10→10（宮崎放送） 35→39（テレビ宮崎）
沖縄	那覇	47	80→02（NHK総合） 90→12（NHK教育） 10→10（RBC） 08→08（OTV） 28→28（QAB）

次のページにつづく

BS放送およびCATVのガイドチャンネル表

BS放送やCATVをGコード予約できます。

- 本機の入力端子にBSチューナー内蔵テレビやCATVチューナーなどをつないだ場合
  「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」（52ページ）にしたがって、ガイドチャンネルと表示チャンネルを設定してください。
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどで、BS放送を本機でご覧になる場合
  「ガイドチャンネルを追加する」（50ページ）にしたがって、ガイドチャンネルを設定してください。

ガイドチャンネル

以下の表にしたがって入れます。

放送の種類	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネル
BS	74（NHK衛星第1）
	75（ハイビジョン）
	76（NHK衛星第2）
	73（WOWOW）
ケーブルネットワーク	40（NNN24）
	49（CSN1ムービーチャンネル）
	50（チャンネルNECO）
	51（ゴルフネットワーク)

表示チャンネル

自動チャンネル合わせで設定したチャンネル（画面に映るチャンネル）の番号です。手動で変更することもできます。

ご注意

- デジタルCS放送（スカイパーフェクTV!など）やBSデジタル放送はGコード予約できません。

手動でチャンネルを合わせる

かんたん設定（33ページ）をすると、お住まいの地域で受信できるチャンネルがご覧になれます。ただし、受信チャンネルや表示チャンネルの設定がこれまでと違う場合があります。本機では、お使いになりやすいようにチャンネルの設定を変えることができます。

これまでと同じチャンネルで同じ放送局を見られるようにするには
→「チャンネルの番号をテレビに合わせる」（48ページ）

これまで受信していた放送局を見られるようにするには
→「受信できる放送局を追加する」（52ページ）

デジタル放送への移行にともない、変更されたチャンネルを見られるようにするには
→「受信できる放送局を追加する」（52ページ）

不要なチャンネルを選ばないようにするには
→「不要なチャンネルをとばす」（54ページ）

ガイドチャンネルが設定されていない放送局にガイドチャンネルを設定するには
→「ガイドチャンネルを追加する」（50ページ）

デジタル放送への移行にともない、設定されていたガイドチャンネルが変わった場合には
→「ガイドチャンネルを追加する」（50ページ）

映りの悪いチャンネルを微調整するには
→「受信状態を調整する（微調整）」（56ページ）

ご注意

- 本機とアンテナ線がつながっていないと、「チャンネル設定」をすることができません。「手順2:アンテナをつなぐ」（17ページ）と「手順3:テレビやモニターをつなぐ」（21ページ）の接続を行ってから「チャンネル設定」を行ってください。
- S-VIDEO OUT（S映像出力）端子、COMPONENT VIDEO OUT（コンポーネント映像出力）端子、D2 OUT（D2映像出力）端子を用いた接続はDVDからの出力のみに対応しています。「チャンネル設定」を行うときは、「映像・音声コードをつなぐ（テレビに映像・音声入力端子がある とき）」（21ページ）で接続したテレビの入力に切り換えてください。

次のページにつづく

チャンネルの番号をテレビに合わせる

かんたん設定（33ページ）でチャンネルを自動で合わせたときに、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。

例：　テレビではNHK教育テレビが3チャンネルなのに、ビデオでは50チャンネルになった。テレビに合わせて表示チャンネルを3チャンネルにしたい。

このようなときは、手動でテレビと同じチャンネルに変えることができます。

始めるまえに…

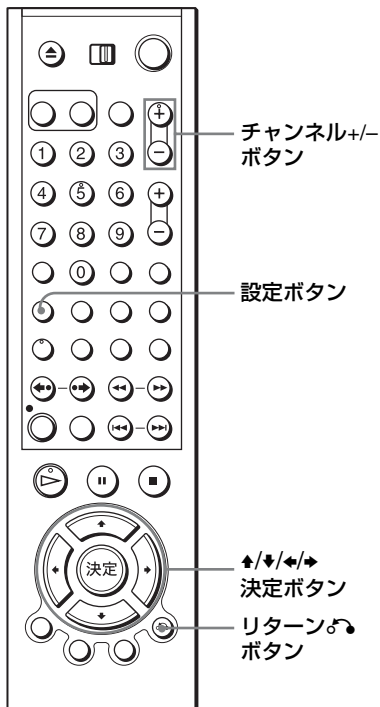
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ビデオ再生中またはディスク再生中に「チャンネル設定」を行うことはできません。再生を停止してください。

1

設定

設定ボタンを押し、↑/↓で（初期設定）を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

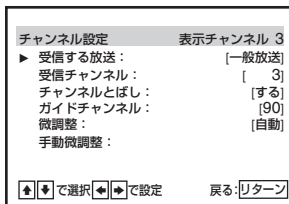
「チャンネル設定」メニューが表示されます。

チャンネル設定	表示チャンネル 1
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[　　1]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[80]
微調整：	[自動]
手動微調整：	

↑↓ で選択 ←→ で設定　戻る：リターン

3

チャンネル+/–ボタンで合わせたい表示チャンネルを選ぶ

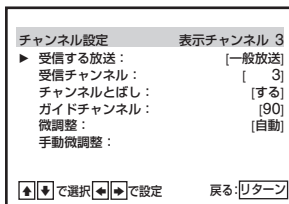
例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、「表示チャンネル 3」を選ぶ

チャンネル設定	表示チャンネル 3
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[3]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[90]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
⬆⬇で選択⬅➡で設定	戻る：リターン

4

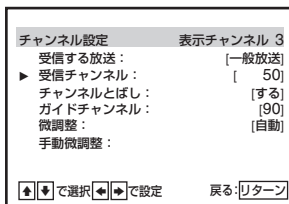
⬆/⬇で「受信する放送」を選び、⬅/➡で「一般放送」または「CATV」を選ぶ

「CATV」を選んだときは、受信チャンネルの番号の前に、CATVのチャンネルを示す「C」がつきます。（例：C13）

チャンネル設定	表示チャンネル 3
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[3]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[90]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
⬆⬇で選択⬅➡で設定	戻る：リターン

5

⬆/⬇で「受信チャンネル」を選び、⬅/➡で受信チャンネルの番号を変える

例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、受信チャンネルを「50」にする

チャンネル設定	表示チャンネル 3
受信する放送：	[一般放送]
▶ 受信チャンネル：	[50]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[90]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
⬆⬇で選択⬅➡で設定	戻る：リターン

6

他のチャンネルの番号を合わせるときは、手順3～5を繰り返す

7

終わったらリターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

次のページにつづく

ガイドチャンネルを追加する

かんたん設定（33ページ）で設定した地域番号に含まれる放送局の他に、ご覧になれる放送局があるときは、Gコード予約できるように追加します。追加する放送局のガイドチャンネルは「Gコード地域番号・放送局表」（38〜45ページ）でご確認ください。

CATVを受信している場合は、かんたん設定を行ってもガイドチャンネルが設定されません。Gコード予約できる放送局があるときは、ガイドチャンネルを追加してください。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ビデオ再生中またはディスク再生中に「チャンネル設定」を行うことはできません。再生を停止してください。

1

設定ボタンを押し、↑/↓で（初期設定）を選び、決定ボタンを押す

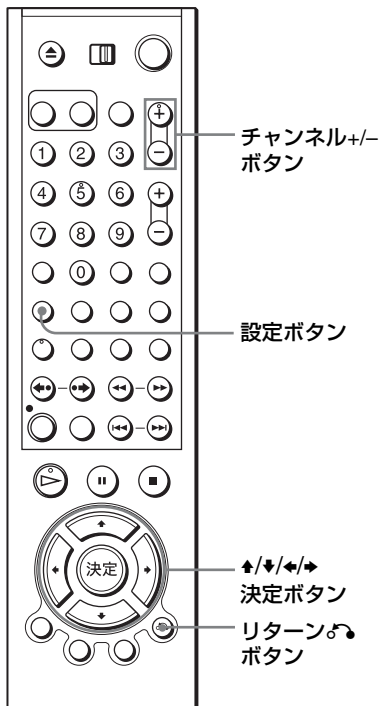
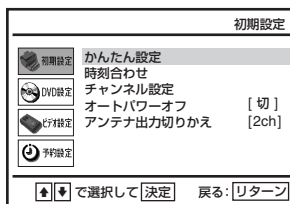
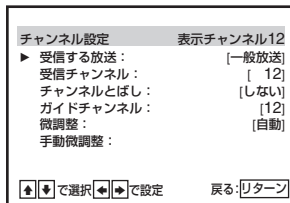
「初期設定」メニューが表示されます。

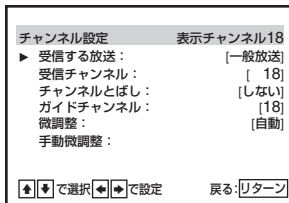
2

↑/↓で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

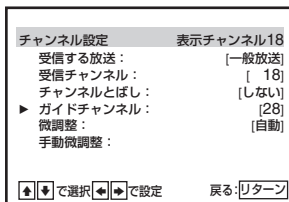
「チャンネル設定」メニューが表示されます。

チャンネル設定　表示チャンネル12
▶ 受信する放送：[一般放送]
受信チャンネル：[12]
チャンネルとばし：[しない]
ガイドチャンネル：[12]
微調整：[自動]
手動微調整：
↑↓で選択←→で設定　戻る：リターン

3

チャンネル+/–ボタンでガイドチャンネルを追加する放送局の表示チャンネルを選ぶ

チャンネル設定　　表示チャンネル18
▶ 受信する放送：　[一般放送]
受信チャンネル：　[　18]
チャンネルとばし：　[しない]
ガイドチャンネル：　[18]
微調整：　[自動]
手動微調整：
↑↓で選択←→で設定　　戻る:リターン

4

↑/↓で「ガイドチャンネル」を選び、←/→でガイドチャンネルの番号を変える

チャンネル設定　　表示チャンネル18
受信する放送：　[一般放送]
受信チャンネル：　[　18]
チャンネルとばし：　[しない]
▶ ガイドチャンネル：　[28]
微調整：　[自動]
手動微調整：
↑↓で選択←→で設定　　戻る:リターン

5

他のガイドチャンネルを追加するときは、手順3～4を繰り返す

6

終わったらリターン↶ボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

ご注意

- 同じ番号のガイドチャンネルは設定できません。設定しようとしている番号が他のチャンネルで使われているときは、他のチャンネルで使われている番号または現在設定しようとしている番号を変更してください。

CATVのチャンネルで映るVHF/UHF放送をGコードで予約するには

1 手順3でVHF/UHF放送が映るチャンネルを選ぶ

2 手順4で↑/↓で「ガイドチャンネル」を選び、←/→でGコード予約したい放送局のガイドチャンネルを「Gコード地域番号・放送局表」（38～45ページ）から選ぶ

BS放送をGコードで予約するには、ガイドチャンネルを「BS放送およびCATVのガイドチャンネル表」（46ページ）から選びます。

接続と準備

次のページにつづく

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

1 手順3で「入力1」または「入力2」を選ぶ

本機のLINE IN 1（入力1）端子に機器をつないでいるときは「入力1」を、入力2端子につないでいるときは「入力2」を選びます。

2 手順4で↑/↓で「ガイドチャンネル」を選び、←/→でGコード予約したい放送局のガイドチャンネルを「BS放送およびCATVのガイドチャンネル表」（46ページ）から選んで入れる

3 終わったらリターン↶ボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

受信できる放送局を追加する

かんたん設定（33ページ）で受信できなかった放送局のチャンネルを、手動で追加することができます。

始めるまえに…

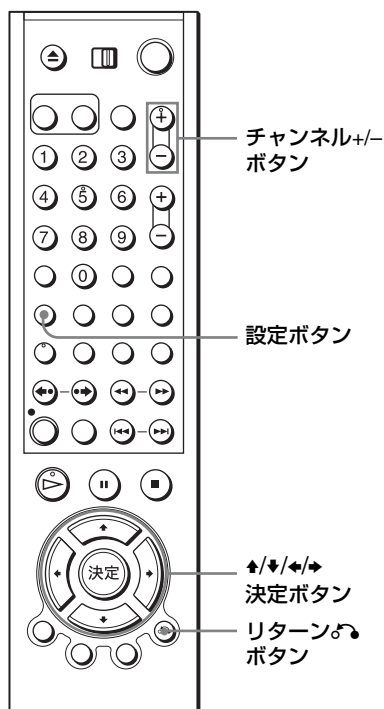
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ビデオ再生中またはディスク再生中に「チャンネル設定」を行うことはできません。再生を停止してください。

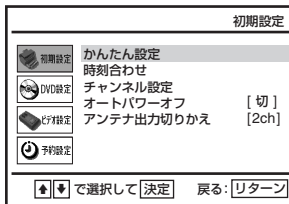
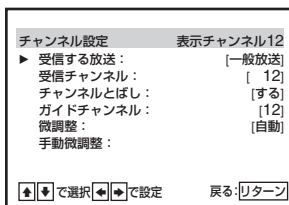
1

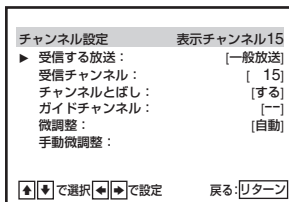
設定ボタンを押し、↑/↓で （初期設定）を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

「チャンネル設定」メニューが表示されます。

チャンネル設定	表示チャンネル12
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[12]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[12]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

3

チャンネル+/–ボタンで受信できなかった放送局の表示チャンネルを選ぶ

チャンネル設定	表示チャンネル15
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[15]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[−−]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

4

↑/↓で「受信する放送」を選び、←/→で「一般放送」または「CATV」を選ぶ

「CATV」を選んだときは、受信チャンネルの番号の前に、CATVのチャンネルを示す「C」がつきます。（例：C13）

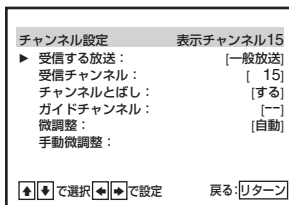
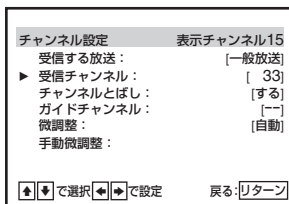
チャンネル設定	表示チャンネル15
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[15]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[−−]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

5

↑/↓で「受信チャンネル」を選び、←/→で受信チャンネルの番号を変える

チャンネル設定	表示チャンネル15
受信する放送：	[一般放送]
▶ 受信チャンネル：	[33]
チャンネルとばし：	[する]
ガイドチャンネル：	[−−]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

次のページにつづく

6

↑/↓で「チャンネルとばし」を選び、←/→で「しない」を選ぶ

チャンネル設定	表示チャンネル15
受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[33]
▶ チャンネルとばし：	[しない]
ガイドチャンネル：	[−−]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

7

他の放送局を追加するときは、手順3～6を繰り返す

8

終わったらリターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

不要なチャンネルをとばす

放送のないチャンネルを選ばないようにします。チャンネル+/–ボタンでチャンネルを選ぶときに、映るチャンネルだけを選ぶことができます。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ビデオ再生中またはディスク再生中に「チャンネル設定」を行うことはできません。再生を停止してください。

1

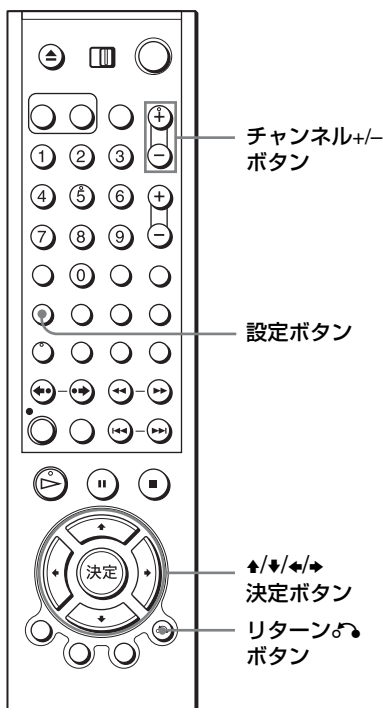
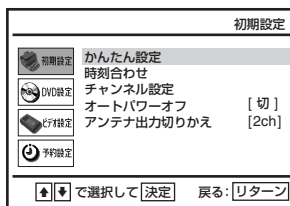
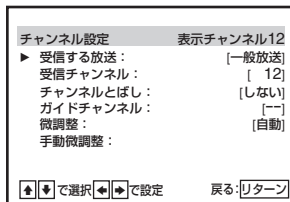
設定
設定ボタンを押し、↑/↓で （初期設定）を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

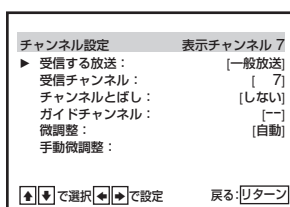
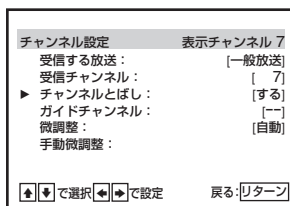
「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3

チャンネル+/–ボタンでとばしたい表示チャンネルを選ぶ

チャンネル設定 表示チャンネル 7
▶ 受信する放送： [一般放送]
受信チャンネル： [7]
チャンネルとばし： [しない]
ガイドチャンネル： [−−]
微調整： [自動]
手動微調整：
で選択 で設定 戻る: リターン

4

↑/↓で「チャンネルとばし」を選び、←/→で「する」を選ぶ

チャンネル設定 表示チャンネル 7
受信する放送： [一般放送]
受信チャンネル： [7]
▶ チャンネルとばし： [する]
ガイドチャンネル： [−−]
微調整： [自動]
手動微調整：
で選択 で設定 戻る: リターン

5

他のチャンネルをとばすときは、手順3と4を繰り返す

6

設定

終わったらリターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

次のページにつづく

受信状態を調整する（微調整）

本機ではテレビ放送の受信状態を自動的に調整するので、きれいな画像をお楽しみいただけます。映りの悪いチャンネルがあるときは、手動で調整してください。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ビデオ再生中またはディスク再生中に「チャンネル設定」を行うことはできません。再生を停止してください。

1 設定

設定ボタンを押し、♠/♣で （初期設定）を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

2

♠/♣で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3

チャンネル+/–ボタンで映りの悪い表示チャンネルを選ぶ

チャンネル設定	表示チャンネル 7
▶ 受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[7]
チャンネルとばし：	[しない]
ガイドチャンネル：	[6]
微調整：	[自動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

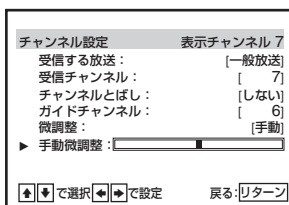
4

↑/↓で「微調整」を選び、←/→で「手動」を選ぶ

チャンネル設定	表示チャンネル 7
受信する放送：	[一般放送]
受信チャンネル：	[7]
チャンネルとばし：	[しない]
ガイドチャンネル：	[6]
▶ 微調整：	[手動]
手動微調整：	
↑↓で選択←→で設定	戻る：リターン

5

↑/↓で「手動微調整」を選ぶ

調整バーが出ます。
テレビ画面には受信映像が映し出されます。

6

←/→で調整する

画面を見ながらきれいに映るように調節します。

7

終わったらリターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

受信状態を自動調整に戻すには

手順4で「自動」を選びます。

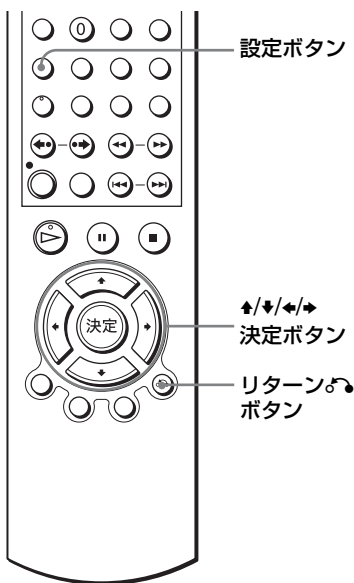
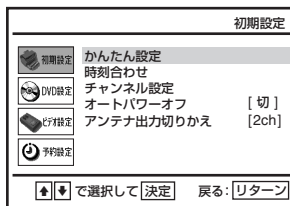
時計を合わせる

予約するには、本機の時計を正しく合わせておく必要があります。年、月、日、時、分が間違っていると、希望の日時に予約録画されません。
本機は時計を自動補正する機能（ジャストクロック機能）がありますが時計が2分以上ずれていると自動補正できません。時刻が合っていないときは、合わせ直します。

かんたん設定（33ページ）をしたときは、次の操作は必要ありません。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

1

設定ボタンを押し、↑/↓で（初期設定）を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを押す

「時刻合わせ」メニューが表示されます。

←/→で項目を選び、↑/↓で合わせる

年、月、日、時、分を順に合わせていきます。

4

時報と同時に決定ボタンを押す

時計合わせが終わりました。

リターンボタンを押し、設定ボタンを押すとメニューが消えます。

ご注意

- 設定した時刻を表示窓に表示させるには、本機の電源を切ってください。本機の電源を入れている場合は、ビデオ操作モードではカセットが入っていないとき、DVD操作モードではディスクが停止状態のとき、時刻が表示されます。（DVD操作モードでディスクが入っていないときは「－－－－－」と表示されます。）

接続と準備

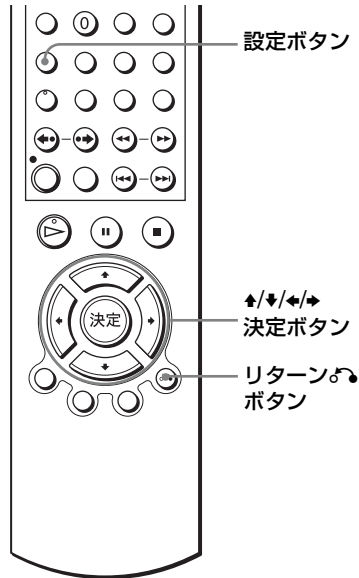
次のページにつづく

時計を自動補正する（ジャストクロック）

NHK教育テレビの正午の時報を読みとり、本機の時計を補正します（ただし、正午に時報が送信されない場合は、自動補正されません）。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。

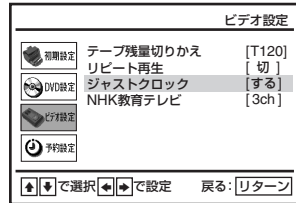
始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

1

設定ボタンを押し、↑/↓で（ビデオ設定）を選び、決定ボタンを押す

「ビデオ設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「ジャストクロック」を選び、←/→で「する」を選ぶ

3

↑/↓で「NHK教育テレビ」を選び、←/→でお住まいの地域のNHK教育テレビのチャンネルを選ぶ

ビデオ設定

初期設定
DVD設定
ビデオ設定
予約設定

テープ残量切りかえ	[T120]
リピート再生	[切]
ジャストクロック	[する]
NHK教育テレビ	[3ch]

↑↓で選択 ←→で設定　戻る：リターン

4

終わったらリターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

ご注意

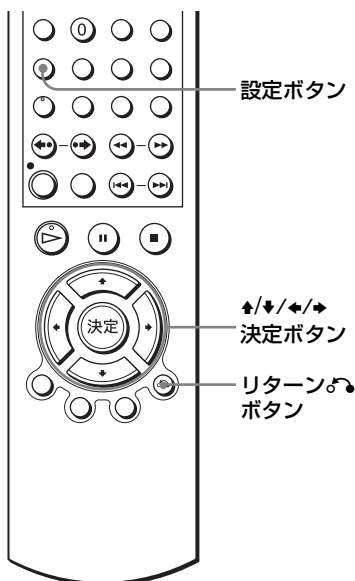
- 正午に時報を読みとるとき、本機の電源が入っている場合は自動補正できません。
- NHK教育テレビのチャンネルを、不要なチャンネルとしてとばす（54ページ）と、時計の自動補正ができなくなります。このときは、NHK教育テレビを受信できるように追加して（52ページ）から、ジャストクロックの設定をやり直してください。

初期設定を変える

オートパワーオフやアンテナ出力切りかえなどの設定を変えることができます。通常はお買い上げ時の設定で使えます。必要に応じて変えてください。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

1

設定ボタンを押し、↑/↓で（初期設定）を選び、決定ボタンを押す

「初期設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「オートパワーオフ」または「アンテナ出力切りかえ」を選び、←/→で設定する

アンテナ出力切りかえでチャンネルの変更を行なった場合は確認のメッセージが表示されます。決定ボタンを押して、確認を行なってください。

3

リターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

設定の内容

太字はお買い上げ時の設定です。

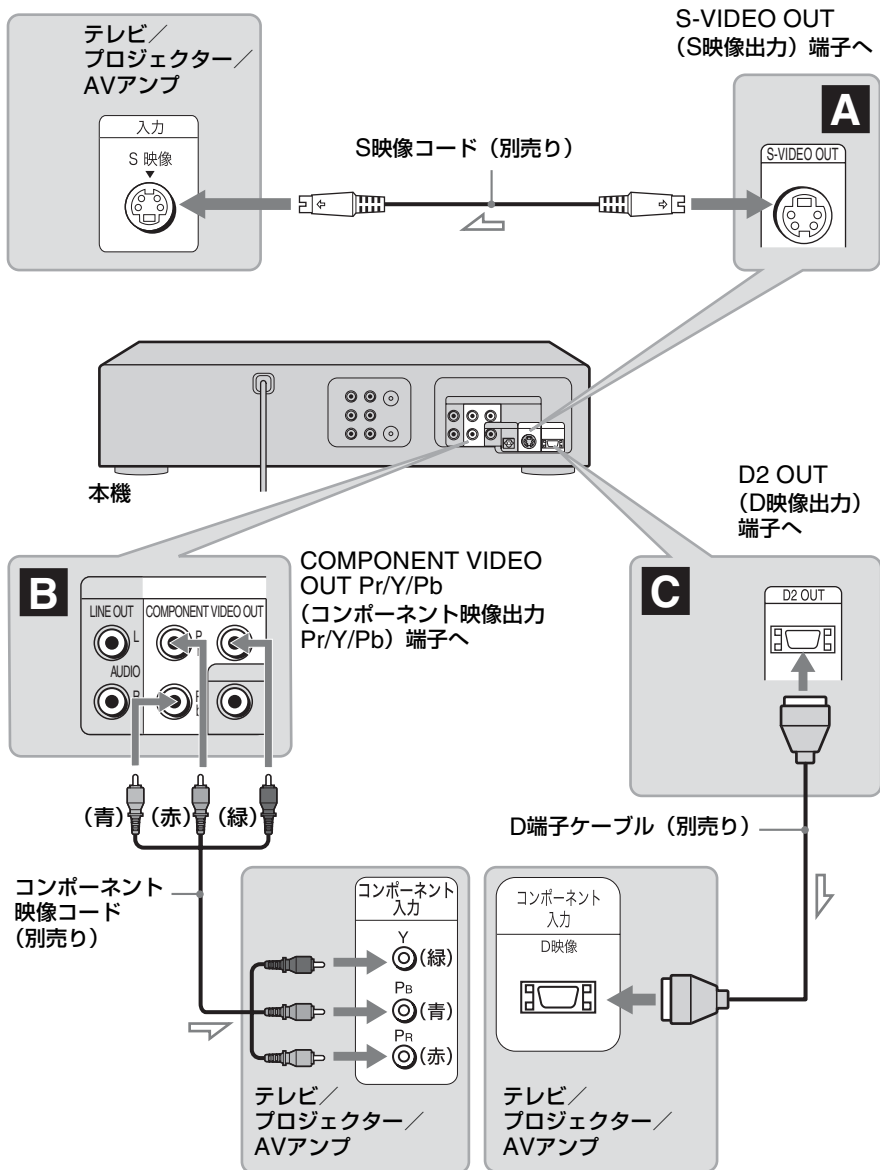
メニュー項目	設定内容
オートパワーオフ	• 1時間　1時間使用しないと、自動的に電源が切れる。 • 2時間　2時間使用しないと、自動的に電源が切れる。 • **切**　電源は自動的に切れない。
アンテナ出力切りかえ	• 1ch　本機の信号を出力するのに1チャンネルを使用するとき • 2ch　本機の信号を出力するのに2チャンネルを使用するとき

接続と準備

S映像/コンポーネント映像/D映像端子のある機器とつなぐ

本機にはDVD専用の映像・音声出力端子があります。S映像/コンポーネント映像/D映像端子のある機器とつなぐと、DVDの映像をより高画質で楽しむことができます。お手持ちのテレビなどの入力端子に応じて、A～Cのつなぎかたから選んでください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
525プログレッシブ（525p）方式対応のテレビなどに接続してプログレッシブ映像をお楽しみになる場合は、BかCでつなぎます。
S映像/コンポーネント映像/D映像の接続だけでは音声はでません。必ず本機後面右側のLINE OUT AUDIO L/R（音声左/右出力）端子またはDIGITAL AUDIO OUT/OPTICALまたはCOAXIAL（デジタル音声出力/光または同軸）端子を用いて音声接続を行なってください。（「アンプ・スピーカーの接続」（68ページ））

ご注意

- VHSを再生したりテレビを録画するためには必ず「手順3: テレビやモニターをつなぐ」（21ページ）の接続を行ってください。

：映像信号の流れ

ご注意

- S-VIDEO OUT（S映像出力）端子、COMPONENT VIDEO OUT（コンポーネント映像出力）端子、D2 OUT（D2映像出力）端子を用いた接続はDVDからの出力のみに対応しています。VHSからの信号は出力されません。

次のページにつづく

A S映像入力端子のある機器とつなぐ

S 映像コード（別売り）を使ってつなぎます。よりきれいな映像が楽しめます。

B コンポーネント映像（Y、PB/CB、PR/CR）入力端子のある機器とつなぐ

コンポーネント映像コード（別売り）、または映像コード（別売り）の同じ種類で同じ長さのものを3 本使ってつなぎます。輝度（Y）、色差（PB/CB、PR/CR）信号それぞれ独立して出力されるので、映像本来の色を忠実に再現します。
テレビがプログレッシブ方式（525p）に対応している場合はこの接続にします。

C D映像入力端子のある機器とつなぐ

D 端子ケーブル（別売り）を使ってつなぎます。ケーブル1 本で簡単にコンポーネント映像で接続でき、映像本来の色を忠実に再現します。
本機はD2 映像信号まで対応しています。テレビがプログレッシブ方式（525p）に対応している場合はこの接続にします。

プログレッシブ対応機器を使う

プログレッシブ525P方式に対応した機器とつなぐときは、コンポーネント映像コードまたはD端子ケーブルを用いた接続を行ってください。
プログレッシブ方式に設定するには、「画面設定」メニューで「プログレッシブ出力」を「入」に設定してください。（140ページ）（プログレッシブランプがオレンジ色に点灯します。）

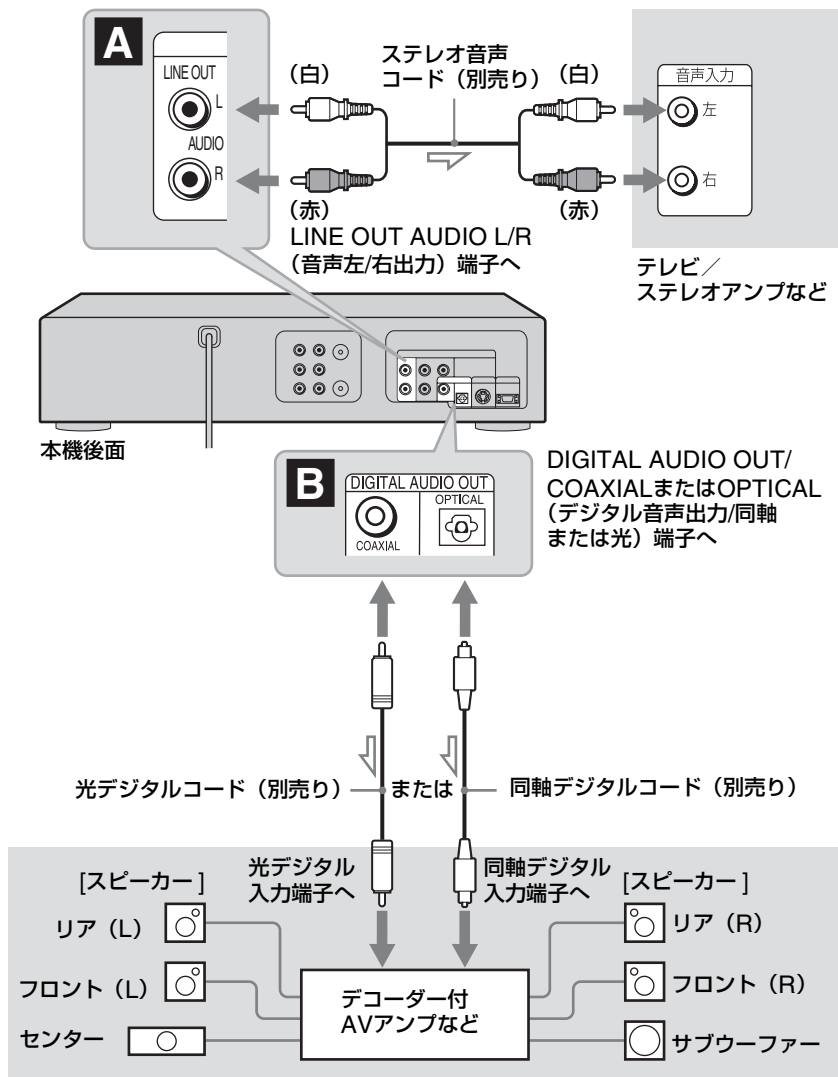
従来の4:3 画面テレビとつなぐとき

再生するディスクによっては、画像がご希望の形に表示されないことがあります。表示画像を切り換えるには「画像に関する設定」（139ページ）をご覧ください。

ご注意

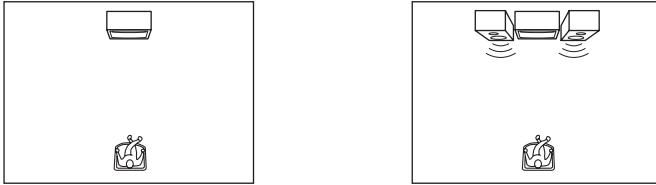
- VHSの信号はプログレッシブ出力できません。
- プログレッシブ方式の信号はS-VIDEO OUT（S映像出力）端子からは出力されません。S-VIDEO OUT（S映像出力）端子接続のまま、「画面設定」「プログレッシブ出力」を「入」に設定した場合、正しい映像でご覧になることができません。

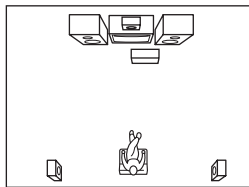
アンプ・スピーカーの接続

DVD専用の音声出力端子をアンプやスピーカーにつなぐ接続です。
お手持ちの機器に応じてAまたはBのつなぎかたを選んでください。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機後面右側の音声出力端子、デジタル音声出力端子を用いた接続はDVDからの出力のみに対応しています。VHSからの信号は出力されません。

A左右音声入力端子につなぐ

テレビやステレオアンプの２つのスピーカーから音を出すときの接続です。音声コード（別売り）でつなぎます。
サラウンド効果（120ページ）

Bデジタル音声入力端子につなぐ

ドルビー*デジタルまたはDTS**デコーダー付AVアンプ（デジタル入力端子付）を使うときの接続です。光または同軸デジタルコード（別売り）でつなぎます。
接続の後に、「 音声に関する設定」（136ページ）でデジタル音声出力に必要な設定を行ってください。
サラウンド効果
ドルビーデジタル（5.1ch）、DTS（5.1ch）

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
**DTSおよびDTS Digital Outは、Digital Theater Systems, Inc.の商標です。

ご注意

- デジタルコードで接続した場合、本機のサラウンド効果は使えません。
- デジタルコードで接続をしたときは、音声設定で「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、DTSを「入」にします（137ページ）。誤って設定すると、スピーカーから音が出なかったり異音が出ることがあります。

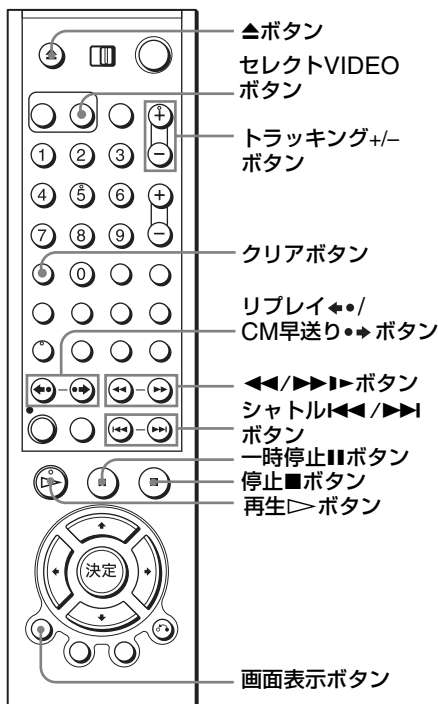
DVDのためのよりすすんだ接続

ビデオを見る VHS

S-VHSまたはVHSのビデオテープを再生して見ることができます。ただし、S-VHSの本来の解像度は得られません。（簡易再生）

始めるまえに…

- 本機とテレビの電源を入れます。（カセットを入れることによっても、本機の電源を入れることができます。）
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

---

1 セレクト VIDEO

セレクトVIDEOボタンを押す

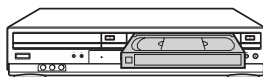
ビデオ操作モードに切り換わります。

2

カセットを入れる

ツメの折れたカセットを入れると自動的に再生が始まります。

---

3 再生

再生▷ボタンを押す

本機の表示窓に再生時間が表示されます。

テープの終わりまでいくと、自動的に巻き戻ります。

テレビ画面でテープについての情報を見るには、画面表示ボタンを押します。

詳しくは「画面表示やテープ残量を見るには」（83ページ）をご覧ください。

再生中のいろいろな操作

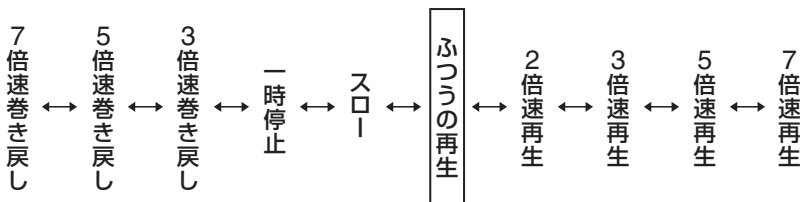
こんなときは	押す
再生を止める	停止■ボタン
再生を一時停止する	一時停止❚❚ボタン 5分以上たつと、再生に戻ります。
一時停止後、もう一度再生する	一時停止❚❚ボタンまたは再生▷ボタン
テープを早送りする	停止中に▶▶ボタン 早送り中にもう一度押すと、押している間、画像が見られます。
テープを巻き戻す	停止中に◀◀ボタン 巻き戻し中にもう一度押すと、押している間、画像が見られます。
カセットを取り出す	⏏ボタン
見たばかりの場面をもう一度再生する（リプレイ）	再生中にリプレイ←•ボタン SP（標準）モードでは約10秒、EP（3倍）モードでは約15秒前の場面に戻ります。
30秒単位で早送りする（CM早送り）	再生中にCM早送り•→ボタン 押すたびに約30秒ずつ、最長約2分間（4回押したぶん）を早送り再生します。
スロー	再生一時停止中に❚▶ボタンを押す。 ２分以上たつと、ふつうの再生に戻ります。

次のページにつづく

こんなときは	押す
2倍速	再生中にシャトル▶▶❙ボタンを押す。
早送り再生*	● **連続早送り再生** 再生中に▶▶ボタンを短く押す。5倍速で早送り再生する。 ● **押している間だけ早送り再生** 再生中に▶▶ボタンを押し続けると、押している間5倍速で早送り再生する。
巻き戻し再生*	● **連続巻き戻し再生** 再生中に◀◀ボタンを短く押す。5倍速で巻き戻し再生する。 ● **押している間だけ巻き戻し再生** 再生中に◀◀ボタンを押し続けると、押している間5倍速で巻き戻し再生する。
コマ送り	再生一時停止中に ●➡ ボタンを押す。

＊ リモコンの電池の消耗をおさえたいときは、連続早送り/巻き戻し再生をおすすめします。

再生の速さを変えるには（シャトル再生）

再生中にシャトル❙◀◀/▶▶❙ ボタンを押します。
ボタンを押すたびに再生の速さは次のように変わります。

ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

● スロー再生中のチラつきや、再生一時停止中の縦ゆれは、トラッキング+/–ボタンを押して調整してください。

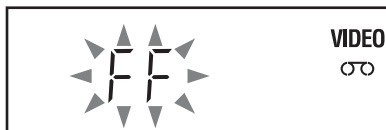
ご注意
- 変速再生中は音声が聞こえません。
- 他機の3倍モードで録画したテープは本機で再生できますが、画像が乱れることがあります。
- 巻き戻し再生中は画像が乱れることがあります。
- ビデオ再生中はディスクの再生を止めてください。

本機の表示窓の表示について

再生中または変速再生中は、本機の表示窓に次のように表示されます。

通常の再生中
再生▷ボタンを押すと「PLAY」表示が点灯し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

2倍速再生中
再生中にシャトル▶▶▶ボタンを押すと「PLAY2」表示が点灯し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

早送り再生中
再生中に▶▶ボタンを押すと「FF」表示が点滅し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

巻き戻し再生中
再生中に◀◀ボタンを押すと「REW」表示が点滅し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

一時停止中
再生中に一時停止❚❚ボタンを押すと「STILL」表示が点灯し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

停止中
再生中に停止■ボタンを押すと「STOP」表示が点灯し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

ビデオの再生

次のページにつづく

スロー再生中

再生中にシャトル⏮ボタンを押すと「SLOW」表示が点灯し、しばらくするとテープカウンターが表示されます。

テープカウンターを使うには

テープ再生中にあとで見つけたい部分のところでクリアボタンを押します。本機の表示窓のテープカウンターが「0:00:00」になります。あとからテープカウンターを参考にして、見たい部分を探します。

テレビ画面でテープカウンターを見るには、画面表示ボタンを押します。詳しくは「画面表示やテープ残量を見るには」（83ページ）をご覧ください。

ご注意

- 他機の3倍モードで録画したテープは本機で再生できますが、画像が乱れることがあります。
- カセットを入れるたびに、テープカウンターは「0:00:00」に戻ります。
- 録画されていない部分ではテープカウンターは動きません。
- テープ再生中もメニューを表示できますが、設定ボタンを押すと、リモコンの操作モードが自動的にDVDに切替わります。
  設定画面を消すにはリターンボタンを押してください。テープ再生画面に戻ります。
- 本機とテレビをS映像コード、コンポーネント映像コードまたはD端子ケーブルを使ってつないでいる場合、ビデオの映像を見ることができません。「映像・音声コードをつなぐ（テレビに映像・音声入力端子がある とき）」（21ページ）の接続に換えてから、再生を行ってください。
- 3倍モードで録画されたS-VHSテープの再生は保証できません。
- 再生中に「ヘッドがよごれているときは クリーニングテープでクリーニングしてください」と表示が出る場合は、ビデオヘッドが汚れている可能性があります。別売りのソニーのクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングしてください。（10ページ）
  再生中にリモコンのトラッキングボタンの＋か－を1度押すと、この表示は消えます。

画像と音声を調整する（トラッキング）

再生画像が乱れたり雑音が出るときは、手動でトラッキングを調節してください。
通常はトラッキング自動調節が働いて、きれいな画像で見ることができます。

再生中にトラッキング+/–ボタンを押して調節する

トラッキングを自動調整に戻すには

カセットを入れ直し、再生します。

ご注意

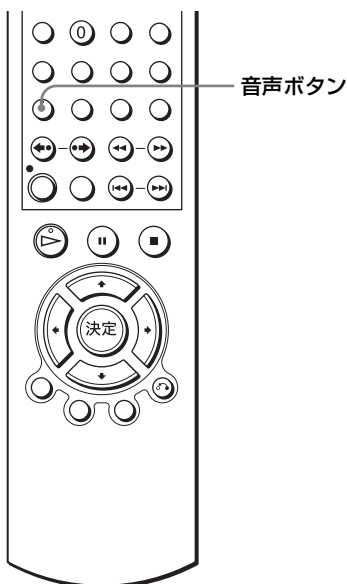
- 他機で録画したテープや録画状態の悪いテープでは、チラつきが十分に消えないことがあります。

ビデオの再生

二か国語放送などの音声を切り換える VHS

二か国語放送などを録画したテープを再生するとき、主音声や副音声など聞きたい音声に切り換えることができます。ステレオ放送を録画したテープは、自動的にステレオで聞こえます。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換え、セレクトVIDEOボタンを押し、ビデオ操作モードに切り換えます。（31ページ）

再生中に音声ボタンを押す

ボタンを押すたびに画面に出る表示と聞こえる音声が次のように切り換わります。

画面に出る表示	聞こえる音声	
	二か国語放送	ステレオ放送
ステレオ	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左	主音声	左チャンネル
副/右	副音声	右チャンネル
モノ	主音声	モノラル

ちょっと一言

本機で受信している二か国語放送の音声も、音声ボタンで切り換えることができます。

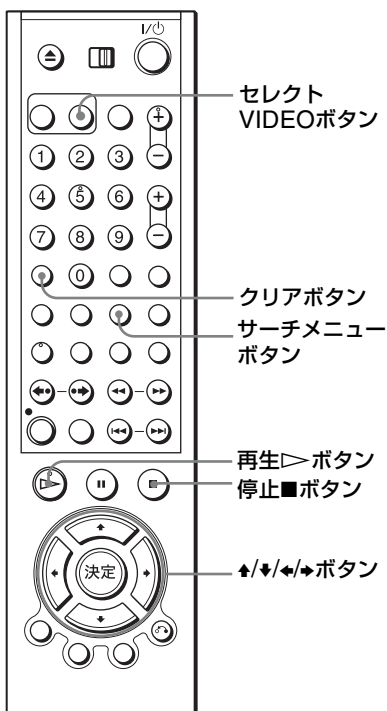
ご注意

- 音声ボタンは、モノラルまたは主音声だけで録画したテープを再生したときは働きません。

サーチ機能を使う VHS

サーチ機能を使って特定のポイントを簡単にみつけることができます。
いくつかの番組を1本のテープに録画したときは、前後の番組の頭出しができます。
頭出し信号は、次のときに自動的に付きます。
– 録画●ボタンを押したとき
– 録画一時停止中にチャンネルを変えて、再び録画を始めたとき
– 予約録画が始まったとき

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1 セレクト VIDEO

セレクトVIDEOボタンを押す

2

頭出し信号の付いたカセットをビデオに入れる

3 リピート/サーチメニュー

サーチメニューボタンを押す

インデックススキャン　：[←] / [→] 入力
リターン [0：00：00]：[↑] 入力
エンドサーチ　：[↓] 入力
1：01：30

次のページにつづく

4

- 番組を頭だしするには（インデックススキャン）

1 ➡で次の番組を、⬅で前の番組を頭出しする

頭出しして約5秒間再生します。

2 再生▷ボタンを押して、番組を見る

再生▷ボタンを押さないと、自動的に次の頭出しが行われ、テープが終わるまで頭出しが続きます。

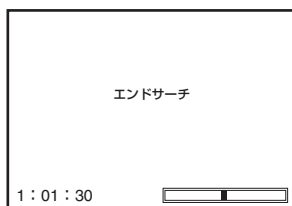
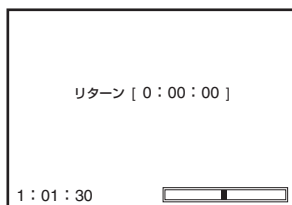
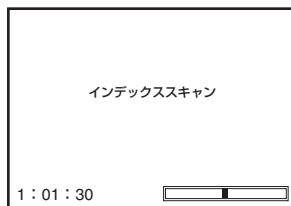
- カウンターが0:00:00のポイントをサーチするには（リターン[0:00:00]）

⬆を押す

サーチが始まり、「0:00:00」のポイントで自動的に止まります。
再生中にあとで見つけたい部分のところで、クリアボタンを押すと本機の表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。

- テープの録画されていない部分をサーチするには（エンドサーチ）

⬇を押す

サーチが始まり、テープの録画されていない場合の先頭で自動的に止まります。もし、録画されていない部分がみつからない場合には、テープの終わりでサーチが止まり、停止します。

サーチを途中で止めるには

停止■ボタンを押します。

ご注意

- 録画一時停止状態から続けて同じチャンネルの録画を始めた場合、頭出し信号は付きません。
- 選んだ頭出し信号の前に何も録画されていなければ、その信号のところから正確に再生が始まらないことがあります。
- テープの状態等によっては、番組の頭出しができないことがあります。

テレビ番組を録画する VHS

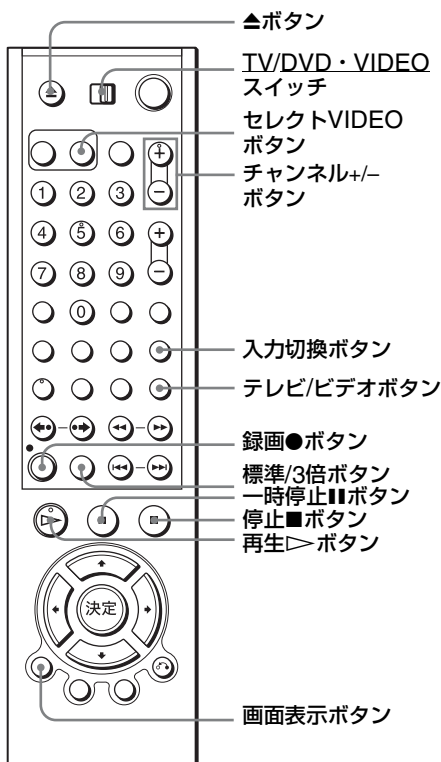
始めるまえに…

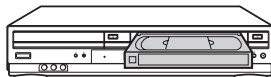
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- テープの長さが総録画時間より長いことを確認してください。
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1 セレクト VIDEO

セレクトVIDEOボタンを押す

ビデオ操作モードに切り換わります。

2

ツメのついているカセットを入れる

ツメの折れたカセットでは録画できません。

3

• チャンネル/トラッキング

チャンネル+/−ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ

入力切換

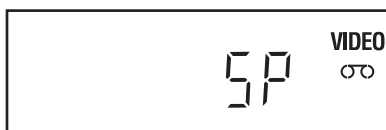
本機につないだチューナーなどの放送を録画するには

入力切換ボタンを押して本機のLINE IN 1（入力1）端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を選びます。（「手順4: 別売りのチューナーなどをつなぐ」（23ページ））

4

標準/3倍

標準/3倍ボタンを押して、「SP」（標準）または「EP」（3倍）を選ぶ

長時間録画したいときは、本機の表示窓に「EP」を出します。「EP」では標準の3倍長く録画できますが、画質・音質は標準の方が優れています。

5

● 録画

録画●ボタンを押す

本機の表示窓に「REC」が表示され、○表示が点灯します。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

本機につないだチューナーなどの放送を録画しているときは

チューナーの電源を切らないでください。また、録画中にチューナーのチャンネルを変えると、録画されるチャンネルが変わってしまいます。BSチューナー内蔵テレビなどの種類によっては、テレビの電源を切ると録画できない場合もあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面でテープについての情報を見るには、画面表示ボタンを押します。詳しくは「画面表示やテープ残量を見るには」（83ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。本機の表示窓に「PAUSE」が表示され、○表示が点滅します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

録画中に裏番組を見るには

1 **テレビ/ビデオボタンを押して本機の表示窓に「TV」を表示させる**

2 **テレビのチャンネルを選ぶ**

録画に影響はありません。

録画中にDVDを見るには

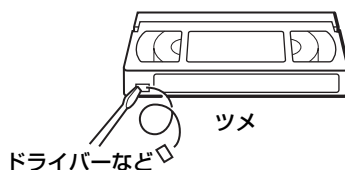
1 **セレクトDVDボタンを押す**

2 **⏏ボタンを押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く**

3 **再生▷ボタンを押す**

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

録画したものを誤って消してしまいたくないときは

誤って録画したものを消してしまいたくないときは、図のようにツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。

ちょっと一言

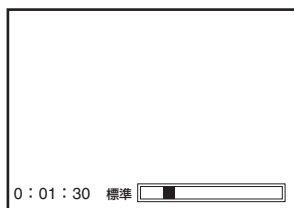
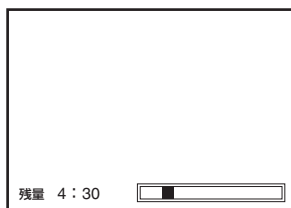
- テレビ画面にはテープについての情報が表示されますが、この情報はテープには録画されません。

ご注意

- テレビを見るときはディスクの再生は止めてください。
- 早送り再生、巻き戻し再生、コマ送り再生、スロー再生または再生一時停止中は、テレビ画面に画面表示が出ません。
- CSチューナーおよびテレビなど同梱のAVマウスからのコントロールは本機で対応できない場合があります。

本機で再生するDVDを直接本機でビデオテープに録画することはできません。

画面表示やテープ残量を見るには

画面表示ボタンを押します。テレビ画面にテープカウンターが表示されます。繰り返し画面表示ボタンを押すと、テープ残量や現在時刻などが表示されます。白いバーはテープ全体の長さに対する現在の位置を示しています。表示を消すには画面表示ボタンを繰り返し押してください。テープ残量は本機の表示窓にも表示されます。

テープカウンター　　テープ残量

テープ残量を確認するには、録画前にメニューの「ビデオ設定」の「テープ残量切りかえ」でテープの長さを選んでください。（149ページ）

ご注意

- テープの種類によっては、テープ残量が正しく表示されないことがあります。
- 残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。
- テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

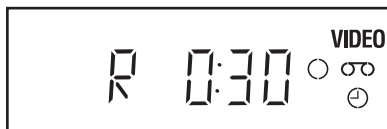
次のページにつづく

決めた時間だけ録画する（クイックタイマー）

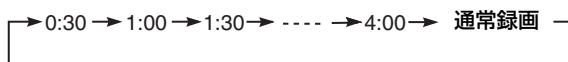
予約録画以外の録画中に、30分単位で録画を止めるまでの時間を決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

1 ● 録画

録画中に録画●ボタンを押す

2 ● 録画

録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ

押すたびに、30分ずつ時間が増えます。

→0:30 →1:00 →1:30→ - - - - →4:00→ 通常録画

時間は30分後（0:30）から4時間後（4:00）まで選べます。
指定した時間がたつと、自動的に録画が止まります。

録画を止めるまでの時間を変えるには

録画●ボタンを繰り返し押して、その時点から録画を止めるまでの時間を選びます。

設定した録画時間を取り消すには

録画●ボタンを繰り返し押して、本機の表示窓に「REC」を表示させます。本体表示窓の◴（タイマーインジケーター）が消え、通常の録画に戻ります。

クイックタイマーの途中で録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

- 画面表示ボタンを押すと、テレビ画面上でカウンターを確認できます。

ご注意

- クイックタイマー録画中は、本機の表示窓にテープカウンターは表示されません。録画残時間が表示されます。
- クイックタイマー予約終了後、電源は「切」の状態になります。ただし、ディスク再生中にクイックタイマー予約が終了した場合、電源は「切」の状態にはなりません。

予約する VHS

毎週の番組や1か月先までの番組を、合わせて8番組までタイマーで予約できます。

始めるまえに…

- 本機の時計、チャンネルを正しく合わせておきます。(「かんたん設定をする」(33ページ))
- テープの長さが総録画時間より長いことを確認してください。
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。(32ページ)
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。(31ページ)
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

1 セレクト VIDEO

セレクトVIDEOボタンを押す

ビデオ操作モードに切り換わります。

2 **ツメのついているカセットを入れる**

ツメの折れたカセットでは録画できません。

3 字幕/タイマー予約

タイマー予約ボタンを押す

「予約設定/確認」メニューが表示されます。

ビデオの録画・予約

次のページにつづく

4

↑/↓で予約を入れる行を選び、チャンネル、開始/終了時刻、録画日、録画モード（自動/標準/3倍）を設定する

CH	開始時刻	終了時刻	録画日	録画モード
01	06:00PM	06:30PM	9/30	3倍
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--

↑↓で選択 → で設定　戻る：リターン

1 **→で各項目を順に選ぶ**
選ばれた項目が明るく表示されます。

2 **↑/↓で設定する**
間違えたときは、←を押してその項目に戻り設定し直します。

毎週同じ番組を予約するには

「録画日」の欄で↑/↓を押して選びます。↓を押すたびに、次のように切り換わります。

今日 → 毎日 →月▶土 →月▶金 → 毎週 日 → 毎週 月 → ..... → 毎週 土 → 1か月先の日 →（1日ずつ戻る）→ 今日

ピッタリ録画機能を利用するには

録画モードの欄で↓を押して「自動」を選びます。詳しくは「ピッタリ録画機能について」（87ページ）をご覧ください。

本機に接続した機器を予約するには

「CH」欄で入力切換ボタンまたは↑/↓を押して「入力1」（LINE IN 1（入力1）端子に接続した場合）または「入力2」（入力2端子に接続した場合）を選びます。録画が始まる前に、本機に接続したテレビやチューナーを受信したいチャンネルに合わせます。

5

クリア

録画モードを設定したあと→を押す

選んだ行に予約が入ります。表示窓の ⊙ 表示が点灯し、ビデオ側は予約待機になります。（本機の電源を切っても切らなくても録画待機になります。）

取り消したいときは

クリアボタンを押します。

続けて予約するときは

手順4と5を繰り返します。

6

リターン

リターン↶ボタンを押す

メニューが消えます。

予約画面を終了するには

設定ボタンを押します。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

ピッタリ録画機能について

録画モードで「自動」を選ぶと予約録画は「標準」モードで始まりますが、予約録画中にテープ残量が足りなくなると、自動的に「3倍」モードに切り換わります。録画モードが切り換わったときに画像に少しノイズが現れます。録画モードを変えたくないときは「3倍」を選んでください。録画前にメニューの「ビデオ初期設定」の「テープ残量切りかえ」でテープの長さを選んでおくと残量の確認をすることができます。（149ページ）

録画予約後/予約録画中に裏番組を見るには

1 テレビ/ビデオボタンを押して本機の表示窓に「TV」を表示させる

2 テレビのチャンネルを選ぶ

録画に影響はありません。

録画予約後/予約録画中にDVDを見るには

1 セレクトDVDボタンを押す

2 ⏏ボタンを押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く

3 再生▷ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。

次のページにつづく

ちょっと一言

- 録画中には以下の操作も可能です。
  - テープカウンターを「0:00:00」に戻す（74ページ）
  - テレビ画面にテープについての情報を表示する（83ページ）
  - 予約を確認する（92ページ）
- 表示が出ているときは、予約が重なっています。予約の確認、変更、取り消しについては 「予約を確認する・変更する・取り消す」（92ページ）をご覧ください。
- 本機の表示窓に 表示が出ているときは、現在番組を録画中であることを示しています。
- 手順3では、設定ボタンを押し、↑/↓で （予約設定）を選び、決定ボタンを押すことによって「予約設定」メニューを表示することもできます。その場合は、↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押してから手順4へ進んでください。

ご注意

- ツメのついているカセットを入れずに録画予約をした場合、本体表示窓に が点滅します。
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約した後で、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。
- 本機の入力端子につないだ機器から予約するときは、つないだ機器の電源は切らないでください。

Gコードで予約する VHS

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定します。他の予約と合わせて、8番組まで予約できます。

始めるまえに…

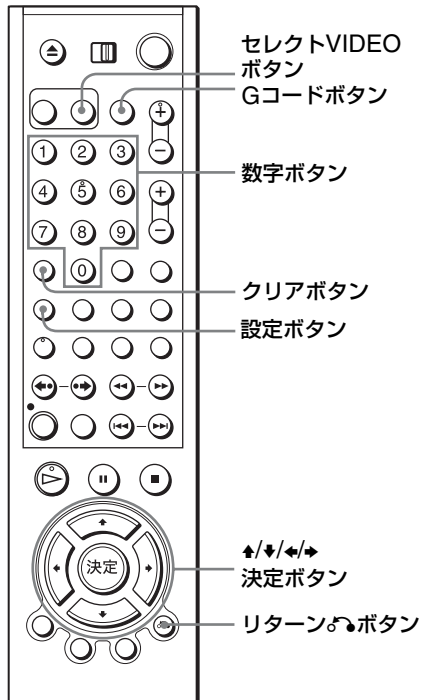
- 本機の時計、チャンネルを正しく合わせておきます。（「かんたん設定をする」（33ページ））
- テープの長さが総録画時間より長いことを確認してください。
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

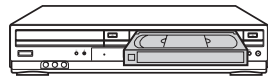
ビデオの録画・予約

1 セレクト VIDEO

セレクトVIDEOボタンを押す

ビデオ操作モードに切り換わります。

2

ツメのついているカセットを入れる

ツメの折れたカセットでは録画できません。

3

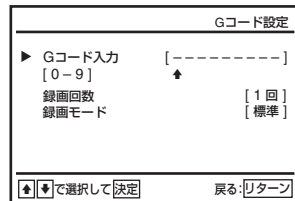
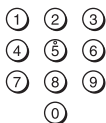
Gコードボタンを押す

「Gコード設定」メニューが表示されます。

次のページにつづく

4

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⓪

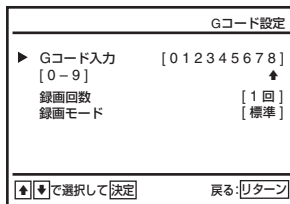
クリア

数字ボタンを押して、Gコードの番号を入れる

間違えたときは、クリアボタンを押して、最初から入れなおします。
⬅カーソルで1桁ずつ戻せます。

Gコード設定

▶ Gコード入力 [0 1 2 3 4 5 6 7 8]
[0－9] ⬆
録画回数 [1回]
録画モード [標準]

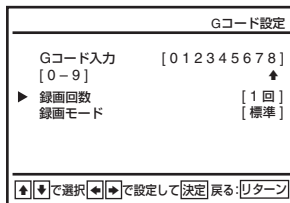
⬆⬇で選択して決定 戻る:リターン

5

決定

⬆/⬇で「録画回数」を選び、⬅/➡で録画回数（1回、月▶金、月▶土、毎日、毎週）を設定する

Gコード設定

Gコード入力 [0 1 2 3 4 5 6 7 8]
[0－9] ⬆
▶ 録画回数 [1回]
録画モード [標準]

⬆⬇で選択⬅➡で設定して決定 戻る:リターン

6

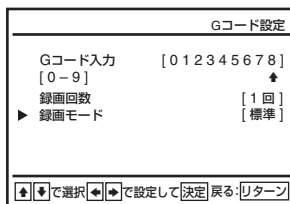
⬆/⬇で「録画モード」を選び、⬅/➡で録画モード（標準、3倍、自動）を設定する

Gコード設定

Gコード入力 [0 1 2 3 4 5 6 7 8]
[0－9] ⬆
録画回数 [1回]
▶ 録画モード [標準]

⬆⬇で選択⬅➡で設定して決定 戻る:リターン

7

クリア

決定ボタンを押す

予約内容（日付、録画開始/終了時刻、チャンネル番号）が表示されます。
本体表示窓に⏲が点灯し、ビデオ側は予約待機になります。（本機の電源を切っても切らなくても録画待機になります。）

CH	開始時刻	終了時刻	録画日	録画モード
01	06:00PM	08:00PM	9/30	3倍
--	--:--	--:--	--/--	--
--	--:--	--:--	--/--	--
--	--:--	--:--	--/--	--
--	--:--	--:--	--/--	--
--	--:--	--:--	--/--	--
--	--:--	--:--	--/--	--

⬆⬇で選択⬅➡で設定 クリア 戻る:リターン

取り消したいときは

クリアボタンを押します。

続けて予約するときは

手順3から繰り返します。

8

リターン↶ボタンを押す

メニューが消えます。

予約画面を終了するには

設定ボタンを押します。

予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」（92ページ）をご覧ください。

BS放送やCATVをGコードで予約するには

Gコード予約したい放送局のガイドチャンネルを設定しておきます。
（「BS放送およびCATVのガイドチャンネル表」（46ページ））

ちょっと一言

- 手順3では、設定ボタンを押し、↑/↓で（予約設定）を選び、決定ボタンを押すことによって「予約設定」メニューを表示することもできます。その場合は、↑/↓で「Gコード予約」を選び、決定ボタンを押してから手順4へ進んでください。

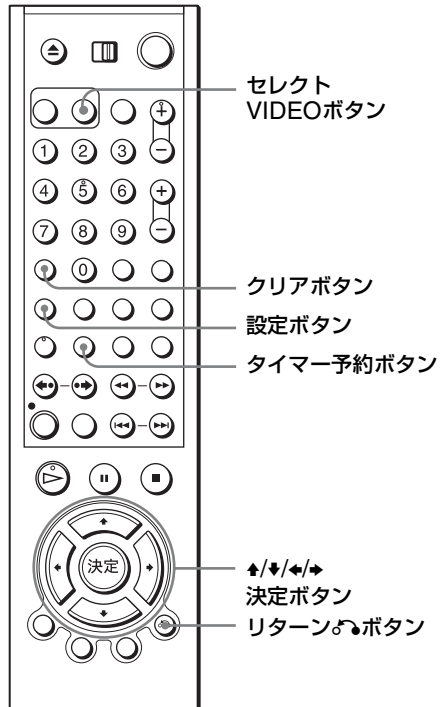
ご注意

- 次の場合、Gコード予約できません。
  – 存在しないGコードを誤って入れたとき
  （手順7で決定ボタンを押すと、画面に「Gコード入力エラー」と表示され、Gコードの表示が未入力状態に変わります。手順4からやり直してください）
  – Gコード予約する番組の放送局のガイドチャンネルが設定されていないとき
  （ガイドチャンネルを追加してください（50ページ））
- Gコード予約は、番組の放送時間の変更には対応できません。したがってスポーツ中継の延長などで放送時間が変わっても、あらかじめ設定された時間どおりに録画されます。

予約を確認する・変更する・取り消す VHS

テレビ画面を使って、予約の確認、
変更、取り消しができます。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

1 セレクト VIDEO

セレクトVIDEOボタンを押す

ビデオ操作モードに切り換わります。

2 字幕/タイマー予約

タイマー予約ボタンを押す

「予約設定/確認」メニューが表示され、予約内容が画面に表示されます。

CH	開始時刻	終了時刻	録画日	録画モード
11	07:30	08:55	9/30	標準
06	12:00	12:55	10/03	3倍
03	01:00	08:30	月▶金	3倍
入力1	11:00	11:45	毎週 日	標準
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--
--	--:--	--:--	-- --	--

↑↓で選択 ←→で設定　戻る:リターン

3

クリア

↑/↓で変更または取り消す行を選ぶ

- 予約を変更するには、←/→で変えたい項目を選び、↑/↓で変更する。
- 予約を取り消すには、クリアボタンを押す。

CH	開始時刻	終了時刻	録画日	録画モード
11	07：30	08：55	9 / 30	標準
06	12：00	12：55	10 / 03	3倍
03	01：00	08：30	月▶金	3倍
入力1	11：00	11：45	毎週 日	標準
--	--：--	--：--	-- --	--
--	--：--	--：--	-- --	--
--	--：--	--：--	-- --	--
--	--：--	--：--	-- --	--

↑↓で選択 ←→で設定 クリア 戻る：リターン

4

録画モードを設定したあと→を押す

選んだ行に予約が入ります。
続けて他の予約を変更または取り消すときは、手順3を繰り返してください。

5

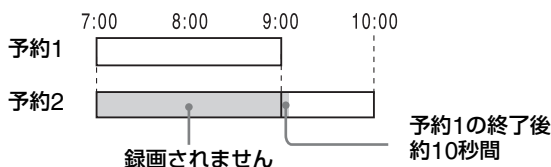
リターン↶ボタンを押す

メニューが消え、予約待機に戻ります。ただし、予約をすべて取り消した場合は予約待機にはなりません。

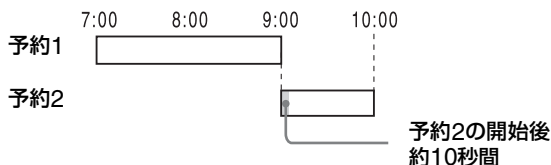
予約確認画面を終了するには

設定ボタンを押します。

予約が重なっているときは

先に始まる予約が優先され、その録画が終了してから次の録画が始まります。予約開始時刻が同じときは、「予約設定/確認」画面で、上に表示される予約が優先されます。また、始めの録画終了後、次の録画の最初の約10秒間は録画されません。

一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じとき

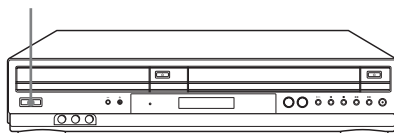
後から始まる予約の最初の約10秒間が録画されません。

ビデオの録画・予約

次のページにつづく

ちょっと一言

- 予約設定/確認画面で開始時刻の前に◫ 表示が出ているときは、予約が重なっています。
- 「予約設定」メニューは、手順2で設定ボタンを押し、↑/↓で （予約設定）を選び、決定ボタンを押すことによって表示することもできます。その場合は、↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押してから手順3へ進んでください。

誤操作を防止する（チャイルドロック機能）

録画予約したあと、誤ってその予約が取り消されないように、本体のすべてのボタン操作を無効にすることができます。

ボタン操作無効にするには

電源が入っているときに、本体の電源スイッチを押し続け、本体の表示窓に「LOCK」を表示させます。本機の電源が切れて、予約設定がある場合は、⏻表示が点灯したままになります。本体のボタン操作ができなくなります。また、録画予約を保護します。

ボタン操作無効を解除するには

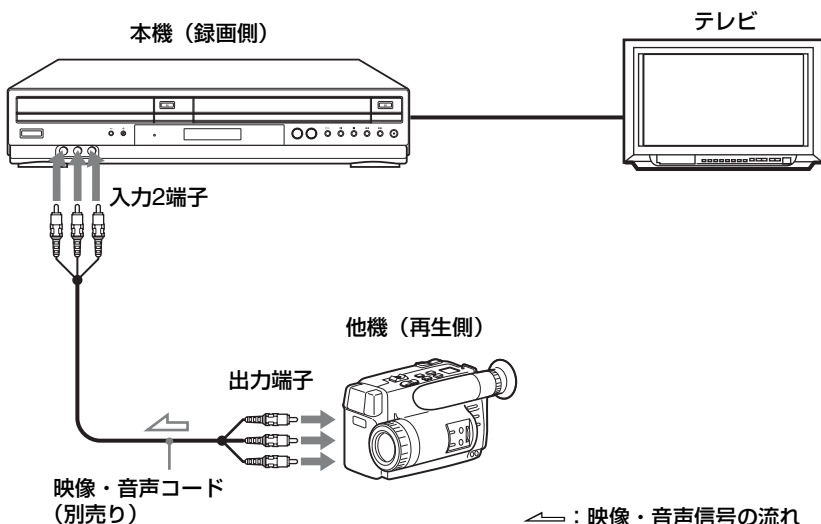
本体の電源スイッチを押し続け、本体の表示窓の「LOCK」を消します。ボタン操作無効が解除され、電源が入ります。
ボタン操作無効状態で予約録画を止めるには、停止■ボタンを押します。録画が停止して、ボタン操作無効が解除されます。

ご注意

- 以下のときにもボタン操作無効が解除されます。
  –カセットを入れたとき
  –数十分間電源コードを抜いたとき、または停電のとき
- 録画中にボタン操作を無効にすることはできません。
- ディスクトレイが開いている状態で、ボタン操作無効にすると、ディスクトレイが閉じてからボタン操作無効になります。
- 電源が入っていないときは、ボタン操作無効にすることはできません。

他機からVHSに録画する VHS

本機に他のビデオデッキやビデオカメラをつないで行う操作について説明します。テープをそのままダビングしたり、必要なところをつないで編集したりできます。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ機器をつなぐ（本機で録画する）

ご注意

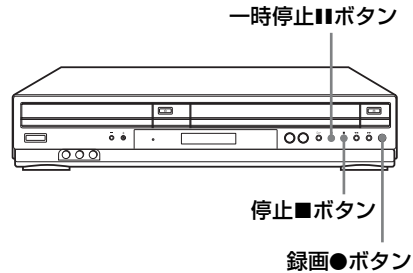
- プラグは必ず同じ色の端子につないでください。
- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。
- 他機（再生側の機器）に音声出力端子が1個しかないときは、音声コードは必ず音声左（モノ）端子につないでください。その場合、音声コードが接続されている方のチャンネル（左チャンネル）にのみ録音されます。左右のチャンネル両方に録音するには、映像・音声コードVMC-910MS（別売り）などを使って音声左（モノ）/右入力端子に接続します。
- 入力2端子に映像コードを接続すると、画面は自動的に入力２に切り換わります。

ちょっと一言

- 入力2端子の代わりに本機後面のLINE IN 1（入力1）端子を使用できます。

テープをダビング・編集する（本機で録画する）

始めるまえに…

- 本機とテレビの電源を入れます。
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV/DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換え、セレクトVIDEOボタンを押し、ビデオ操作モードに切り換えます。（31ページ）
- 入力切換ボタンを押して、本機の表示窓に他機を本機のLINE IN 1(入力1)端子とつないでいるときは「L1」を、入力2端子とつないでいるときは「L2」を表示させせます。
- 標準/3倍ボタンを押して、「SP」（標準）または「EP」（3倍）を選びます。

1 **他機（再生側）に録画済みのカセットを入れる**

再生を始める場所を頭出しして、再生一時停止にします。

2 **本機（録画側）にツメのついているカセットを入れる**

録画を始める場所を頭出しして、一時停止❚❚ボタンを押します。

3 **本機の録画●ボタンを押して、録画一時停止にする**

4 **両方のビデオの一時停止を解除して、編集を始める**

編集を止めるには

両方のビデオの停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

- 好きな場面だけ編集するときは、不要な場面で本機の一時停止❚❚ボタンを押し、録画一時停止にします。不要な場面が終わったら、もう一度 一時停止❚❚ボタンを押して、録画を再開します。
- 録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

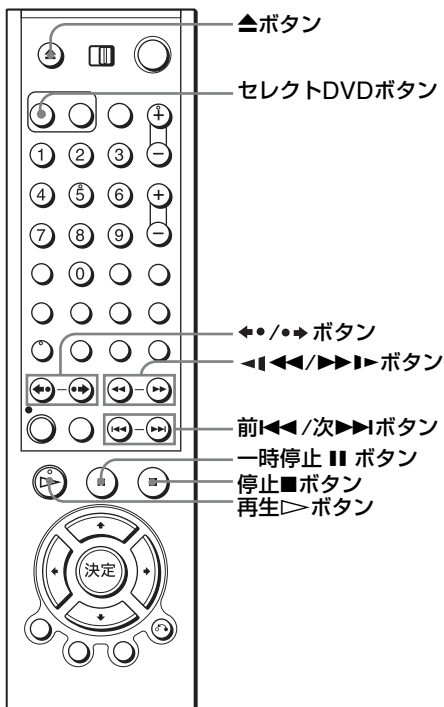
ビデオの録画・予約

ディスクを再生する

DVDVideo DVDVR VCD CD DATA-CD DATA-DVD

ディスクによっては、禁止されている操作もあります。
再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

始めるまえに…

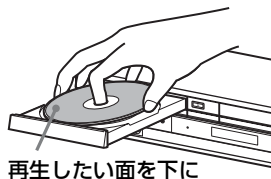
- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。（32ページ）
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1 セレクト DVD

セレクトDVDボタンを押す

ディスク操作モードに切り換わります。

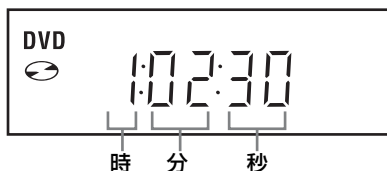
2

≜ボタンを押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く

3 再生

再生▷ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。テレビまたはアンプで音量を調整します。表示窓に再生時間が表示されます。*

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。DVDの場合は108 ページ、ビデオCDの場合は134 ページをご覧ください。

* ディスクが入っていないときは「−−−−−−」と表示されます。

ご注意

- ディスク再生中はビデオの再生を止めてください。
- 傷のあるディスクを再生すると傷のある箇所で再生は止まり、ディスク側は停止した状態になります。
- VRモードで録画されたDVDの10時間を超えるプレイリストの再生は保証できません。

再生中のいろいろな操作

こんなときは	押す
再生を止める	停止■ボタン 停止位置が記憶されます。「つづき再生機能」（102ページ）
再生を一時停止する	一時停止 ❚❚ ボタン 5分以上たつと、再生が停止します。
一時停止後、もう一度再生する	再生▷ボタン
一時停止中にコマ送りする	●➜ ボタン
一時停止中に逆方向にコマ送りする	←● ボタン
再生中にチャプターや映像、曲を進める	次▶▶❙ボタン（または本体の▶▶ボタンを短く押します。）
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	前❙◀◀ ボタン（または本体の◀◀ボタンを短く押します。）

ディスクの再生

次のページにつづく

こんなときは	押す
早送り/早戻しをして見たいところ、聞きたいところをさがす（スキャン）	再生中に◀◀/▶▶ボタンを（または本体の◀◀/▶▶ボタンを長く）押します。 ボタンを押すごとに（または本体のボタンを押す長さによって）次のように再生の速さが切り換わります。 • DVDの場合 再生方向： 通常の再生 → ×1.4 ••▶•*1 → 1▶▶ → 2▶▶ → 3▶▶ → 4▶▶ → 5▶▶ → 6▶▶ 逆方向： 通常の再生 → 1◀◀ → 2◀◀ → 3◀◀ → 4◀◀ → 5◀◀ → 6◀◀ • CD、MP3およびビデオCDの場合 再生方向： 通常の再生 → 1▶▶ → 2▶▶ → 3▶▶ 逆方向： 通常の再生 → 1◀◀ → 2◀◀ → 3◀◀ 再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生する（DVDおよびビデオCDのみ）	再生中に一時停止 ❚❚ ボタンを押してから◀❚ / ❚▶ボタンを押します。 ボタンを押すごとに次のように再生の速さが切り換わります。 • DVDの場合 再生方向：×0.6 ••▶•*1 → 2 ❚▶ → 3 ❚▶ 逆方向（DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）を除く）： 1 ◀❚ → 2 ◀❚ → 3 ◀❚ • ビデオCDの場合 再生方向のみ：1 ❚▶ → 2 ❚▶ → 3 ❚▶ 再生▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

こんなときは	押す
再生中に少し前の画像に戻る（フラッシュ －）＊2 ＊3	⇐● ボタン 1回押すと、約10秒戻ります。
少し先の画像に進む（フラッシュ ＋）＊3 ＊4	●⇒ ボタン 押すたびに約30秒ずつ、最長約2分間（4回押したぶん）を早送り再生します。
ディスクを取り出す	⏏ボタン

＊1 音声付き早見/遅見再生（102ページ）
＊2 記録方式が、DVDビデオモード/VRモードで、時間によるジャンプ操作が禁止されている場合は使うことができません。
＊3 DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rのみ。
＊4 記録方式が、DVDビデオモード/VRモードで、早送り操作が禁止されている場合は使うことができません。

ご注意

- 次の場合を除き、音声は出力されません。
  – 通常の再生
  – 音声付き早見/遅見再生（102ページ）
- ディスクによってはできない操作があります。
- CDおよびMP3の早戻しは記録方式によってはできないことがあります。
- ビデオCDの早送り/早戻し再生を一時停止することはできません。
- ビデオCDのスキャンは、操作したとおりに再生の早さを変えることができないことがあります。
- CDまたはDATA-CDがマルチセッションディスクの場合、再生中に早戻しすることはできません。
- フラッシュ －またはフラッシュ ＋機能は、ビデオCD、CDおよびDATA-CDでは使えません。
- 場面によってはフラッシュ －またはフラッシュ ＋機能が使えないことがあります。
- VRモードで録画されたディスクの「オリジナル（ORG）」と「プレイリスト（PL）」の切り換えは、ディスクの停止中のみ可能です。「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えるには、トップメニューボタンを押してください。画面表示することで「オリジナル」か「プレイリスト」かを確認することができます。

次のページにつづく

音声付き早見/遅見再生（DVDのみ）

音声付きで早送り再生、またはスロー再生ができます。
音声付きで早送り再生するには、再生中に▶▶ボタンを押します。「×1.4 ••▶•」が表示されます。
音声付きでスロー再生するには、再生中に一時停止 ▮▮ ボタンを押してから▮▶ボタンを押します。「×0.6 ••▶•」が表示されます。

ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ご注意

- 音声付き早見/遅見再生中は、サラウンド設定できません。
- サラウンド設定している場合は、音声付き早見/遅見再生できません。
- DTS音声を選択している場合は、音声付き早見/遅見再生できません。

再生を止めたところから再生する（つづき再生機能）

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。本機の電源を一度切ってもつづき再生が働きます。

1 **ディスクの再生中、停止■ボタンを押して、再生を止める**

2 **再生▷ボタンを押す**

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

ちょっと一言

- ディスクを最初から再生したいときは、停止■ボタンを2回押してから、再生▷ボタンを押します。

ご注意

- 次の場合、再生を止めたところの記録は消え、つづき再生できません。
  – ディスクトレイを開閉したとき
  – 電源コードを抜いたとき、または停電のとき
- ディスクによっては、つづき再生ができない場合があります。

CDのDTS*音声再生時のご注意

- DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。DVDプレーヤーのアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、DVDプレーヤーのデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。
- CDのDTS音声を再生するときは、音声を「ステレオ」に設定してください。（118ページ）

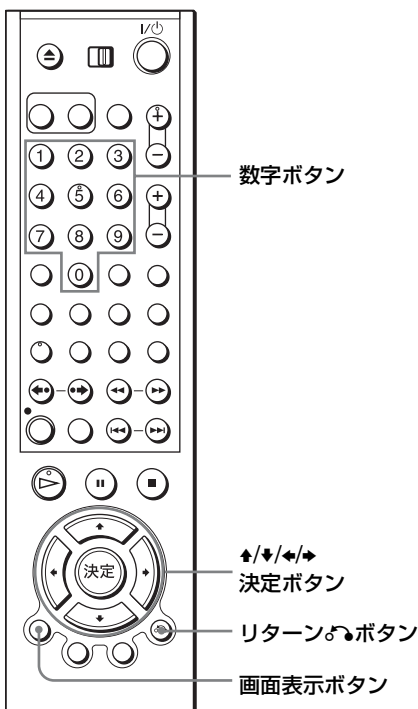
DVDのDTS音声再生時のご注意

- DTS音声信号はDIGITAL AUDIO OUT/OPTICALおよびCOAXIAL（デジタル音声出力/光および同軸）端子からのみ出力されます。
- DVDのDTS音声を再生するときは、「音声設定」の「DTS」を「入」に設定します。（136ページ）
- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときは、「音声設定」の「DTS」を「入」に設定しないでください（136ページ）。スピーカーから大きな音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

* DTSおよびDTS Digital Outは、Digital Theater Systems, Inc.の商標です。

画面の見方 DVDVideo DVDVR VCD CD

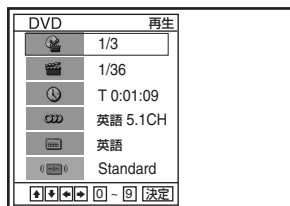
ディスク情報画面を用いて、再生中の音声や映像の情報を見ることができます。表示される画面は再生するディスクによって異なることもあります。

ビデオＣＤは「PBC切」の状態でディスク情報画面の操作ができます。詳しくは「「PBC 入/切」機能を使ってビデオCDを再生する」（134ページ）をご覧ください。

再生中に画面表示ボタンを押すと、ディスクの種類、タイトル/トラック番号、チャプター番号、カウンター、音声言語、字幕言語、お好み画質モード設定の情報が表示されます（表示される項目はディスクによって異なります）。音声/字幕言語の略称については「DVD音声/字幕言語対応表」（170ページ）をご覧ください。

ご注意

- ディスクの停止中に、ディスクの情報画面の項目を選ぶことはできません。

好きなタイトル/トラックまたはチャプターを再生するには

1 再生中に画面表示ボタンを押す

2 ↑/↓を押して好きな項目を選ぶ

3 ←/→を押して再生したい番号を選ぶ

数字ボタンを使うこともできます。

4 決定ボタンを押す

選んだ番号の再生が始まります。

5 画面表示ボタンまたはリターンボタンを押す

画面表示が消えます。

カウンターを選んで再生するには（DVDおよびCDのみ）

1 再生中に画面表示ボタンを押す

2 ↑/↓を押してカウンターのアイコンを選ぶ

タイトル/トラックの再生経過時間が「T　＊：＊＊：＊＊」で表示されています。

3 数字ボタンで再生を開始したいタイトル/トラック再生経過時間のカウンターを入力する

4 決定ボタンを押す

選んだポイントから再生が始まります。

5 画面表示ボタンまたはリターンボタンを押す

画面表示が消えます。

次のページにつづく

ちょっと一言

- ←/→を押してDVDおよびCDのカウンターの情報を変えることができます（経過時間または残量時間）。タイトル/トラック再生時間表示以外は、数字ボタンを使って再生時間を選択することはできません。

DVDの場合

表示	カウンターの情報
T　＊：＊＊：＊＊	タイトルの再生経過時間
T－＊：＊＊：＊＊	タイトルの再生残量時間
C　＊：＊＊：＊＊	チャプターの再生経過時間
C－＊：＊＊：＊＊	チャプターの再生残量時間

CDの場合

表示	カウンターの情報
T　＊：＊＊：＊＊	トラックの再生経過時間
T－＊：＊＊：＊＊	トラックの再生残量時間
D　＊：＊＊：＊＊	ディスクの再生経過時間
D－＊：＊＊：＊＊	ディスクの再生残量時間

ご注意

- ディスクによっては時間を入力して見たいところや聞きたいところを探すことはできません。
- ディスクによっては操作したとおりに変更できない場合があります。
- ディスク情報画面のカウンターの情報を変えた場合でも、表示窓はタイトル/トラックの再生経過時間を表示し続けます。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCD、CD EXTRA、ジャケットピクチャー入りのCDなどでは、トラックとディスクの再生残量時間が正しく表示されない場合があります。

画質を調整するには（お好み画質モード）

本機から出力するDVDやビデオCD（「PBC切」機能時）の映像信号を調整し、映像の内容に合わせて画質を設定できます。

1 再生中に↑/↓を押してお好み画質モードのアイコンを選ぶ

2 ←/→を押して設定を選ぶ

設定	画像設定	音声設定
Dynamic 2	Dynamic 1よりコントラストの強いメリハリのある画質	Dynamic 1よりさらに高低音のはっきりしたメリハリのある音質
Dynamic 1	コントラストの強いメリハリのある画質	高低音のはっきりしたメリハリのある音質
Standard	切（お買い上げ時の設定）標準的な画質	標準的な音質
Cinema 1	黒色を強調して暗い部分の詳細を際立たせる	低音を強調した迫力ある音質
Cinema 2	白色をより明るく、黒色をより強調して色あいのコントラストをつける	Cinema 1より低音を強調した迫力のある音質

ちょっと一言

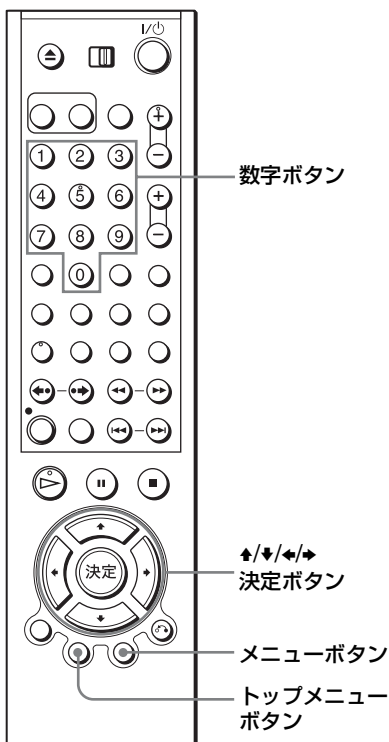
- 映画を見るときは「Cinema 1」または「Cinema 2」をおすすめします。

DVDのメニューを使う DVDVideo

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDビデオはトップメニューボタンを、ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択できるDVDビデオはメニューボタンを使って再生できます。

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。
（31ページ）

1

トップメニュー
または
メニュー

再生中にトップメニューボタンまたはメニューボタンを押す

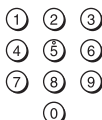
ディスクのメニューが表示されます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

2

または

1 2 3
4 5 6
7 8 9
0

↑/↓/←/→で項目を選び、決定ボタンを押す

数字ボタンで項目を選ぶこともできます。

ちょっと一言

- ディスクによってはトップメニューボタンは使用できません。

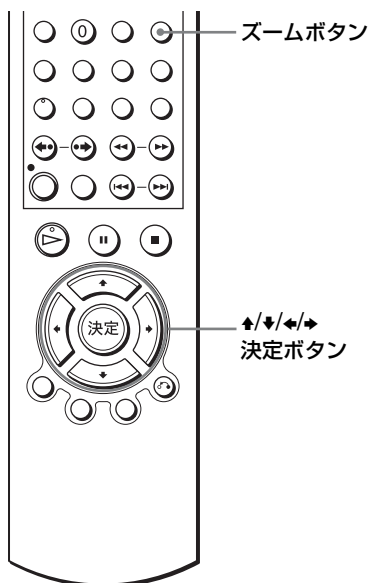
ズームを使う DVDVideo DVDVR VCD DATA-CD DATA-DVD

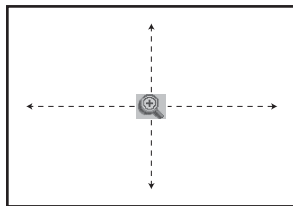
DVDの再生中や一時停止中に、シーンを拡大して見ることができます。

JPEG画像を拡大して見るには、「JPEG画像を再生する」（129ページ）をご覧ください。

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1 •消音/ズーム

再生中または一時停止中にズームボタンを押す

“ ” が表示されます。

2

↑/↓/←/→でシーンの拡大したい場所を選ぶ

3

決定ボタンを押して拡大の倍率を選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

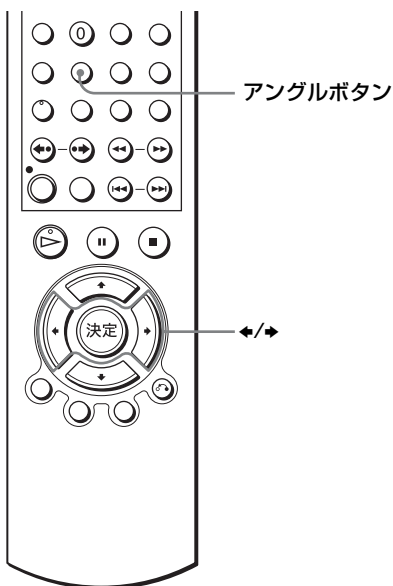
2× → 4× → 2× → 拡大なし

ご注意

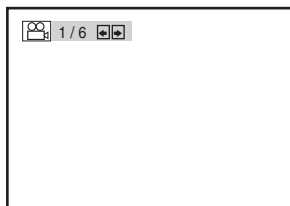
- ディスクによっては、ズーム機能は使えない場合があります。
- ビデオCDでは4×ズームは使えません。

アングルを切り換える DVDVideo

複数のアングルがディスクに記録されているとき、正面から見た景色を右から見た景色に切り換えるなど、好きなアングルを選ぶことができます。
アングルを変えられるときは、本機の表示窓に「🎥」が表示されます。

1

再生中にアングルボタンを押す

アングル番号が画面に表示されます。
スラッシュ（/）の後ろの数字はディスクに記録されているアングルの総数です。

1 / 6

2 **←/→を繰り返し押し、アングル番号を選ぶ**

選んだアングルに切り換わります。

ご注意

- 複数のアングルがディスクに記録されていても、ディスクによってはアングル操作ができないことがあります。

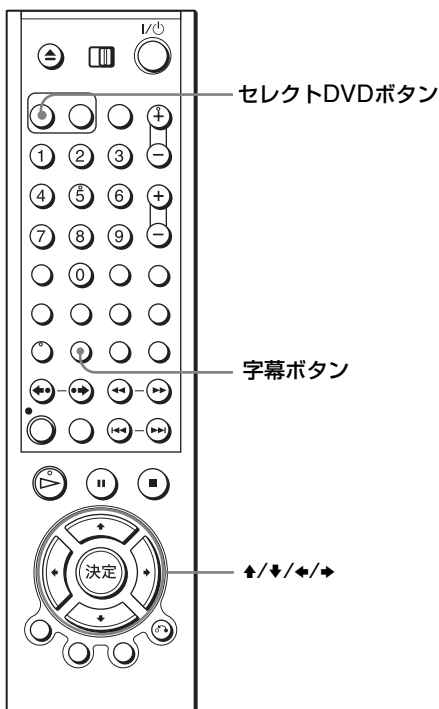
字幕を表示する DVDVideo DVDVR

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。

1 セレクト DVD

セレクトDVDボタンを押す

ディスク操作モードに切り換わります。

2 字幕/タイマー予約

再生中に字幕ボタンを押す

3

←/→を繰り返し押して、言語を選ぶ

選べる言語はディスクによって異なります。字幕言語の略称については「DVD音声/字幕言語対応表」（170ページ）をご覧ください。

字幕の表示を解除するには

再生中に字幕ボタンを押し、↑/↓を繰り返し押して「切」を選びます。

ご注意

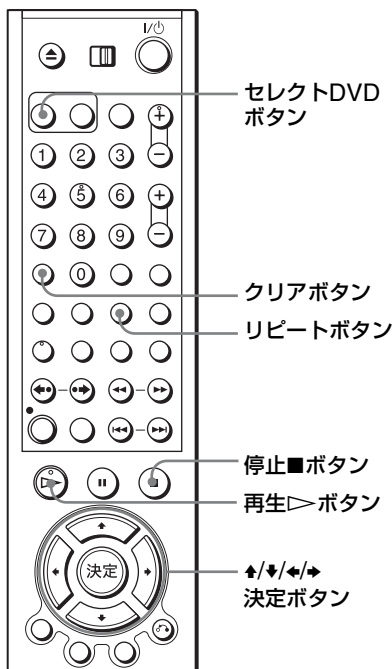
- ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

再生モードを使う（プログラム/シャッフル/リピート） DVDVideo DVDVR VCD CD DATA-CD DATA-DVD

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

ご注意

- 設定した再生モードは、次の場合に解除されます。
  – ディスクトレイを開いたとき
  – 電源を切ったとき

好きな順に再生する（プログラム再生） CD

トラックを好きな順に再生できます。
MP3のプログラム再生については「MP3をプログラム再生する」（124ページ）をご覧下さい。

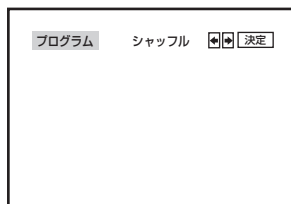
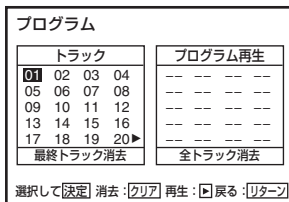
1 セレクトDVDボタンを押す

2 停止中にリピートボタンを押す

3 ←/→で「プログラム」を選び、決定ボタンを押す

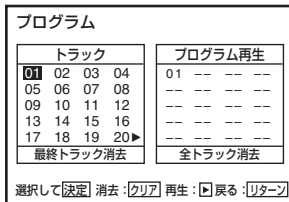
プログラム

トラック				プログラム再生			
01	02	03	04	--	--	--	--
05	06	07	08	--	--	--	--
09	10	11	12	--	--	--	--
13	14	15	16	--	--	--	--
17	18	19	20▶	--	--	--	--
最終トラック消去				全トラック消去			

選択して決定 消去：クリア 再生：▶ 戻る：リターン

4 ↑/↓/←/→でプログラム再生したいトラックをリストから選び、決定ボタンを押す

プログラム

トラック				プログラム再生			
01	02	03	04	01	--	--	--
05	06	07	08	--	--	--	--
09	10	11	12	--	--	--	--
13	14	15	16	--	--	--	--
17	18	19	20▶	--	--	--	--
最終トラック消去				全トラック消去			

選択して決定 消去：クリア 再生：▶ 戻る：リターン

5 続けて再生するトラックを設定したいときは、手順3を繰り返す

トラックが選んだ順に表示されます。
最後にプログラムされたトラックを消去するには、クリアボタンを押して下さい。

6 再生▷ボタンを押す

プログラム再生が始まります。
プログラム再生が終わった後、またはプログラム再生中に停止■ボタンを押した後でも、再生▷ボタンを押せば同じプログラムを再生します。

プログラム再生を終了させるには

プログラム再生中または停止中にクリアボタンを押します。画面に「切」が表示されプログラム再生が解除されて、通常再生モードに戻ります。

全てのプログラムの設定を消去または変更するには

1 好きな順に再生する（プログラム再生）の手順1〜3を行う

2 ↓を繰り返し押し、「最終トラック消去」を選び、→を押して「全トラック消去」を選び、決定ボタンを押す

全てのプログラム設定が消去されます。プログラムを変更する場合はもう一度、好きな順に再生する（プログラム再生）の手順4を行ってください。

ちょっと一言

- 「最終トラック消去」を選び決定ボタンを押すと、最後にプログラムされた番号を消去することができます。

ご注意

- 99トラックまで表示することができますが、1度にプログラム作成できるのは20トラックまでです。
- プログラム再生中にリピート再生することはできません。

次のページにつづく

順不同に再生する（シャッフル再生）CD

本機が自動的にトラックの順番を選んで、再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。
MP3のシャッフル再生については「MP3をシャッフル再生する」（125ページ）をご覧下さい。

1 セレクトDVDボタンを押す

2 停止中にリピートボタンを押す

プログラム　シャッフル　決定

3 ←/→で「シャッフル」を選び、決定ボタンを押す

シャッフル再生が始まります。
全てのトラックの再生が終わった後、シャッフル再生は止まります。

プログラム　シャッフル　決定

シャッフル再生を終了させるには

シャッフル再生中にクリアボタンを押します。シャッフル再生が解除され、通常再生モードに戻ります。再生中のトラック以降のトラックが再生されます。

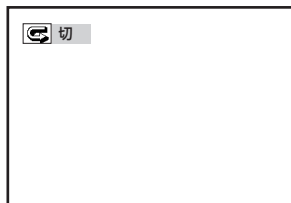
ご注意

- プログラム再生の設定がクリアされていないと、リピートボタンを押してもプログラム設定画面になります。リターンボタンで前の画面に戻り、シャッフルを選ぶか、プログラム再生を終了させてから（115ページ）、シャッフル再生を設定してください。
- シャッフル再生中にリピート再生することはできません。
- クリアボタンを押して通常再生モードに戻ったあとに停止■ボタンを押し、もう一度再生▷ボタンを押すと、つづき再生機能が働きます（102ページ）。ディスクを最初から再生したいときは停止■ボタンを2回押してから再生▷ボタンを押します。

繰り返し再生する（リピート再生） DVDVideo VCD CD DATA-CD DATA-DVD

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または1つのタイトル/チャプター/トラックを繰り返し再生できます。
MP3のリピート再生については124 ページをご覧ください。

1 セレクトDVDボタンを押す

2 再生中にリピートボタンを押す

3 リピートボタンまたは←/→を繰り返し押して、リピート再生する項目を選ぶ

DVD のとき
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

ビデオCD（「PBC切」機能時）/CDのとき
- ディスク：すべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

データCD/データDVD（MP3音声）
- ファイル：再生中のファイル（トラック）
- DIR：再生中のディレクトリ（アルバム）
- ディスク：再生中のディスク

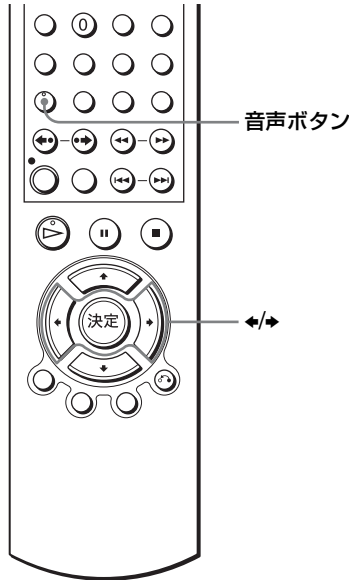
リピート再生を終了させるには

手順3で「切」を選ぶか、リピート再生中にクリアボタンを押します。

ちょっと一言
- リピート再生中に停止■ボタンを押すと、再生が停止し、リピート再生が解除されます。

ご注意
- VRモードで録画したDVD-RW/DVD-Rのリピート再生はできません。
- プログラム再生またはシャッフル再生中にリピート再生することはできません。
- 「PBC入」機能時にビデオCDのリピート再生はできません。
  PBC機能については「「PBC 入/切」機能を使ってビデオCDを再生する」（134 ページ）をご覧ください。

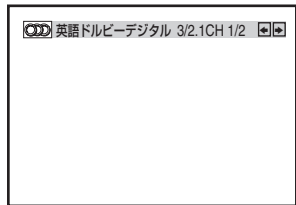
音声を切り換える DVDVideo DVDVR VCD CD

複数の音声記録方式（ドルビーデジタル、DTS、PCMなど）で記録されたDVDを再生しているときに、音声記録方式を選ぶことができます。複数の音声の言語が記録されたDVDでは、言語を選ぶこともできます。
また、CDやビデオCD再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオCDでは、伴奏だけを聞くこともできます。

ディスクの種類	伴奏のみ再生
カラオケビデオCD	○
カラオケDVD	×

1

再生中に音声ボタンを押す

英語ドルビーデジタル 3/2.1CH 1/2

2

←/→を繰り返し押して、音声を選ぶ

- DVD のとき
  選べる言語はDVD によって異なります。
  音声言語の略称については「DVD音声/字幕言語対応表」（170ページ）をご覧ください
- ビデオCD/CDのとき
  太字はお買い上げ時の設定です。

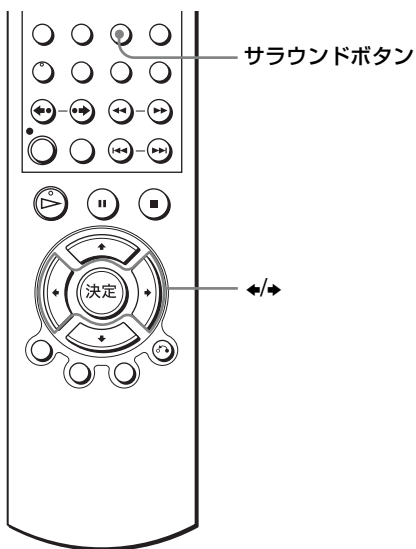
ステレオ	通常のステレオ再生
左	左チャンネルの音（モノラル）
右	右チャンネルの音（モノラル）

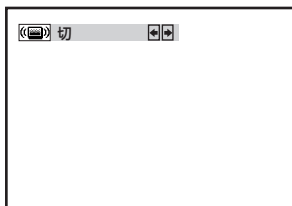
ご注意

- ドルビーデジタルやDTSをお楽しみいただくためには、DIGITAL AUDIO OUT/OPTICALまたはCOAXIAL（デジタル音声出力/光または同軸）端子による接続が必要です。（68 ページ）
- DTS出力するには、音声に関する設定を確認してください。（136ページ）
- DTS音声を選択している場合は、サラウンド設定を選ぶことはできません。（120ページ）
- DTS音声を選択している場合は、音声付き早見/遅見再生できません。（102ページ）

バーチャルサラウンドを楽しむ

DVDVideo DVDVR VCD CD

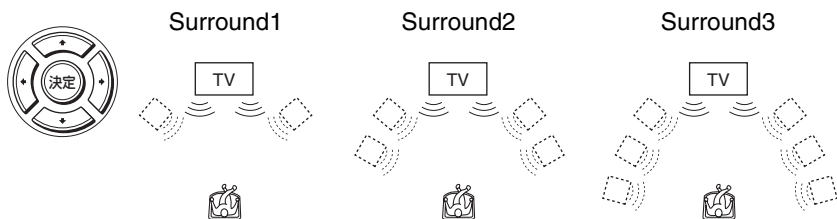
2台のフロントスピーカーのみをつないでいるとき、バーチャルサラウンド機能を使うと、リアスピーカーがなくても実在するフロントスピーカー（L、R）の音から創られた仮想サラウンドが楽しめます。

1 サラウンド

再生中にサラウンドボタンを押す

2 サラウンド

サラウンドボタンまたは←/→を繰り返し押し、「Surround1」、「Surround2」、「Surround3」を選ぶ

サラウンド効果は下図のように変わります。

Surround1　Surround2　Surround3

TV　TV

：仮想スピーカー

設定を解除するには

手順2で「切」を選びます。

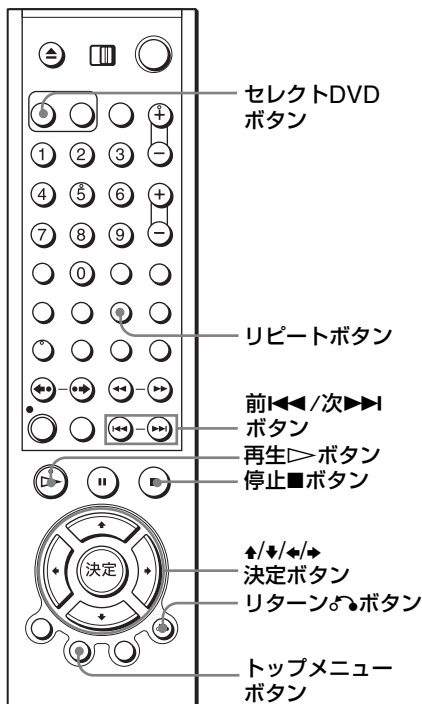
ご注意

- DTS、MP3の音声ではサラウンド効果は得られません。
- サラウンドを設定しているときは、つないでいる機器（アンプなど）のサラウンドの設定は「切」にしてください。
- より高いサラウンドを得るには、スピーカーはリスニングポジションから距離的にも環境的にも左右対称になるように設置します。
- 再生する信号にリアスピーカーの信号が含まれていない場合、サラウンド効果は小さくなります。
- DIGITAL AUDIO OUT （OPTICAL/COAXIAL）（デジタル音声出力/光または同軸）端子を使用し、「音声設定」で「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、または「DTS」を「入」に設定したとき（136ページ）、スピーカーから音は出ますが、サラウンド効果は得られません。
- 音声付き早見/遅見再生中は、サラウンド設定できません。（102ページ）

MP3音声を再生する DATA-CD DATA-DVD

データCD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）またはデータDVD（DVD-ROM、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R）に記録されているMP3（MPEG 1 Audio Layer 3）音声を再生できます。

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1

セレクトDVDボタンを押す

ディスク操作モードに切り換わります。

2

データCDまたはデータDVDを入れる

MP3音声とJPEG画像の両方のデータを含むデータCD/データDVDの場合、メディアタイプ選択画面が表示されます。

メディアタイプを選択して下さい

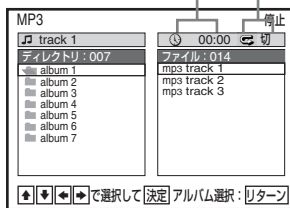
1 MP3
2 JPEG

↑↓で選択して 決定

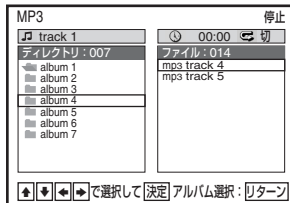
MP3音声データのみを含むデータCD/データDVDの場合はMP3メニューが表示されます。その場合は、手順4へ進んでください。

3

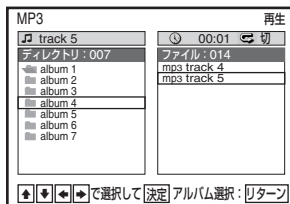
↑/↓で「MP3」を選び、決定ボタンを押す

最初のトラックの再生が始まります。メディアタイプを選んだまま、決定ボタンを押さないと、選択されているメディアが自動的に再生されます。再生を止めるには停止■ボタンを押してください。

4

リターン

リターンボタンを押し、↑/↓で再生したいディレクトリ（アルバム）を左コラムで選び、決定ボタンを押す

5

↑/↓で再生したいトラックを右コラムで選び、決定ボタンを押す

選んだトラックの再生が始まります。再生中のファイル（トラック）またはディレクトリ（アルバム）は、枠で囲まれます。また、表示窓には再生中のトラック番号が表示されます。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

「メディアタイプ選択」画面に戻るには

停止■ボタンを2回押し、トップメニューボタンを押します。

次のページにつづく

リピート再生するには

再生中にリピートボタンを繰り返し押して、リピート再生する項目を選ぶ。

- ファイル；再生中のファイル（トラック）
- DIR：再生中のディレクトリ（アルバム）
- ディスク：再生中のディスク

リピート再生を止めるにはリピートボタンを繰り返し押して「切」を選ぶか、リピート再生中にクリアボタンを押します。

ちょっと一言

- リピート再生中に停止■ボタンを押すと、再生が停止し、リピート再生が解除されます。

その他の操作

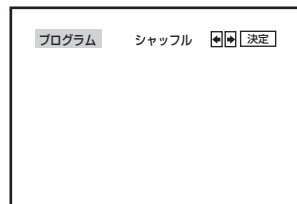
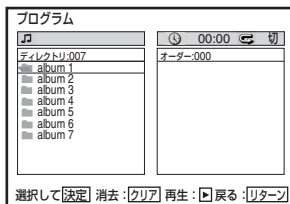
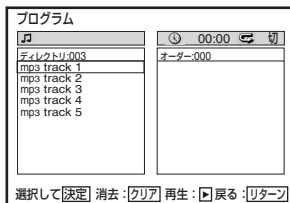
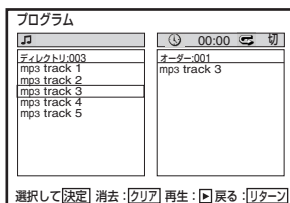
こんなときは	操作
次のページまたは前のページを表示する	➡または⬅を押す
次の曲または一つ前の曲に移る	前⏮ボタンまたは次⏭ボタンを押す
画面表示を消す	停止■ボタンを2回押してから、リターン↶ボタンを繰り返し押す

ご注意

- アルバム/トラック名一覧はアルファベットまたは数字のみ表示できます。それ以外の文字は「＊」で表示されます。最大12文字まで表示できます。
- 本機はID3タグを表示できません。
- プログラム再生中またはシャッフル再生中にリピート再生をすることはできません。

MP3をプログラム再生する

1 **停止■ボタンを2回押してから、リピートボタンを押す**

プログラム　シャッフル　⬅➡ 決定

2 ←/→で「プログラム」を選び、決定ボタンを押す

3 ↑/↓でディレクトリ（アルバム）を左コラムで選び、決定ボタンを押す

4 ↑/↓でプログラム再生したいトラックを選び、決定ボタンを押す

5 続けてプログラム再生するトラックを設定したいときは、リターンボタンを押し、手順3、4を繰り返す

トラックが選んだ順に表示されます。最後にプログラムされたトラックを消去するには、クリアボタンを押して下さい。

6 再生▷ボタンを押す

プログラム再生が始まります。プログラム再生が終わった後でも、
再生▷ボタンを押せば同じプログラムを再生します。

プログラム再生を終了させるには

プログラム再生中にクリアボタンを押します。プログラム再生が解除され、通常再生モードに戻ります。

ご注意

- 一度にプログラム作成できるのは20トラックまでです。
- プログラム再生中にリピート再生をすることはできません。

MP3をシャッフル再生する

1 停止中にリピートボタンを押す

ディスクの再生

次のページにつづく

2 ←/→で「シャッフル」を選び、決定ボタンを押す

シャッフル再生が始まります。
全てのトラックの再生が終わった後、シャッフル再生は止まります。

シャッフル再生を終了させるには

シャッフル再生中にクリアボタンを押します。シャッフル再生が解除され、通常再生モードに戻ります。

ご注意

- シャッフル再生中にリピート再生をすることはできません。

MP3音声について

本機はデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）またはデータDVD（DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R）に記録されたMP3音声を再生することができます。
ISO9660のレベル1/レベル2/Joliet準拠のディスクまたはUDF（Universal Disk Format）準拠のデータDVDの再生が可能です。
本機ではマルチセッションで記録されたディスクも再生できます。記録方式について詳しくはCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

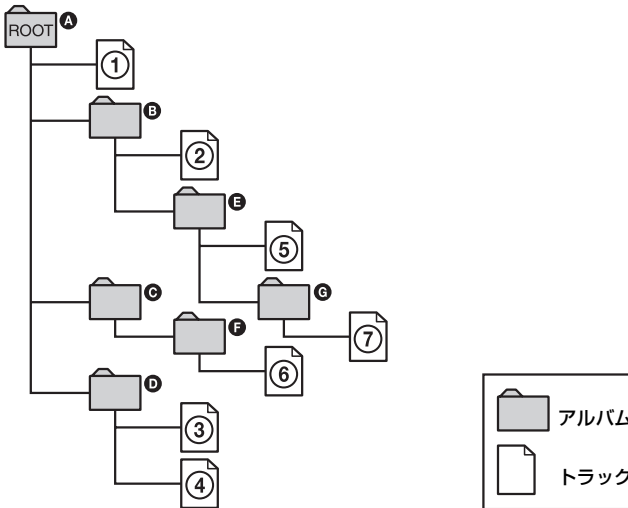
MP3音声がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのMP3音声も再生します。
音楽用CDフォーマットまたはビデオCDフォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

ご注意

- 本機はビットレート128kbps、サンプリング周波数44.1kHzで作成されたMP3音声に対応しています。それ以外の数値で作成されたMP3音声をご使用になると大きな雑音や音途切れがしたり、スピーカーを損傷する恐れもあります。
- MP3形式以外のデータに「.MP3」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機はMP3PROで記録された音声には対応していません。
- パケットライト方式で作成されたデータCDおよびデータDVDは再生できないことがあります。
- DVDビデオデータとMP3音声データが混在したディスクの場合、本機はDVDビデオデータのみを認識します。

MP3音声の再生順序

本機がデータCDに記録されたアルバムやトラック（MP3音声）を認識する順序は下図のとおりです。

- ディスク内の構造

データCDまたはデータDVDを本機に入れて再生▷ボタンを押すと、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順序でトラックを再生します。
アルバムがサブアルバムを含んでいるときでも、サブアルバムに含まれるトラックの再生は優先されません。（例：ⒺはⒼを含んでいるが⑦より⑥が優先される）
リターンボタンを押したときに表示されるアルバム一覧（123ページ）では、Ⓐ→Ⓑ→Ⓓ→Ⓔ→Ⓕ→Ⓖの順でアルバム名が並びます。トラックを直下に含まないアルバム（例：Ⓒ）はアルバム一覧に表示されません。

ちょっと一言

- ディスクにトラックを記録するときは、あらかじめトラック名の頭に数字（01、02、03など）を入れておくと、その数字の順番に再生することができます。
- リピートボタンでリピート操作ができます。

ディスクの再生

次のページにつづく

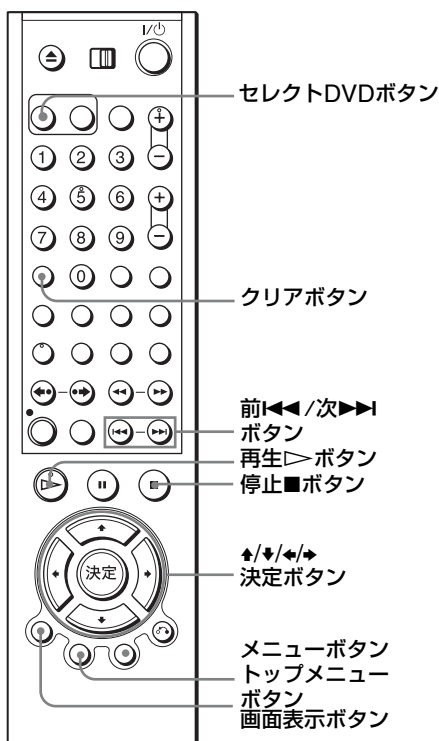
ご注意

- MP3音声を記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては上図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録されたアルバムとトラックの合計数が200を超える場合は上図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された100番目のアルバムまで本機は認識できます（このときの数え方は、MP3音声を含まないアルバムも数に入れてアルバムのみを数えます）。それより後のアルバムは本機では再生できません。
  また、100番目までのアルバムのうち、アルバムとその中に含まれるトラックは合計で200まで本機で再生できます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。また、多くの階層を持つディスクは再生できないことがあります。
- MP3とJPEGの混在ディスクでは、ファイルの合計が999まで認識可能です。認識の順は記録された順です。（例えば、JPEGファイルが先に990ファイル記録されていて、次にMP3ファイルを100ファイル記録しても、先に記録した990ファイルのJPEGファイルと9ファイルのＭＰ3ファイルしか認識しません。）

JPEG画像を再生する DATA-CD DATA-DVD

データCD（CD-ROM、CD-R、CD-RW）またはデータDVD（DVD-ROM、DVD+RW、DVD+R、DVD-RW、DVD-R）に記録されているJPEG画像を再生できます。

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1 セレクト DVD

セレクトDVDボタンを押す

ディスク操作モードに切り換わります。

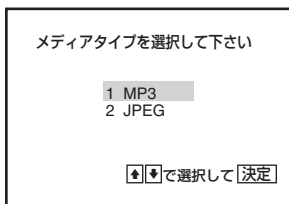
2

データCDまたはデータDVDを入れる

MP3音声とJPEG画像の両方のデータを含むデータCD/データDVDの場合、「メディアタイプ選択」画面が表示されます。

メディアタイプを選択して下さい

1 MP3
2 JPEG

↑↓で選択して 決定

JPEG画像データのみを含むデータCD/データDVDの場合はJPEG画像が表示されます。その場合は、手順4へ進んでください。

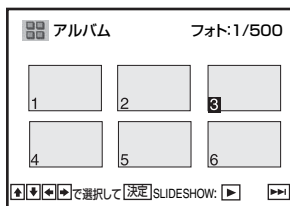
ディスクの再生

次のページにつづく

3

↑/↓で「JPEG」を選び、決定ボタンを押す

アルバム画面が表示されます。

メディアタイプを選んだまま、決定ボタンを押さないと、選択されているメディアが自動的に再生されます。

4

前⏮/次⏭ボタンを押して前後のアルバム画面のページを選び、↑/↓/←/→で画像を選ぶ

選択した画像を表示するには

1 **決定ボタンを押す**

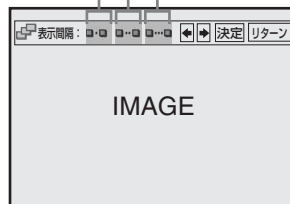
2 **前後の画像に移動するには前⏮/次⏭ボタンを押す**

スライドショーを見るには

1 **再生▷ボタンを押す**

2 **←/→を押して表示間隔メニューの再生スピードを選び決定ボタンを押す**

選んだ画像からスライドショーが始まります。

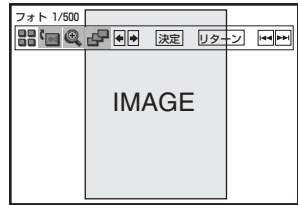
スライドショーは決定ボタンで選択した画像表示画面のメニューからも操作できます。詳しくは「スライドショーを見るには」（131ページ）をご覧ください。

「メディアタイプ選択」画面に戻るには

停止■ボタンを2回押し、トップメニューボタンを押します。

画像を回転するには

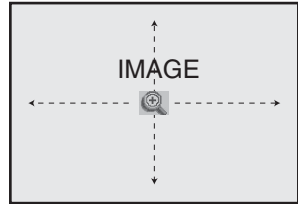
1 ↑/↓/←/→を押してアルバム画面から画像を選び、決定ボタンを押す

2 ←/→を押してメニューから を選び決定ボタンを押す

決定ボタンを押すごとに画像が時計回りに90°回転します。

画像をズーム（拡大）するには

1 ↑/↓/←/→を押してアルバム画面から画像を選び、決定ボタンを押す

2 ←/→を押してメニューから を選び決定ボタンを押す

“ ”が表示されます。

3 ↑/↓/←/→で“ ”を画像の拡大したい場所に移動させる

4 決定ボタンを押す

画面に「2×」が表示され、画像が拡大されます。もう一度決定ボタンを押すと、元の倍率に戻ります。

ご注意

- データCDおよびデータDVD内のJPEG画像には、リモコンのズームボタンを使うことはできません。

ディスクの再生

スライドショーを見るには

1 ↑/↓/←/→を押してアルバム画面から画像を選び、決定ボタンを押す

2 ←/→を押してメニューから を選び、決定ボタンを押す

表示間隔メニューが表示されます。

3 ←/→を押して再生スピードを選び、決定ボタンを押す

スライドショーが始まります。

次のページにつづく

画像画面でメニューを表示する/消すには

画面表示ボタンを押します。クリアボタンでもメニューを消すことができます。

アルバム画面に戻るには

メニューボタンを押すとアルバム画面に戻ります。
最初のアルバムページに戻るには前⏮ボタンをくり返し押します。

ご注意

- スライドショーは一方向にのみ再生できます。
- スライドショー再生中に画像を回転・ズームすることはできません。
- 回転させた画像で ▦ を選んでもアルバム画面の画像は回転した状態で表示されませんが、スライドショーを始めると、回転した状態で表示されます。メニューの ▣ を操作して画像の向きを直してください。

JPEG画像について

本機はデータCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）またはデータDVD（DVD-ROM/DVD+RW/DVD+R/DVD-RW/DVD-R）に記録されたJPEG画像を再生することができます。
ISO9660のレベル1/レベル2/Joliet準拠のディスクまたはUDF（Universal Disk Format）準拠のデータDVDの再生が可能です。本機ではマルチセッションで記録されたディスクも再生できます。
記録方式について詳しくはCD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

JPEG画像がディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションのJPEG画像も再生します。
音楽用CDフォーマットまたはビデオCDフォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

ご注意

- 本機は「.JPG」または「.JPEG」の拡張子のついたデータのみ対応しています。
- データCDまたはデータDVDのフォーマット形式によって、本機で再生できないディスクがあります。
- JPEG形式以外のデータに「.JPG」または「.JPEG」の拡張子をつけると、本機はそれらのデータを正しく認識しません。
- アルバム画面では認識されないデータは「×」と表示されます。

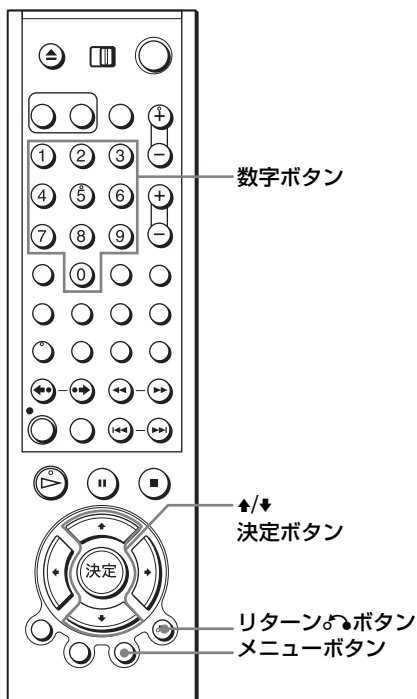
- アルバム画面で「×」と表示されたデータは選択することができません。
- スライドショー中の認識されないデータには「表示できません」とメッセージが出ます。
- ディスクによって再生までに時間がかかることがあります。
- 500JPEG画像ファイルまで表示させることができますが、500を超える画像は表示できないことがあります。
- 拡張DCT方式（プログレッシブ）、可逆方式、ハイアラーキカル方式で記録されたデータには対応していません。
- 表示可能な画像サイズには制限があります。表示可能な画像のファイルは、縦32～8192ピクセル、横32～7680ピクセルです。
- MP3とJPEGの混在ディスクでは、ファイルの合計が999まで認識可能です。認識の順は記録された順です。（例えば、JPEGファイルが先に990ファイル記録されていて、次にMP3ファイルを100ファイル記録しても、先に記録した990ファイルのJPEGファイルと9ファイルのMP3ファイルしか認識しません。）
- パケットライト方式で作成されたデータCDおよびデータDVDは再生できないことがあります。
- DVDビデオデータとMP3音声データが混在したディスクの場合、本機はDVDビデオデータのみを認識します。

「PBC 入/切」機能を使ってビデオCDを再生する VCD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます（Playback Control—PBC機能）。

PBC 対応ビデオCD を再生すると、選択用のメニュー画面が表示されます。操作の方法はディスクによって異なることがあります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

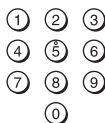
始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。（31ページ）

1 **PBC対応ビデオCDを再生する**

選択用のメニュー画面が表示されます。

2 **メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を↑/↓または数字ボタンで選び、決定ボタンを押す**

または

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⓪

3 **テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する**

操作の方法はディスクによって異なることがあります。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻るには

リターン↶ボタンを押します。

「PBC 切」機能を使って再生するには

メニューボタンを繰り返し押して「PBC 切」を選んでください。「PBC 切」を選ぶと通常の再生モードとなり、トラック番号順に再生が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
「PBC 入」機能に戻すには、メニューボタンを押して「PBC 入」を選んでください。

ご注意

- ディスクによっては手順3で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、再生▷ボタンを押してください。

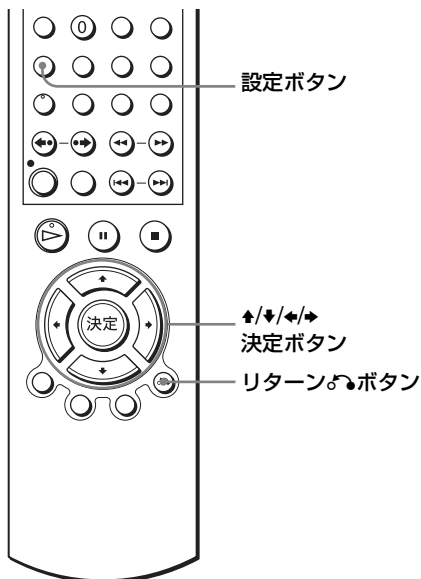
ディスクの再生

音声に関する設定 DVDVideo DVDVR

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。(31 ページ)

1

DVDの停止中に設定ボタンを押し、↑/↓で（DVD設定）を選び、決定ボタンを押す

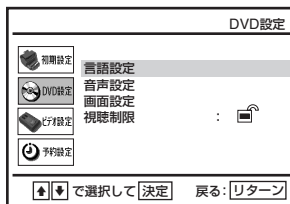
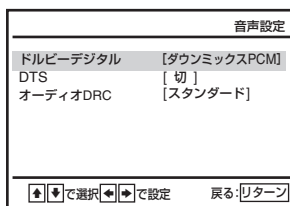
「DVD設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

音声設定

ドルビーデジタル [ダウンミックスPCM]
DTS [切]
オーディオDRC [スタンダード]

で選択 で設定 戻る: リターン

3

↑/↓で「ドルビーデジタル」「DTS」「オーディオDRC」の中から、設定したい項目を選ぶ

4

←/→でさらに設定項目を選び設定する

5

リターン↶ボタンを繰り返し押し、設定画面を消す

設定項目

太字はお買い上げ時の設定です。

• ドルビーデジタル

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

ダウンミックスPCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

• DTS

DTS信号をデジタル出力するかしないかを選びます。

切	DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ
入	DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

• オーディオDRC（Dynamic Range Control）

（ダイナミック レンジ コントロール）

DVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオDRCに対応のDVDにのみ効果があります。

この機能は、次の端子からの出力に効果があります。

－LINE OUT AUDIO L/R（音声左右出力）端子

－「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定したときのDIGITAL AUDIO OUT OPTICALおよびCOAXIAL（デジタル音声出力/光および同軸）端子

スタンダード	通常はこの設定にする
ワイド	小さい音までよく聞こえるようにする

設定と調整

次のページにつづく

ご注意

- 設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。
- リニアPCM音声の2倍速再生を行なうとノイズが出ることがありますが、故障ではありません。

画像に関する設定 DVDVideo

再生するときの画像の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

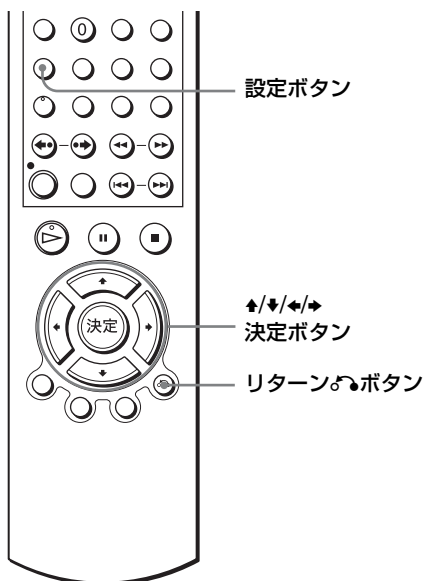
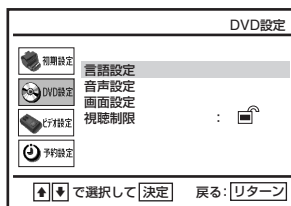
始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。(31 ページ)

1

DVDが停止中に設定ボタンを押し、↑/↓で（DVD設定）を選び、決定ボタンを押す

「DVD設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「画面設定」を選び、決定ボタンを押す

3

↑/↓で「TVタイプ」を選ぶ

「プログレッシブ出力」を設定するには140ページをご覧ください。

設定と調整

次のページにつづく

4

←/→でさらに設定項目を選び設定する

5

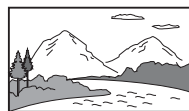
リターン↶ボタンを繰り返し押し、設定画面を消す

設定項目

• TVタイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。
太字はお買い上げ時の設定です。

4:3 レターボックス	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3 パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき

4:3レターボックス　4:3パンスキャン　16:9

「プログレッシブ出力」の設定をするには

プログレッシブ525P方式に対応した機器につなぐとき、鮮明で高画質な画像を楽しむことができます。

1 **139ページの手順1と2を行ない、↑/↓で「プログレッシブ出力」を選ぶ**

画面設定

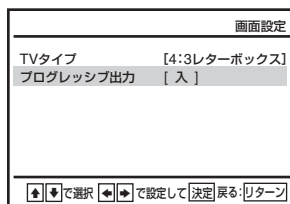
TVタイプ　[4:3レターボックス]
プログレッシブ出力　[切]

↑↓で選択 ←→で設定　戻る:リターン

2 ←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す

画面設定

TVタイプ [4:3レターボックス]
プログレッシブ出力 [入]

↑↓で選択 ←→で設定して 決定 戻る: リターン

3 画面の指示にしたがって操作する

1 **プログレッシブ525P方式に対応した機器かどうか確認する**

2 **コンポーネントケーブルまたはD端子ケーブルで本機と接続する**
「B コンポーネント映像（Y、PB/CB、PR/CR）入力端子のある機器とつなぐ」（66ページ）または「C D映像入力端子のある機器とつなぐ」（66ページ）をご覧ください。

3 **←/→で「決定」を選ぶ**
テスト画像が出力します。

画面設定

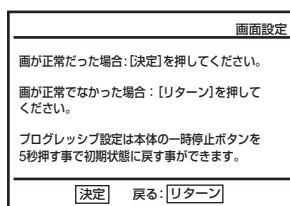
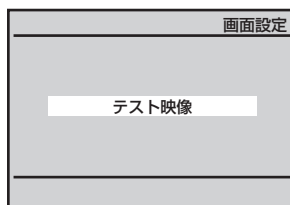
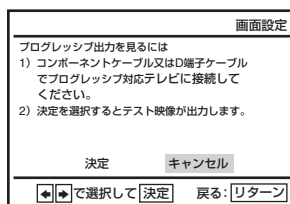
画が正常だった場合：[決定]を押してください。

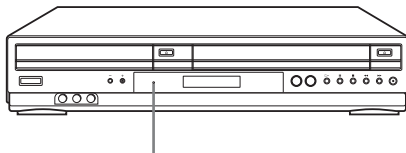
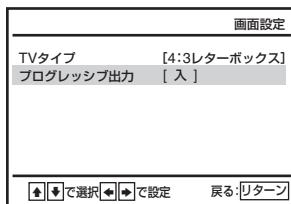
画が正常でなかった場合：[リターン]を押してください。

プログレッシブ設定は本体の一時停止ボタンを5秒押す事で初期状態に戻す事ができます。

決定 戻る: リターン

設定と調整

次のページにつづく

4 **テスト映像が正常だった場合、決定ボタンを押す**

プログレッシブランプがオレンジ色に点灯します。テスト映像が正常でなかった場合、リターン⤺ボタンを押してから、接続を確認してください。（66ページ）

プログレッシブランプ

5 **設定ボタンを押してメニューを消す**

「プログレッシブ出力」設定を初期設定に戻すには

手順2で「切」を選び、決定ボタンを押してください。
また、セレクトDVDボタンを押し、本体の❚❚ボタンを5秒間以上押し続けることによっても、初期設定に戻すことができます。

ご注意

- VHSのプログレッシブ信号は出力できません。
- プログレッシブ方式に対応していない機器と接続しているときにプログレッシブ方式を選ぶと、正しい映像でご覧になることができません。「プログレッシブ出力」を「切」に設定してプログレッシブランプを消灯してください。
- プログレッシブ方式の信号はS-VIDEO OUT（S映像出力）端子から出力されません。「プログレッシブ出力」を「入」に設定した場合には、COMPONENT VIDEO OUT（コンポーネント映像出力）端子またはD2 OUT（D2映像出力）端子からの出力に切り換わります。
- あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。
- ディスクにパンスキャンの情報がない場合は、「TVタイプ」で「4:3パンスキャン」を選択してもパンスキャンにはなりません。

表示言語や音声言語の設定 DVDVideo

画面や音声の言語を設定します。

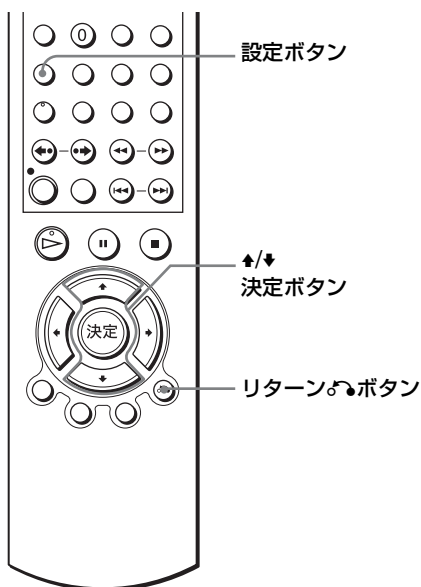
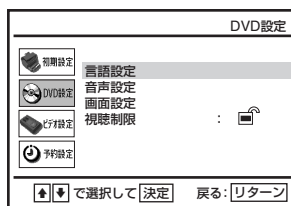
始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。(31 ページ)

1

DVDの停止中に設定ボタンを押し、↑/↓で（DVD設定）を選び、決定ボタンを押す

「DVD設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「言語設定」を選び、決定ボタンを押す

3

↑/↓で「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」の中から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

設定と調整

次のページにつづく

4

↑/↓で設定したい言語を選び、決定ボタンを押す

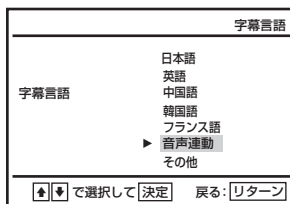
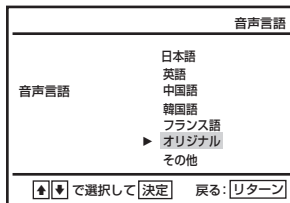
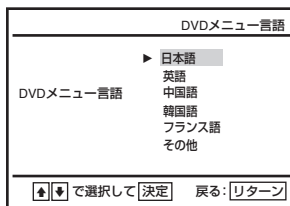
- DVDメニュー言語
  ディスクのメニューの言語を切り換えます。

DVDメニュー言語
DVDメニュー言語
▶ 日本語
英語
中国語
韓国語
フランス語
その他
↑↓ で選択して 決定　戻る：リターン

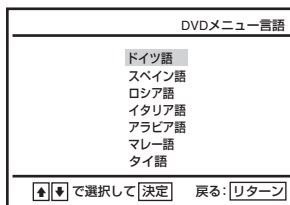
- 音声言語
  音声の言語を切り換えます。
  「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

- 字幕言語
  字幕の言語を切り換えます。
  「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

字幕言語
字幕言語
日本語
英語
中国語
韓国語
フランス語
▶ 音声連動
その他
↑↓ で選択して 決定　戻る：リターン

5

リターン↶ボタンを繰り返し押し、設定画面を消す

ちょっと一言

- 「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他」を選んだときは、その他の言語を選択するメニューが表示されます。↑/↓で設定したい言語を選び、決定ボタンを押してください。

ご注意

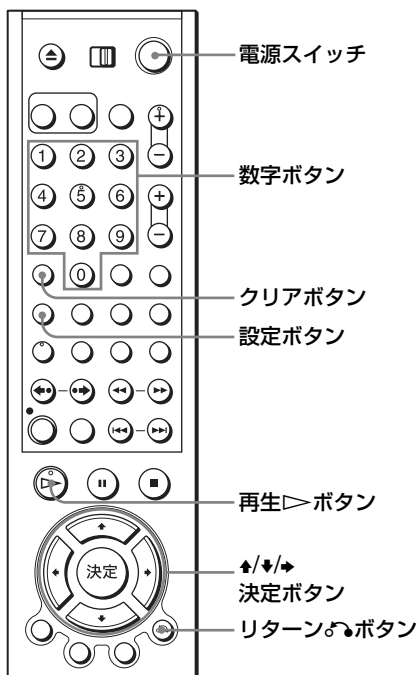
- 「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で選んだ言語がディスクに記録されていないときは、DVDビデオに記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。
- DVDビデオの再生を行った後で、「DVDメニュー言語」の設定を変更した場合、設定の変更を有効にするには⏏ボタンを押し、ディスクトレイを開閉させてからDVDビデオの再生をしてください。

視聴制限の設定 DVDVideo

DVDビデオには、国、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

始めるまえに…

- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。
(31 ページ)

1

DVDが停止中に設定ボタンを押し、↑/↓で（DVD設定）を選び、決定ボタンを押す

「DVD設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で「視聴制限」を選び、決定ボタンを押す

視聴制限

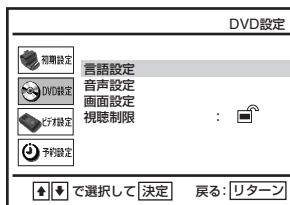
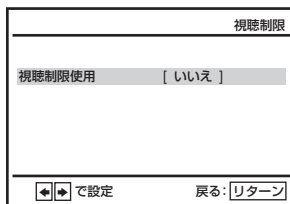
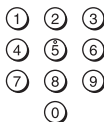
視聴制限使用	[いいえ]

←→ で設定　戻る: リターン

設定と調整

次のページにつづく

3

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⓪

➡を押し、視聴制限使用を設定する

- 暗証番号が登録されていないとき

  暗証番号登録の画面が表示されます。

  数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

  暗証番号確認の画面が出ます。

- 暗証番号がすでに登録されているとき

  暗証番号入力の画面が出ます。

  数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

  暗証番号を登録した後に、「暗証番号使用」を「いいえ」に設定した場合、暗証番号確認の画面は出ません。

  番号を間違えたときはクリアボタンを押し、初めから入力しなおします。

クリア

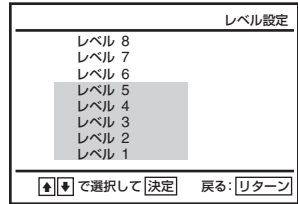
4

⬆/⬇で「レベル設定」を選び、決定ボタンを押す

視聴制限のレベル設定変更の画面が表示されます。

5

↑/↓で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す

視聴年齢制限の設定が終了します。レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

6

リターン

リターンボタンを繰り返し押し、設定画面を消す

視聴制限を解除するときは

手順3で「視聴制限使用」を「いいえ」にします。

視聴制限を超えたディスクを再生するには

1 ディスクを入れて、再生▷ボタンを押す

視聴制限を超えたディスクを再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 ↑/↓で「はい」を選び、決定ボタンを押す

視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する

再生が始まります。

ご注意

- 視聴制限機能がないDVDビデオは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- 暗証番号は3回間違えると先に進めません。

暗証番号を変更するには

1 手順4で「暗証番号変更」を選び、決定ボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2 数字ボタンで4桁の新しい暗証番号を入力する

3 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力する

次のページにつづく

暗証番号を忘れてしまったときは

1 ディスクを取り出す

2 本機前面の◀◀ボタンと▶▶ボタンを同時に5秒間押す

「Reset OK」と画面に表示されます。

3 電源スイッチを押し、本機の電源を切る

暗証番号が解除されていますので、145ページの手順1からもう一度操作を行ってください。

前の画面に戻るには

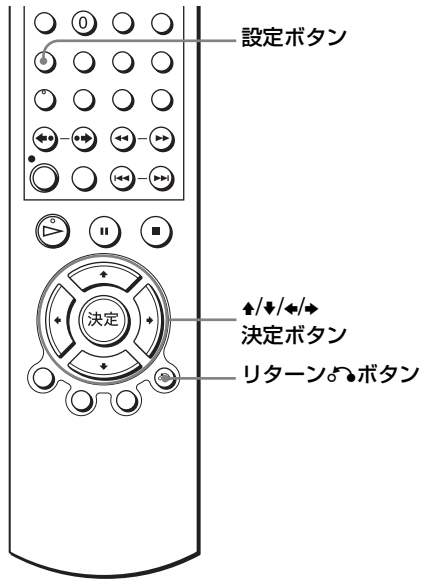
リターン⤺ボタンを押します。

ビデオに関する設定 VHS

テープ残量切り換えやリピート再生などの設定を変えることができます。通常はお買い上げ時の設定で使えます。必要に応じて変えてください。

始めるまえに…

- 本機の画像が映るようにテレビの入力を切り換えます。(32 ページ)
- リモコンのTV / DVD・VIDEOスイッチをDVD・VIDEOに切り換えます。(31 ページ)
- ディスク再生中はメニュー画面を表示できません。再生を停止してください。

1

設定ボタンを押し、↑/↓で（ビデオ設定）を選び、決定ボタンを押す

「ビデオ設定」メニューが表示されます。

2

↑/↓で変更したい項目を選び、←/→で設定する

3

リターンボタンを押し、設定ボタンを押してメニューを消す

設定と調整

次のページにつづく

設定の内容

太字はお買い上げ時の設定です。

メニュー項目	設定内容
テープ残量切りかえ	• **T120** 120分以下のテープを使用時にこの位置にする。 • T160 160分テープ使用時にこの位置にする。 • T180 180分のテープを使用時にこの位置にする。
リピート再生	• 入 テープを繰り返し再生する。自動的にテープが頭まで巻き戻り、また再生が始まる。 • **切** リピート再生をしない。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。
保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、裏表紙のお客様ご相談センターにご相談ください。

電源

症状	原因	処置
電源が入らない。	• 電源プラグの接触不良がある。	• 電源プラグをコンセントからはずし、約10分後再度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れてください。
	• 落雷があった。	• 雷により故障した可能性がありますのでお客様ご相談センター修理受付へお問い合わせください。
	• チャイルドロック機能が働いている。	• チャイルドロック機能を解除してください。(95ページ)

表示

症状	原因	処置
本体表示窓に「ーー:ーー」表示が点灯している。	• 時計を合わせていない。	• 時計を合わせてください。(58ページ)
	• 停電で時計が止まった。	• 時計合わせを行い、その後、各種設定をし直してください。(58ページ)
	• 本体の電源コードが抜け、その後電源コードをコンセントに挿した。	• 時計を合わせを行い、その後、各種設定をし直してください。(58ページ)
本体表示窓の時刻がずれる。	• ジャストクロック機能が働いていない。	• 時計が自動補正されるようジャストクロック設定を行ってください。(60ページ)
本体表示窓のタイマー表示が点滅する。	• 予約待機中でツメのついているカセットが入っていない。	• ツメのついているカセットを入れてください。
本体表示窓のテープカウンターが動かない。	• カセットテープに記録されていない部分がある。	• 記録されていない部分はテープカウンターは作動しません。

次のページにつづく

症状	原因	処置
高速早送り、巻き戻しで本体表示窓のテープカウンターが数秒ずれる。	● カセットテープによって高速早送り・巻き戻しをすると、テープカウンターがずれることがあります。	● カセットテープによるもので本機の故障ではありません。

リモコン

症状	原因	処置
リモコンが使用できない。	● リモコンの操作モードが合っていない。	● TV/DVD・VIDEOスイッチを「DVD・VIDEO」または「TV」に切り換える。（31ページ）
	● 乾電池が消耗している。	● 新しい乾電池と交換してください。
	● 乾電池の⊕と⊖が逆になっている。	● ⊕と⊖を正しく入れてください。
	● 乾電池が入っていない。	● 乾電池を入れてください。
	● 本体の電源プラグが接続されていない。	● 本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	● リモコンと本体の距離が離れている。	● 近寄って操作してください。
	● リモコンと本体の間に障害物がある。	● 障害物を取り除いてください。
	● 本体の近くに障害を与える蛍光灯（インバーター式）がある。	● 本体と蛍光灯を離して設置してください。
	● 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。	● リモコンを本体に向けてください。（28ページ）
	● 数字ボタンでチャンネルを変えようとした。	● 数字ボタンはGコード入力用となっており、故障ではありません。
	● テレビのメーカーとリモコンのテレビコード設定が違っている。	● テレビのメーカーにリモコンを設定し直してください。（29ページ）

カセット（ビデオ部）

症状	原因	処置
カセットテープが入らない。	● 本体内部に異物を入れてしまった(カセットテープのシール等)。	● 異物の取り出しが必要ですのでお客様ご相談センター修理受付へお問い合わせください。
	● カセットテープの入れる向きが違う。	● カセットテープを正しい向きで入れてください。
	● カセットテープの入れかた（斜めに入れるなど）によって安全機構が働いた。	● カセットテープを取り出して数秒待ってから、もう一度入れてください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置</th></tr>
<tr><td>録画ボタンを押すとカセットテープが出てきてしまう。</td><td>• ツメの折れたカセットテープで録画しようとした。</td><td>• ツメの折れていないカセットテープを使う、またはセロハンテープなどで穴をふさいでください。（82ページ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">カセットテープが出ない。</td><td>• チャイルドロック機能が働いている。
• カビの生えたカセットテープ等を使用したためテープがからまった。
• 本体またはカセットテープの結露のためテープがからまった。（9ページ）</td><td>• チャイルドロック機能を解除してください。（95ページ）
• 問題の出たカセットテープは使用しないでください。
• 2時間程度放置し温度をなじませてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※一度テープがからまってしまうと本体の故障の原因となりますのでお客様ご相談センター修理受付へお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>カセットテープの出し入れ時に異音が出る。</td><td>• 機構が働いているため動作音が出る。</td><td>• 故障ではありません。</td></tr>
<tr><td>巻き戻し、早送りですぐに止まらない。</td><td>• 本体のテープ保護機能が働いている。</td><td>• 急停止によるテープの傷、伸びなどを防ぐためで故障ではありません。</td></tr>
</table>

次のページにつづく

画像（ビデオ部）

症状	原因	処置
ビデオの画像が映らない。	• 本体およびテレビが正しく接続されていない。 • 本機またはテレビの入出力が正しく設定されていない。 • S-VIDEO/COMPONENT/D2 OUT端子からはVHSは出力できない。 • ヘッドが汚れている。 • テープに何も記録されていない。 • メニュー画面、予約画面が表示されている。	• 正しく接続してください。（17、21 ページ） • テレビを「ビデオ」の入力に切り換えてください。（32ページ） • リモコンのテレビ/ビデオボタンを押して、本体の「VIDEO」の表示を点灯してください。（32ページ） • 正しく接続してください。（21ページ） • 別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください。（10ページ） • 記録されているカセットテープを使ってください。 • 各画面の手順を参照して、メニュー画面、予約画面を消してください。
ビデオの画像が正しく映らない。	• 他機で再生し、その出力を本機の外部入力に接続している。	• 著作権保護の信号が入っているソフトでは正しく再生できません（マクロビジョン）。
ビデオの画像が白黒になる。	• ビデオヘッドが汚れている。	• 別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください。（10ページ）
再生中に「ヘッドがよごれているときは クリーニングテープでクリーニングしてください」と表示が出る。	• ビデオヘッドが汚れている。 • お使いのビデオテープが劣化している。	• 別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください。（10ページ） • 再生中にリモコンのトラッキングボタンの＋か－を1度押すと、この表示は消えます。

症状	原因	処置
再生した画像がちらつく、汚い	● トラッキングがずれている。 ● テープに傷がある。 ● ヘッドが汚れている。	● トラッキング+/–ボタンでトラッキングを調整してください。（75ページ） ● カセットテープを交換してください。 ● 別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください。（10ページ）
	※レンタルテープ等はヘッドの汚れの原因となりますので、使用後はヘッドのクリーニングをおすすめします。	
再生時3倍モードで早送り再生になる。	● コントロールヘッドが汚れている。	● 別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください。（10ページ）
ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。	● アンテナが正しく接続されていない。 ● チャンネル設定が正しくされていない。 ● ビデオが外部入力になっている。	● アンテナやテレビを正しく接続してください。（17ページ） ●「初期設定」メニューの「チャンネル設定」を選び、チャンネルを合わせてください。（47ページ） ● チャンネル+/–ボタンを押して、テレビのチャンネルを表示させてください。
今までビデオで受信できていた放送が映らなくなった。	● デジタル放送のチャンネルに移行している。 ● 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行なわれた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組を見ることができない。	●「受信できる放送局を追加する」（52ページ）の操作に従って設定を行なってください。 ●「手動でチャンネルを合わせる」（47ページ）の操作に従って、手動でチャンネルを設定してください。

次のページにつづく

症状	原因	処置
ビデオで受信しているテレビ放送の画像にノイズが入る。または画像が汚い。	• 電源にノイズが入っている。	• 別の電源コンセントにつないでください。 • 電源ノイズフィルター（市販）を使用することにより改善される可能性があります。お客様ご相談センター、またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。
	• アンテナ線にノイズが入っている。	• 本機とテレビを離して設置してください。 • 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 • アンテナの向きを調節してください。
	• 電波が弱い。	• アンテナブースター（市販）で電波を増幅することにより改善される可能性があります。お客様ご相談センター、またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。 • 受信状態を調整してください。（56ページ）
	• アンテナ線にVHF/UHFとBS放送が混合されている。	• BS/UV混合分波器（別売り）を使用してください。（20ページ）

音声（ビデオ部）

症状	原因	処置
再生時に音声が途切れる。	● テープに傷、汚れがある。	● カセットテープを交換してください。
録画したカセットテープの音声切り替えができない。	● モノラルで録画されたカセットテープを使用している。 ● 主音声だけで録画されたカセットテープを使用している。 ● 本体とテレビをアンテナ線だけでつないでいる。 ● 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた。	● ステレオで録画してください。（76ページ） ● 二か国語放送で録画してください。（76ページ） ● 映像・音声入力端子付きテレビのときは映像・音声コードもつないでください。（21ページ） ● アンテナの向きを調整してください。 ● アンテナブースター（別売り）で電波を増幅することにより改善される可能性があります。 お客様ご相談センター、またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

録画・予約・編集（ビデオ部）

症状	原因	処置
録画中にテレビ番組を見る場合に、チャンネルが変えられない。	● テレビの入力設定が「ビデオ」になっている。	● テレビを「テレビ」の入力に切り換え、テレビでチャンネルを切り換えてください。 ● リモコンのテレビ/ビデオボタンを押して、本体の表示窓の「VIDEO」の表示を消してください。
録画中、テレビでチャンネルを変えると映りが悪い（チラツキ等によりほとんどきれいに映し出さない）。	● アンテナ出力（UHF/VHF）が「ビデオ」になっている。	● テレビを「テレビ」の入力に切り換えてください。 ● リモコンのテレビ/ビデオボタンを押して、本体の表示窓に「TV」を表示させてください。（「TV」表示は数秒後に消えます。）

その他

次のページにつづく

症状	原因	処置
予約したのに録画されていない。	● 時計、チャンネルが正しく合っていない。 ● 予約待機中に停電があったため、時計が止まった。 ● 予約したあとで、予約したチャンネルを「チャンネルとばし」した。 ● 予約待機中でテープが終りまで進んでいる。 ● デジタル放送のチャンネルに移行している。 ● 本機につないだ外部チューナーなどの電源が入っていなかった。	● かんたん設定をしてください。(33 ページ) ● 時計を合わせてください。(58ページ) ● 設定を修正してください。(47ページ) ● カセットテープを巻き戻す、または新しいカセットテープを入れてください。 ●「受信できる放送局を追加する」(52ページ)の操作に従って設定を行なってください。 ● 録画中は外部チューナーなどの電源を入れて録画したいチャンネルに合わせておいてください。(24、25ページ)
Gコード予約ができない。	● 時計、チャンネルが正しく合っていない。	● かんたん設定をしてください。(33 ページ)
予約した内容が途中で切れている。	● 予約録画中に停電があった。 ● 予約が重なっていた。 ● プロ野球中継など前の番組が延長された。	● 故障ではありません。 ● 故障ではありません。 ● 故障ではありません。
クイックタイマーが途中で終わっている。	● クイックタイマー録画中に停電が起きて電源が切れた。	● 故障ではありません。
タイマー録画がずれる。	● 時計が合っていない。 ● 予約録画終了時間と開始時間が重なった。	● 時計を合わせてください。(58ページ) ● 後から始まる予約の最初の約10秒間は録画されません。本体の故障ではありません。

ディスクトレイ（DVD部）

症状	原因	処置
トレイが開かない等誤動作する。	● 静電気の影響等で誤動作する。	● 一度本体の電源コードをコンセントから抜き、再び電源を入れてください。
トレイが開かない。	● チャイルドロック機能が働いている。 ● 変形したディスクが使用されている。 ● 本体の保護機能が働いている。	● チャイルドロック機能を解除してください。（95ページ） ● お客様ご相談センター修理窓口にお問い合わせください。 ● 本体の電源コードをコンセントから抜き、再び電源を入れてください。

画像（DVD部）

症状	原因	処置
画像がでない。	● プログレッシブ方式に対応していないテレビもしくは正しく接続をしない状態でプログレッシブが設定されている。 ● S-VIDEO OUT（S映像出力）端子ではプログレッシブ出力されません。	● 正しく接続し、再設定してください。 ● 故障ではありません。
画像にノイズがでる。	● ディスクに汚れがある。 ● ディスクに傷がある。	● 汚れを落としてください。 ● ディスクを交換してください。

音声（DVD部）

症状	原因	処置
音が小さい	● DVDディスクによっては音声が小さいものがある。	● 音声設定（136ページ）を修正してください。（「オーディオDRC」を「ワイド」に設定）

その他

次のページにつづく

再生（DVD部）

症状	原因	処置
DVD再生が一瞬止まる	● 2層ディスクを再生した。	● 2層ディスクは1層目から2層目への切替時に一瞬止まります。本体の故障ではありません。
再生できない。	● 本体のレンズ、またはディスクが結露している。 ● ディスクに汚れがある。 ● ディスクに傷がある。 ● ディスクが裏返しに入っている。 ● ディスクが斜めにずれて入っている。 ● 本機で再生できないディスクを入れている。（CD-ROM等） ● 本機で再生できない地域番号のDVDディスクを入れている。 ● 正しくファイナライズされていないディスクを再生しようとしている。	● ディスクを取り出し、本体の電源をいれたまま数時間放置してください。 ● 汚れを落としてください。 ● ディスクを交換してください。 ● 再生面を下にしてください。 ● 正しく入れなおしてください。 ● 再生できるディスクを入れてください。 ● 本機で再生できるディスク（リージョンコード2またはALL）を入れてください。 ● ファイナライズ処理がされているディスクを入れてください。
MP3ファイルを再生できない。	● 本機で再生できないMP3フォーマットで記録されているディスクを再生している。	● 本機で再生できるMP3フォーマットのディスクを再生してください。
JPEGファイルを再生できない。	● 本機で再生できないJPEGフォーマットで記録されているディスクを再生している。	● 本機で再生できるJPEGフォーマットのディスクを再生してください。
アルバム/トラック名が正しく表示されない。（＊表示）	● ファイル名がアルファベットと数字以外の文字になっている。	● ファイル名をアルファベットと数字にしてください。それ以外の文字は「＊」で表示されます。
再生がディスクの最初から始まらない。	● プログラム、シャッフル、リピート再生になっている。 ● つづき再生になっている。 ● 自動的にメニュー画面が表示されるディスクを入れている。	● 解除してください。 ● 停止ボタンを2回押してください。 ● ディスクの仕様によるもので本体の故障ではありません。
再生が自動的に始まる。	● 自動的に再生が始まるディスクを入れている。	● ディスクの仕様によるもので本体の故障ではありません。

症状	原因	処置
再生が自動的に止まる。	● オートポーズ信号が記録されているディスクを再生したため、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まった。（ゲームディスク等）	● ディスクの仕様によるもので本体の故障ではありません。
操作できない（ストップ、スキャン、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生等）	● 操作を禁止しているディスクを再生している。	● ディスクの仕様によるもので本体の故障ではありません。 ● ディスクに付属の説明書も合わせて見てください。
音声言語を変更できない。	● 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ● メニュー以外、音声言語切替を禁止しているDVDを再生している。	● 複数の言語が記録されているディスクを再生してください。 ● リモコンのボタンで直接操作する代わりにDVDメニューから操作してください。
字幕を変更できない。	● 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 ● メニュー以外、字幕切替を禁止しているDVDを再生している。	● 複数の字幕が記録されているディスクを再生してください。 ● リモコンのボタンで直接操作する代わりにDVDメニューから操作してください。
アングルを変更して見ることができない。	● 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ● メニュー以外、アングル切替を禁止しているDVDを再生している。	● 複数のアングルが記録されているディスクを再生してください。 ● リモコンのボタンで直接操作する代わりにDVDメニューから操作してください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、裏表紙のお客様ご相談センターへお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではDVDプレーヤー /ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

- 型名：SLV-D393P
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- ビデオテープの種類：
  長さ（30, 60, 90, 120, 180など）
- 再生していたディスクのタイトル名：
- 再生していたディスクの種類（DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど）：
- つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
- 接続しているアンテナ：
  VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

システム（DVD部）

信号方式：JEITA標準、NTSCカラー方式

システム（ビデオ部）

録画方式
回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
ハイファイ録音方式
回転2ヘッドハイファイステレオ方式
（VHS従来音声トラックはモノラル
録音）
映像信号
NTSCカラー、EIA標準方式
テープ速度
33.35mm/秒（標準（SP））、
11.12mm/秒（3倍（EP））
使用可能テープ
VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間
3倍：6時間（T-120使用時）
巻き戻し時間
約1分（T-120使用時、当社測定条件での所要時間）
受信チャンネル
VHF：1〜12チャンネル
UHF：13〜62チャンネル
CATV：C13〜C63チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力
VHF/UHF1軸、
75ΩＦ型コネクター
映像入力
入力1/入力2の2系統、
ピンジャック、
1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力
出力1/D映像出力/コンポーネント映像出力/S映像出力の4系統、
ピンジャック（出力1）、
1Vp-p（75Ω不平衡）
D端子、
Y：1.0Vp-p、CB、CR：0.7Vp-p
（75Ω不平衡）
ピンジャック（コンポーネント映像出力）、
Y：1.0Vp-p、CB、CR：0.7Vp-p
（75Ω不平衡）
４ピンミニDIN、
輝度信号：1.0Vp-p（75Ω不平衡）
色信号：0.286Vp-p（75Ω不平衡）
音声入力
入力1/入力2の2系統、
ピンジャック（左、右）
入力レベル：327mVrms
（入力インピーダンス：47kΩ以上）
音声出力
出力/デジタル音声出力（光/同軸）の3系統、
ピンジャック（左、右）、
出力レベル：327mVrms
（出力インピーダンス：10kΩ以下）
光出力コネクター
出力レベル：-18dBm（発光波長660nm）
ピンジャック（同軸）
0.5Vp-p（75Ω不平衡）

次のページにつづく

電源部・その他

電源部

AC100V、50/60Hz

<u>消費電力</u>
<u>19W</u>
<u>待機時消費電力</u>
<u>2.1W</u>*
＊ **<u>省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。</u>**

時計方式

クォーツクロック、
12時間デジタル表示

停電補償時間

10分

許容動作温度

5℃ ～ 40℃

許容保存温度

－20℃ ～ 60℃

最大外形寸法

幅 430×高さ 85×奥行き 287mm
（最大突起含む）

本体質量

約 3.6kg

付属リモコン

RMT-V502E
電源：DC 3V
単3形（R6）乾電池2個付属

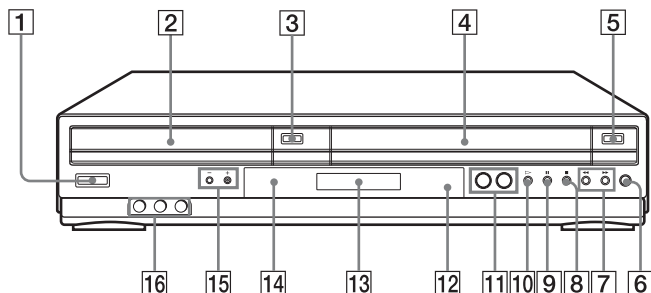
付属品

16ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

各部の説明は（ ）内のページをご覧ください。

本体前面

1 電源スイッチ

2 ディスクトレイ（98）

3 ≜（開/閉）ボタン（98）

4 カセット挿入口（70）

5 ≜（取出し）ボタン（71）

6 録画●ボタン（81）

7 ◀◀（巻戻し）/▶▶（早送り）ボタン（71）（100）

8 ■（停止）ボタン（71）（99）

9 ❚❚（一時停止）ボタン（71）（99）

10 ▷（再生）ボタン（71）（99）

11 セレクトDVD/VIDEOボタン（31）

12 Ⓡ リモコン受光部（28）

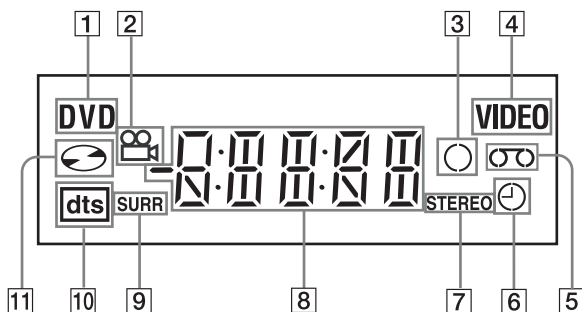
13 表示窓（71）（99）

14 プログレッシブランプ（140）

15 チャンネル/トラッキング+/–ボタン*（75）（81）

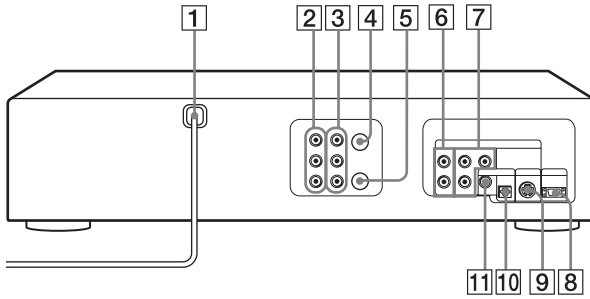
16 映像/音声左（モノ）/右入力２端子（96）

* チャンネル/トラッキング+ボタンには凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

その他

次のページにつづく

本体表示窓

1 DVD表示（31）
2 アングル表示（111）
3 録画表示（81）
4 VIDEO（ビデオ）表示（31）
5 カセット表示（71）
6 タイマー表示（86）
7 STEREO（ステレオ）表示（76）
8 経過時間/現在時刻/現在状況表示（71）（99）
9 SURR（サラウンド）表示（120）
10 DTS表示（137）
11 ディスク表示（99）

本体後面

DVD部およびVCR部

1 電源コード（27）
2 LINE IN 1 VIDEO（映像入力１）/ AUDIO L/R（音声左/右入力1）端子（23）
3 LINE OUT VIDEO（映像出力）AUDIO L/R（音声左/右出力）端子（21）
4 RF IN（FROM ANT.）端子（17）
5 RF OUT（TO TV）端子（17）

DVD部のみ

6 LINE OUT AUDIO L/R（音声左/右出力）端子（68）
7 COMPONENT VIDEO OUT Pr/ Y/Pb（コンポーネント映像出力Pr/ Y/Pb）端子（64）
8 D2 OUT（D2映像出力）端子（64）
9 S-VIDEO OUT（S映像出力）端子（64）
10 DIGITAL AUDIO OUT/ OPTICAL（デジタル音声出力/光）端子（68）
11 DIGITAL AUDIO OUT/COAXIAL（デジタル音声出力/同軸）端子（68）

その他

次のページにつづく

リモコン（ビデオ操作ボタン）

1 ⏏（カセット取出し）ボタン（71）

2 TV/DVD・VIDEOスイッチ（29）

3 セレクトVIDEOボタン（31）

4 数字ボタン＊1（29）（35）（89）

5 クリアボタン（74）（86）（90）

6 設定ボタン（34）（149）

7 タイマー予約ボタン（85）

8 音声ボタン＊1（76）

9 CM早送り ●➡ ボタン（71）

10 リプレイ ⬅● ボタン（71）

11 標準/3倍ボタン（81）

12 録画●ボタン（81）

13 一時停止❚❚ボタン（71）

14 再生▷ボタン＊1（71）

15 ↑/↓/←/→ボタン（34）
決定ボタン＊2（34）

16 画面表示ボタン（83）

17 電源スイッチ（29）

18 Gコードボタン（89）

19 チャンネル/トラッキング+/–ボタン＊1（49）（81）（75）

20 音量+/–ボタン（29）

21 決定ボタン＊2（34）

22 消音ボタン（29）

23 サーチメニューボタン（77）

24 入力切換ボタン（86）

25 テレビ/ビデオボタン（32）

26 ◀◀/▶▶▶ ボタン（71）

27 シャトル⏮/⏭ボタン（72）

28 停止■ボタン（71）

29 リターン↶ボタン（36）

＊1 凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ、チャンネル/トラッキングボタンは「+」のみ）。操作の目印としてお使いください。

＊2 No.15と21の決定ボタンは同じ操作が可能です。

リモコン（DVD操作ボタン）

1 ⏏（開/閉）ボタン（98）

2 TV/DVD・VIDEOスイッチ（29）

3 セレクトDVDボタン（31）

4 数字ボタン*[1]（29）（105）（146）

5 クリアボタン（115）

6 アングルボタン（111）

7 設定ボタン（136）

8 字幕ボタン（112）

9 音声ボタン*[1]（118）

10 ●➡ボタン（99）（101）

11 ⬅●ボタン（99）（101）

12 一時停止❚❚ボタン（99）

13 再生▷ボタン*[1]（99）

14 ↑/↓/←/→ボタン（34）

決定ボタン*[2]（34）

15 画面表示ボタン（104）

16 トップメニューボタン（108）

17 電源スイッチ（29）

18 音量+/–ボタン（29）

19 ズームボタン（110）

20 決定ボタン*[2]（34）

21 リピートボタン（114）

22 サラウンドボタン（120）

23 ◀❙◀◀/▶▶❙▶ボタン（100）

24 前/次⏮/⏭ボタン（99）

25 停止■ボタン（99）

26 リターン↶ボタン（36）

27 メニューボタン（108）

*[1]凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ）。操作の目印としてお使いください。

*[2]No.14と20の決定ボタンは同じ操作が可能です。

その他

DVD音声/字幕言語対応表

詳しくは104ページ、112ページまたは118ページをご覧ください。

略称	言語
ARA	アラビア語
BUL	ブルガリア語
CHI	中国語
CRO	クロアチア語
CZE	チェコ語
DAN	デンマーク語
DEU	ドイツ語
ESP	スペイン語
FIN	フィンランド語
FRA	フランス語
GRE	ギリシア語
HUN	ハンガリー語
IDN	インドネシア語
IND	ヒンディー語
ISL	アイスランド語
ITA	イタリア語
IWR	ヘブライ語
KOR	韓国語
MAL	マレー語
NLD	オランダ語
NOR	ノルウェー語
POL	ポーランド語
POR	ポルトガル語
RUS	ロシア語
SVE	スウェーデン語
THA	タイ語
TUR	トルコ語
VIE	ベトナム語
ZAF	アフリカーンス語

用語解説

インターレース（飛び越し走査）

映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方式。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

タイトル（104 ページ）

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

チャプター（104 ページ）

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック（104 ページ）

ビデオCD、CDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーサラウンド（69 ページ）

ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

ドルビーデジタル（69、137 ページ）

ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。映画館の立体音響システム「ドルビーデジタル」と同様の高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

プログレッシブ（順次走査）（66、140 ページ）

映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方式。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから、1秒を60フレームで構成する。
本機は525プログレッシブ（525p）方式に対応。

その他

次のページにつづく

D映像信号（66 ページ）

D端子付きデジタルテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子があり、本機はD2端子とつなげることができる。

D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号*

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS（137 ページ）

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。

全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVDビデオ（12 ページ）

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB（Giga（ギガ） Byte（バイト））とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2（エムペグ）」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DVD-R（12 ページ）

DVD-Rは、DVDビデオと同じサイズで、一回だけ記録できるディスク。

DVD-Rは、DVDビデオフォーマットと同じ記録方式を採用している。

DVD-Rには、ビデオモード、VRモードという2つの記録モードがある。

ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があるモード。VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能。

DVD+R（12 ページ）

DVD+Rは、DVDビデオと同じサイズで、一回だけ記録できるディスク。

DVD+Rは、DVDビデオフォーマットと同じ記録方式を採用している。

DVD-RW（12 ページ）

DVD-RWは、DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。DVD-RWには、ビデオモード、VRモードという2つの記録モードがある。
ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があるモード。
VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能。

DVD+RW（12 ページ）

DVD+RWは、DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。
DVD+RWは、DVDビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用している。

索引

A-Z/数字

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX…………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Sony Corporation　Printed in China　AK68-00926A